

災害救助体制の推移に関する調査報告書

平成14年3月

はじめに

平成7年1月17日の阪神・淡路大震災を契機に、厚生省（当時）は平成7年11月、社会・援護局長の私的懇談会として「災害救助研究会」を発足させ、災害救助法を中心とする応急救助全般について、阪神・淡路大震災における取組みを総括のうえ、分析、整理し、平成8年5月、今後の応急救助のあり方を報告書にまとめたところであります。

それによると、今後継続的な調査研究や検討を重ねながら、報告書の提言を可能な限り行政施策の中で具体化し、万一に備えた災害救助制度を充実することが望まれており、その具体的な方策として、現行の災害救助のあり方を見直す調査研究や、産業災害や交通災害対策等の新たな課題についての調査研究を継続的に行い、その成果を応急救助の第一線機関が活用できるよう体系的に蓄積周知していくことが求められております。

我が国における災害対策関係の調査研究は、内閣府、国土交通省をはじめとする中央官庁から関連する各機関に至るまで、様々な形で諸研究に見られるところでありますが、いずれもハード面の研究が大部分であり、避難所の設置、被災者の救援、医療救護班の派遣等の、いわゆる国の実施する災害応急対策に係るソフト面の研究の蓄積が極めて乏しい状況にあります。

こうした経緯から、日本赤十字社は、平成9年度より厚生省（現 厚生労働省）の補助を受けて、災害時の地方自治体、災害拠点病院及び日本赤十字社における応急救助体制や救護装備の整備状況、救援物資の備蓄状況等の全国的なデータを調査・集計し、「災害基本データブック」として編纂、調査対象機関等に配布してきたところであります。

本報告書では、上記データブック編纂のため収集したデータを用いて、主要な調査項目について時系列の推移を捉えることで、防災関係機関における災害救助体制の進展を分析できるものとなっておりますので、各機関等における災害救助対策にご活用いただければ幸甚に存じます。

本報告書は、以下の編集委員により「災害基本データ報告書」作成のため収集したデータを用いて作成したものである。

【平成 9 年度】

厚生省社会・援護局保護課	災害救助専門官	下道耕二
東京都総務局災害対策部応急対策課	災害担当係長	松尾尚之
株式会社防災&情報研究所	代 表	高梨成子
日本赤十字社事業局救護・福祉部	部 長	関口清春

【平成 10 年度】

厚生省社会・援護局保護課	災害救助専門官	千葉一也
東京都総務局災害対策部応急対策課	災害担当係長	松尾尚之
静岡市総務部防災課災害対策担当	課 参 事 兼 主 幹	小澤 一
株式会社防災&情報研究所	代 表	高梨成子
日本赤十字社神奈川県支部	事 業 部 長	山本佑幸
秋田赤十字病院	企 画 調 査 課 長	佐藤 正
日本赤十字社事業局救護・福祉部	救 護 課 長	田中 豊

【平成 11 年度】

厚生省社会・援護局保護課	災害救助専門官	千葉一也
神奈川県福祉部福祉総務室総務班	副 主 幹	大山 晃
静岡市総務部防災課災害対策担当	課 参 事 兼 主 幹	小澤 一
株式会社防災&情報研究所	代 表	高梨成子
日本赤十字社神奈川県支部	事 業 部 長	山本佑幸
秋田赤十字病院	企 画 調 査 課 長	佐藤 正
日本赤十字社事業局救護・福祉部	救 護 課 長	市橋和彦

【平成 12 年度】

厚生労働省社会・援護局保護課	災害救助専門官	河原勝洋
埼玉県健康福祉部社会福祉課	主 事	浜谷 学
静岡市総務部	防 災 課 長	小澤 一
株式会社防災&情報研究所	代 表	高梨成子
日本赤十字社神奈川県支部	事 業 部 長	山本佑幸
秋田赤十字病院	企 画 調 査 課 長	佐藤 正
日本赤十字社事業局救護・福祉部	救 護 課 長	市橋和彦

【平成 13 年度】

厚生労働省社会・援護局保護課	災害救助専門官	河原勝洋
埼玉県健康福祉部社会福祉課	社会福祉担当主任	浜谷 学
静岡市消防本部	消 防 総 務 課 長	小澤 一
株式会社防災&情報研究所	代 表	高梨成子
日本赤十字社神奈川県支部	事 業 部 長	山本佑幸
秋田赤十字病院	総 務 課 長	佐藤 正
日本赤十字社事業局救護・福祉部	救 護 課 長	市橋和彦

災害救助体制の推移に関する調査報告書目次

はじめに

1 . 調査の実施概要	1
(1) 5年間の調査対象数の推移	1
(2) 調査の実施方法と回収率	1
(3) 5年間の調査項目の改変	2
(4) 調査の実施時期	2
(5) 阪神・淡路大震災以降の災害発生状況	2
2 . 各調査対象別にみた調査結果の概要	7
2.1 地方自治体	7
2.2 医療機関	14
2.2.1 災害拠点病院	14
2.2.2 赤十字病院	22
2.3 日本赤十字社本社・支部	30
3 . 関連資料	
3.1 地方自治体に対する調査票及び回答の単純集計表	35
3.2.1 災害拠点病院に対する調査票及び回答の単純集計表	47
3.2.2 赤十字病院に対する調査票及び回答の単純集計表	55
3.3 日本赤十字社本社・支部に対する調査票及び回答の単純集計表	63
3.4 災害基本データブックの活用状況等（自由回答まとめ）	75

1. 調査の実施概要

- (1) 5年間の調査対象数の推移
- (2) 調査の実施方法と回収率
- (3) 5年間の調査項目の改変
- (4) 調査の実施時期
- (5) 阪神・淡路大震災以降の災害発生状況

1 . 調査の実施概要

災害基本データブックの調査は、平成9年度から開始され、平成13年度までに5年間実施された。第1年目の調査は、調査を継続して実施するためのプリサーベイ的な位置づけであり、調査対象である地方自治体、災害拠点病院・赤十字病院、日本赤十字社本社・支部の災害対策についての現状把握及び調査項目の選定、検証等を主眼として行った。この結果等をもとに、第2年度目以降は大幅に調査内容を変更しており、数値の比較がほとんど不可能と言ってよい状態であるため、本報告書で取り扱う数値は、第2年度目以降の4年間の比較となっている。

(注) なお、回答中、明らかに誤記が多いと判断された項目については、集計結果から除外している。

(1) 5年間の調査対象数の推移

地方自治体

平成10年度以降、都道府県及び政令指定市に、県庁所在市、中核市を加え、138団体に対して調査を実施してきたが、平成13年1月1日付で浦和市、大宮市及び野市が合併して「さいたま市」となったため、平成13年度調査では1団体減少し、137団体に対して調査を実施した。

災害拠点病院

災害拠点病院については、指定病院の増加に合わせ、毎年調査対象に加えており、平成10年度調査で495病院だったのが、平成13年度には526病院と31病院増えている。増加数は、平成10年度から11年度にかけて23病院あったが、平成12年度には5病院、平成13年度には3病院の微増となっている。また、調査票の回収率も、微増ではあるが、年々増加している。

赤十字病院については、災害拠点病院の指定の有無に係わらず全数を調査対象としており、平成10年度調査以降、93病院を対象に調査を実施している。なお、赤十字病院のうち、災害拠点病院に指定されているのは56病院である。

日本赤十字社本社・支部

平成10年度調査以降、1本社47支部を対象に調査を実施している。

(2) 調査の実施方法と回収率

毎年、郵送により実施し、未回収団体に対し、郵便及び電話により督促を実施している。

調査票の回収については、地方自治体、日本赤十字社本社・支部、赤十字病院からは、毎年全機関回収されているが、赤十字病院以外の災害拠点病院のみ、全病院から回収が得られていない。しかし、平成12年度、13年度とも89.7%の回収であり、回収率はきわめて高い。

表 1.2 阪神・淡路大震災以降に発生した主な自然災害

平成 7 年 1 月 17 日	:	阪神・淡路大震災
平成 11 年 6 月～ 9 月	:	西日本～全国風水害相次ぐ
平成 12 年 3 月末	:	有珠山噴火災害
平成 12 年 6 月末～	:	三宅島噴火災害
平成 12 年 9 月 11 日～ 12 日	:	東海地方豪雨災害
平成 12 年 10 月 6 日	:	鳥取県西部地震
平成 13 年 3 月 24 日	:	芸予地震
平成 13 年 8 月 21 日～ 22 日	:	台風 11 号

表 1.3 阪神・淡路大震災以降の災害救助法適用状況

災 害 名	都道府県	法適用日	法 適 用 市 町 村
【平成 7 年度】			
新潟県北部地震	新潟県	4 月 1 日	北蒲原郡笹神村
7.3 からの大雨	愛媛県	7 月 5 日	大洲市
7.11 からの大雨	新潟県	7 月 11 日	中頸城郡頸城村、上越市、北安曇郡小谷村
	長野県	7 月 12 日	上水内郡豊野町
8.10 からの大雨	新潟県	8 月 10 日	刈羽郡西山町
計	3 県 (延 5 県)		7 市町村 (2 市 2 町 3 村)
【平成 8 年度】			
台風 17 号	埼玉県	9 月 22 日	与野市
	千葉県	9 月 22 日	茂原市、長生郡睦沢町
計	2 県		3 市町 (2 市 1 町)
【平成 9 年度】			
7 月梅雨前線豪雨災害	鹿児島県	7 月 10 日	出水市
台風 19 号	宮崎県	9 月 16 日	延岡市、東諸県郡高岡町、東臼杵郡東郷町、東臼杵郡北川町
	鹿児島県	9 月 16 日	姶良郡吉松町
	大分県	9 月 16 日	杵築市
計	3 県 (延 4 県)		7 市町 (3 市 4 町)
【平成 10 年度】			
8 月上旬豪雨による災害	新潟県	8 月 4 日	北蒲原郡笹神村、新潟市、北蒲原郡水原町
8 月末豪雨による災害	福島県	8 月 27 日	西白河郡西郷村、西白河郡大信村、白河市
	茨城県	8 月 28 日	水戸市
	栃木県	8 月 27 日	那須郡那須町
		8 月 30 日	大田原市、黒磯市、那須郡黒羽町
	埼玉県	8 月 28 日	川越市
静岡県	8 月 30 日	田方郡函南町	
台風第 5 号	埼玉県	9 月 16 日	与野市
台風第 7 号	福井県	9 月 22 日	丹生郡越前町
	兵庫県	9 月 22 日	神戸市兵庫区
	奈良県	9 月 22 日	五條市

9月23日～25日の大雨	高知県	9月25日	高知市、南国市、土佐市、吾川郡春野町、 香美郡野市町、香美郡土佐山田町
台風第10号	岡山県	10月17日	津山市、赤磐郡吉井町、御津郡御津町、久米郡柵原町
計	11県(延12県)		27市区町村(12市1区11町3村)
【平成11年度】			
6月23日から7月3日までの梅雨 前線豪雨	広島県	6月29日	広島市、呉市
	福岡県	6月29日	福岡市
8月27日から28日の対馬地方大雨	長崎県	8月27日	下県郡豊玉町
台風第18号と前線にともなう大雨	山口県	9月24日	山口市、下関市、宇部市、防府市、小野田市、玖珂郡 大畠町、吉敷郡秋穂町、吉敷郡阿知須町、厚狭郡山陽町
	熊本県	9月24日	熊本市、宇土市、不知火町、下益城郡松橋町 下益城郡小川町、八代郡鏡町、八代郡竜北町 天草郡龍ヶ岳町、天草郡御所浦町
	福岡県	9月24日	北九州市
茨城県東海村放射能漏れ事故	茨城県	9月30日	那珂郡東海村、那珂郡那珂町
10月27日からの大雨	青森県	10月28日	八戸市
	岩手県	10月28日	九戸郡軽米町
平成12年有珠山噴火	北海道	3月29日	伊達市、虻田郡虻田町、有珠郡壮瞥町
計	1道8県(延10道県)		30市町村(13市16町1村)
【平成12年度】			
三宅島火山活動	東京都	6月26日	三宅村
新島・神津島近海を震源とする地震	東京都	7月1日	神津島村
		7月15日	新島村
台風3号	埼玉県	7月8日	与野市
平成12年秋雨前線と 台風14号に伴う大雨	愛知県	9月11日	名古屋市、一宮市、春日井市、東海市、豊明市、 西春日井郡西枇杷島町、西春日井郡豊山町、 西春日井郡師勝町、西春日井郡西春町、 西春日井郡清洲町、西春日井郡新川町、海部郡甚目寺町、 海部郡大治町、知多郡東浦町、半田市、刈谷市、大府市、 岩倉市、知多郡阿久比町、知多郡美浜町、 北設楽郡稲武町(9市12町)
	岐阜県	9月11日	恵那郡上矢作町
平成12年(2000年) 鳥取県西部地震	鳥取県	10月6日	米子市、西伯郡西伯町、日野郡日野町 日野郡溝口町、境港市、西伯郡会見町
	島根県	10月6日	安来市、能義郡伯太町
平成13年(2001年) 芸予地震	広島県	3月24日	広島市、呉市、三原市、安芸郡下蒲刈町、安芸郡蒲刈町、 佐伯郡宮島町、賀茂郡河内町、豊田郡川尻町、 豊田郡豊浜町、豊田郡豊町、豊田郡大崎町、 豊田郡東野町、豊田郡木江町(3市10町)
	愛媛県	3月24日	今治市
計	8都県(延9都県)		48市町村(17市28町3村)

【平成13年度】			
9月6日の大雨	高知県	9月 6日	土佐清水市、幡多郡大月町
台風16号	沖縄県	9月 8日	沖縄市
		9月11日	島尻郡渡名喜村
計	2県		4市町村(2市1町1村)

2. 各調査対象にみた 調査結果の概要

2.1 地方自治体

2.2 医療機関

2.2.1 災害拠点病院

2.2.2 赤十字病院

2.3 日本赤十字社本社・支部

2. 各調査対象別にみた調査結果の概要

2.1 地方自治体

(1) 全般的傾向

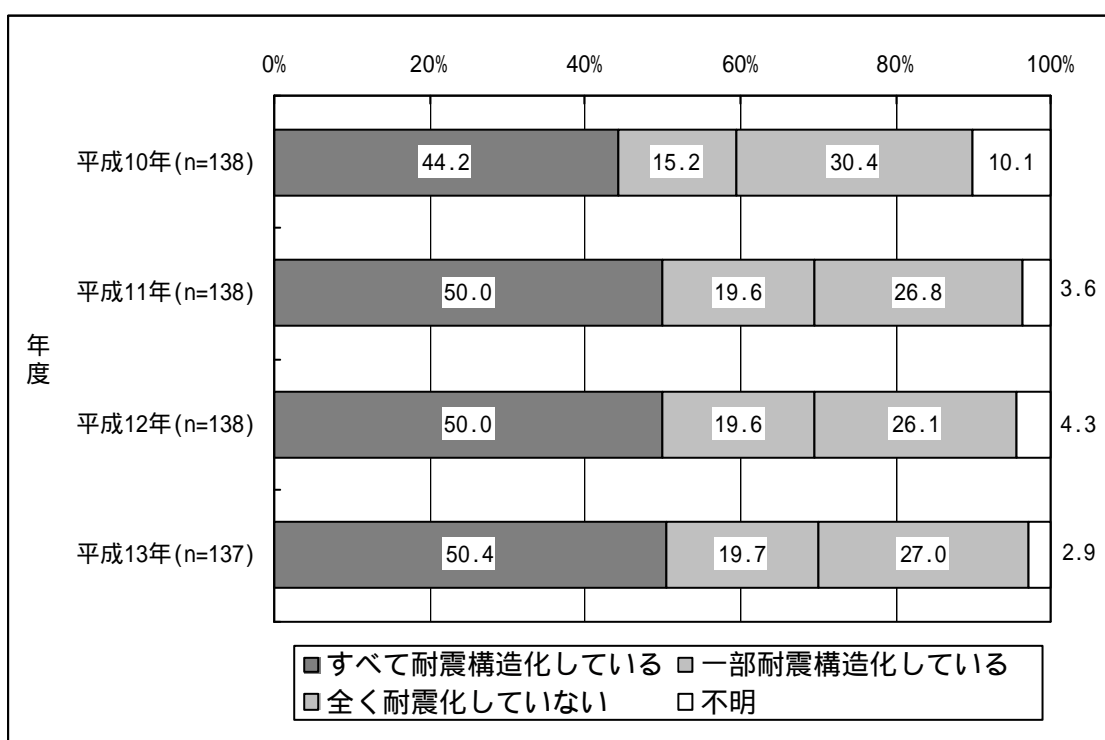
地方自治体の防災体制整備は徐々に進んでおり、防災対策の浸透等に伴い、若干ではあるが耐震化やヘリポート整備、情報通信機器整備等のハード面の対策が進展してきている。物資についても、多くの物が横這いしないしは増加傾向にある。協定等については、件数の増加が見られ、民間との協定等も増えてきている。

(2) 防災体制

土地・建物・代替施設等

災害救助法の所管部門と災害対策本部が設置される建物が同じ建物にあるという地方自治体は、平成10年度の73%から平成13年度には78%に若干増加している。建物の建築年は、平均1975年と20年以上前に建設されたものが多く、耐震化していない建物が平成13年度で27%となっており、耐震化はほとんど進んでいない。

図 2.1.1 建物の耐震構造化



災害発生時に建物が被災したときの代替施設については、平成13年度時点で決まっているところが「庁舎の敷地内」6%と「庁舎外」42%を合わせ48%であり、代替施設を検討していない割合は、ほとんど減少していない。

要員数

災害対策本部事務局の立ち上げ要員数は、平成 10 年度より平成 13 年度の方が減少している。これは、本部集中でなく、各地区への要員の分散参集方式がとられてきていることなどが関連しているものと思われる。

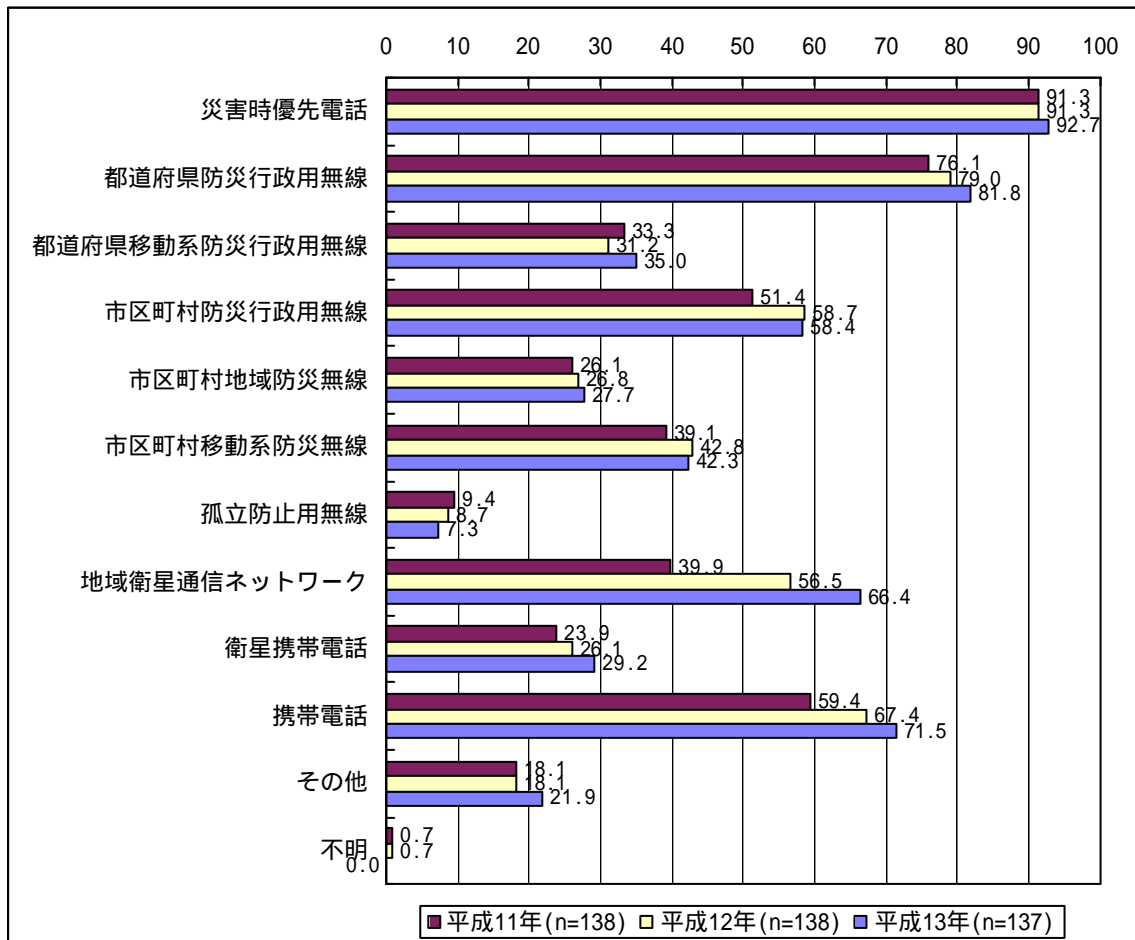
災害救助法所管部署は、平成 12 年度を除くと 1 地方自治体平均 60 人弱となっている。都道府県の災害対策基本法第 33 条に基づく派遣職員数は、建設機械操作職を除き、平成 10 年度より増加している。

また、平成 12 年度から調査項目に加えた応急建物危険度判定士の登録者数は、平成 12 年度より 13 年度の方が増え、行政職員と民間ボランティアの判定士の合計は平成 13 年度で 11 万 6 千人を超えており、徐々に研修や登録が進展している傾向が伺われる。

施設・設備

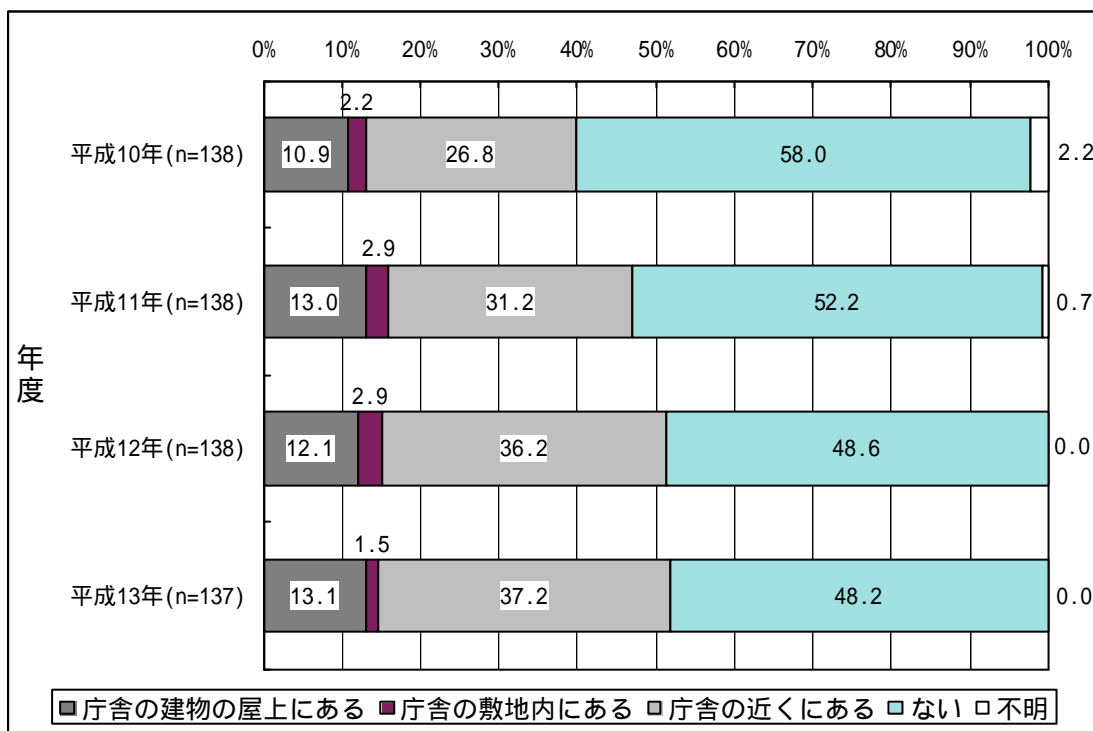
情報機器については、平成 11 年度以降が比較可能となっており、平成 11 年度に比べ平成 13 年度には、孤立防止用無線を除き、ほとんどの情報伝達手段の整備が進んでいる。中でも伸び率が高かったのは、地域衛星通信ネットワーク（40%から 66%と 2/3 の自治体で導入）と、一般の普及率の高い携帯電話（59%から 72%へ増加）等である。

図 2.1.2 緊急時の情報伝達手段



ヘリポート(ヘリコプターの臨時離発着場)の整備率については、平成10年度の40%から平成13年度には52%と、約半数の地方自治体でヘリポートが整備されていたが、48%の地方自治体では依然としてヘリポートが整備されていない。設置場所は、もっとも多い「庁舎の近くへの整備」が、27%から37%に増加していたが、庁舎の屋上に設置された所は平成10年度の11%から平成13年度の13%と、2%増に限られていた。

図 2.1.3 ヘリポートの有無



応援協定等

地方自治体間の応援協定は、平成11年度時点ですでに96%とほとんどの自治体が締結しており、平成13年度には98%とほぼ100%近くの自治体が、何らかの協定を締結している。協定内容は、食糧・生活物資の提供、職員派遣、被災者の救出・医療、車両・ヘリなどの派遣が多い。

地方自治体以外の行政機関との協定は、平成11年度には半数の自治体が締結していたが、平成13年度には73%に増加している。協定内容は、情報収集・伝達、その他が多くなっている。自衛隊との協定については7%から9%への微増に止まっている。

また、民間業者との協定は平成11年度の79%から88%に約1割増加しており、その内容は食糧・生活物資の提供が最も多く、情報収集・伝達や車両・ヘリ等の派遣も増加してきている。ボランティア団体との協定は10%から15%への微増であり、そのほとんどは情報収集・伝達となっている。

災害見舞金制度及び義援金配分委員会の設置状況

災害見舞金・弔慰金については、地方自治体の財政難もあり、全国的に制度の見直しをかけている地方自治体が多いとのことであるが、独自の災害見舞金制度を持っている自治体は、平成10年度の79%から平成13年度には83%に微増していた。また、

地域防災計画に義援金配分委員会の設置を規定している自治体は、平成 10 年度の 38% から平成 13 年度の 43% にそれぞれ微増している。

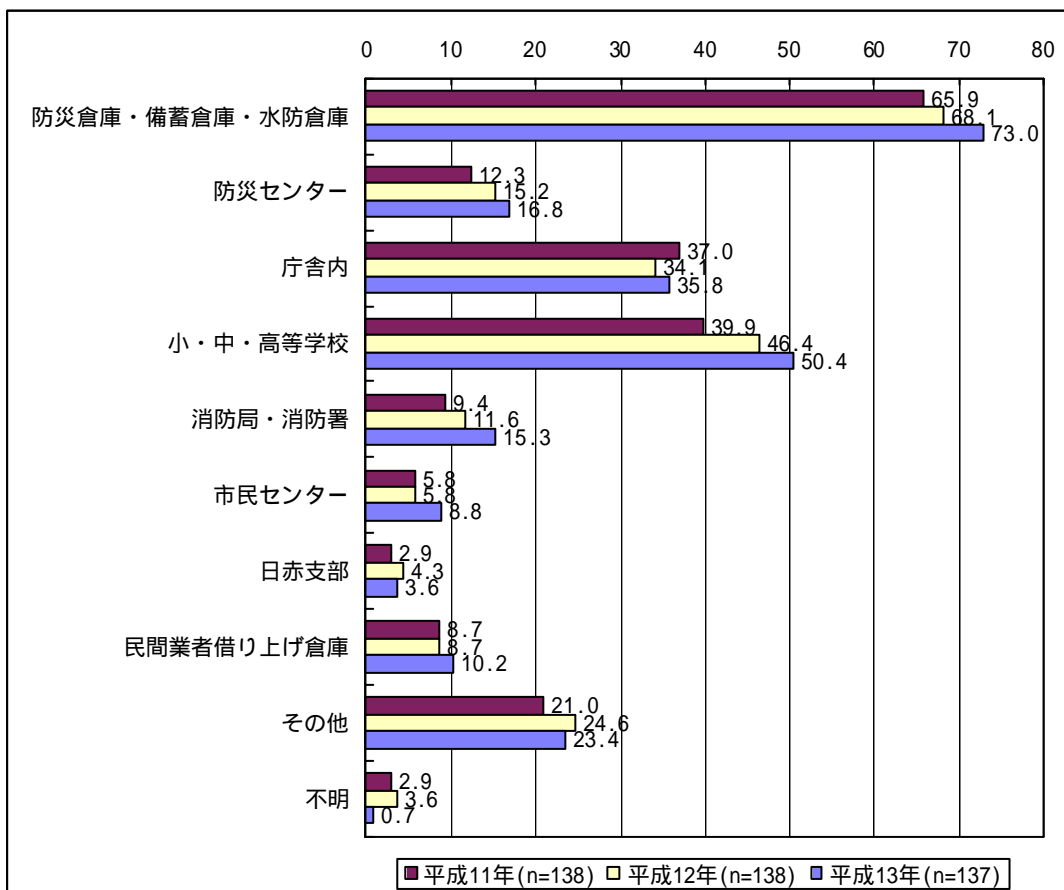
避難所、福祉避難所

広域避難場所があるという地方自治体は平成 10 年度の 121 自治体から平成 13 年度の 126 自治体に増加しており、平均数も 275.5 に増加している。屋内避難所は 134 自治体があるとしており、平均 879.2 箇所増加している。災害弱者用 2 次避難所（福祉避難所）がある自治体は 47 自治体から 84 自治体に増えているが、箇所数は平均 30 箇所から 22 箇所に減少している。応急医療用救護所も、57 自治体から 84 自治体に増えているが、平均は 91 箇所から 72 箇所に減少している。

救援物資集積場所

救援物資集積場所を設置している地方自治体は、平成 10 年度の 82 自治体から平成 13 年度の 105 自治体に増加しているが、平均数は 16.3 箇所から 14.6 箇所にわずかながらではあるが減っている。設置箇所数が減少してきているのは、都道府県レベルから次第に中核市レベルにおける整備が進んできたためとみられる。また、地域特性や地形によるとみられるが、陸路経由の拠点が平均 9.3 箇所以最も多く、次いで空路経由、海路経由は 1.2 箇所と少なかった。

図 2.1.4 災害救助用資機材等の備蓄場所



(3) 救援物資等の整備状況

総備蓄数

救援物資の総備蓄数では、下表に示すような物資量の変化の特徴が見られた。

表 2.1.1 地方自治体の物資等の増減状態

増加物資等	<ul style="list-style-type: none">・テント、防水シート、カーペット・ゴザ・マット、担架、簡易トイレ・アルファ米、(即席)麺類(以上は流通備蓄急増) 副食用缶詰等、保存飲料水(自己購入と流通備蓄)・日用品セット、ロープ、携帯コンロ、生理用品、噴霧器
横這い	<ul style="list-style-type: none">・肌着、雨具、乾パン・クラッカーなど、主食用缶詰等・なべ、やかん、ろ水器、ろ水機、懐中電灯、ローソクなどの照明、携帯ラジオ、タオル・バスタオル・小児用おむつ、ほ乳びん、三角巾・生石灰、クレゾール(備蓄している自治体は少ない)
減少物資等	<ul style="list-style-type: none">・布団、タオルケット、寝袋、作業服・ジャージ・粉ミルク、釜、食器セット、洗剤、救急箱、包帯等
増減繰り返し	<ul style="list-style-type: none">・毛布、(折り畳み式)リヤカー・靴下、長靴・靴・サンダル(以上は流通備蓄急増)・大人用おむつ(減少後元へ)

備蓄物資等が増加している背景については、近年、災害が多発していることから、災害に備えるための備蓄の必要性が重視され、準備が進んだと見られる。また、減少については、多くの場合、災害が発生したことによる自己の備蓄物資の放出、流通備蓄の減少によるものと見られる。しかし、災害が比較的少なかった平成 13 年度でも減少している物資については、更改時期に当たり財政難で不要と判断されたものなどが補充されなかったことなども原因していると考えられる。また、流通備蓄の減少については、昨今の経済的事情や流通事情等から、協定先の実質備蓄量が減少していることなどが考えられる。

個々の物資については、アルファ米、即席麺類の流通備蓄が増加しているのは、緊急時に簡易に主食的に食べられる食品が重視されていることにあると見られ、購入だけでなく、流通備蓄方式を採り入れる自治体が多くなってきている。それには、即席食材の普及と廉価化も後押ししていると思われる。また、保存飲料水の備蓄が増加しているのは、飲み水の緊急時における必要性が認識されてきているうえ、ペットボトルなどの保存に適した商品の製品化・流通が促進したためとみられる。なお、乾パンなどの購入備蓄は明らかに減少しており、現代人の生活レベル向上に伴い、災害時においても好まれない傾向があるためと見られる。

図 2.1.5 総備蓄数（住居・寝具類／衣類／食料・水）

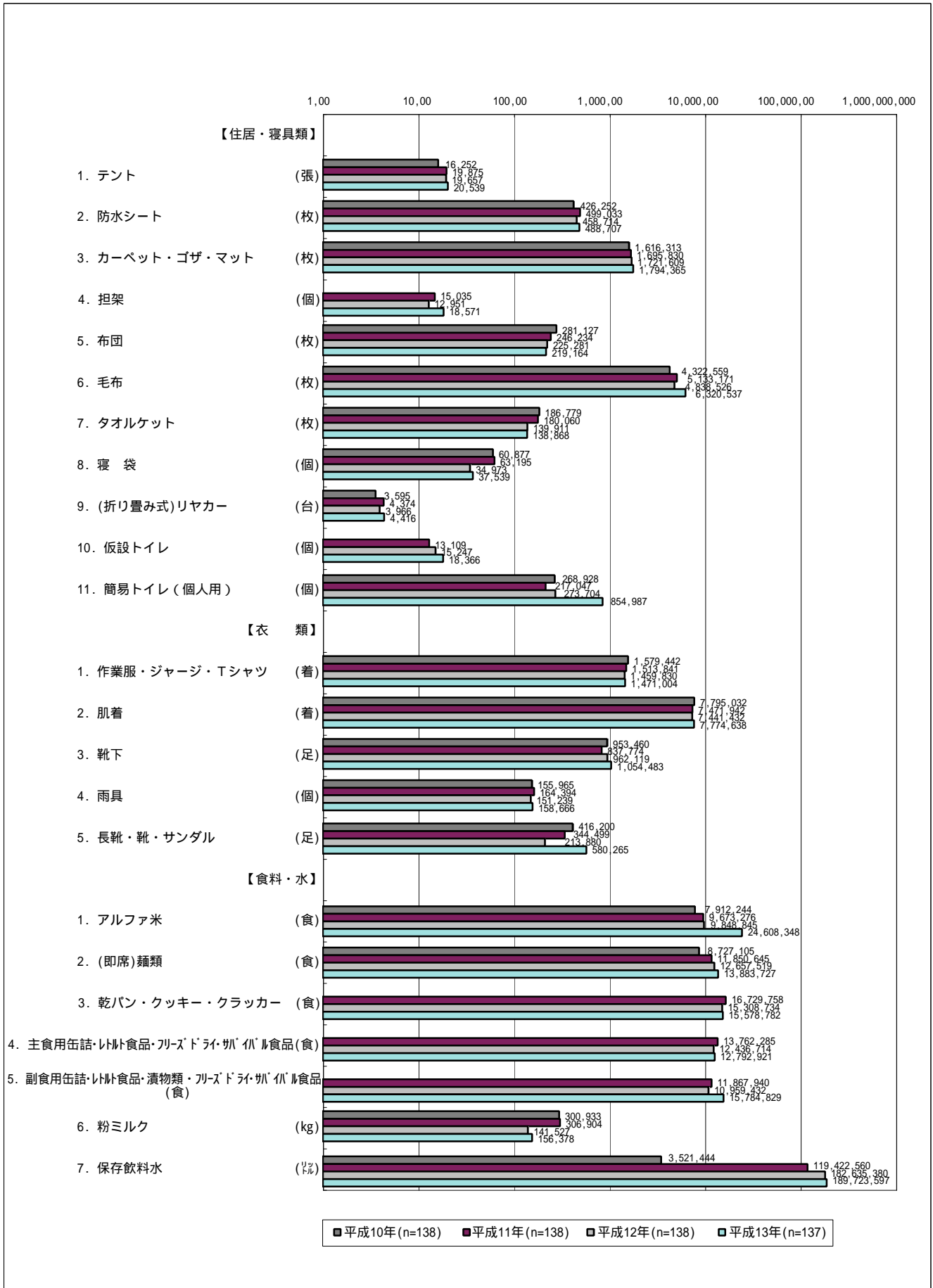
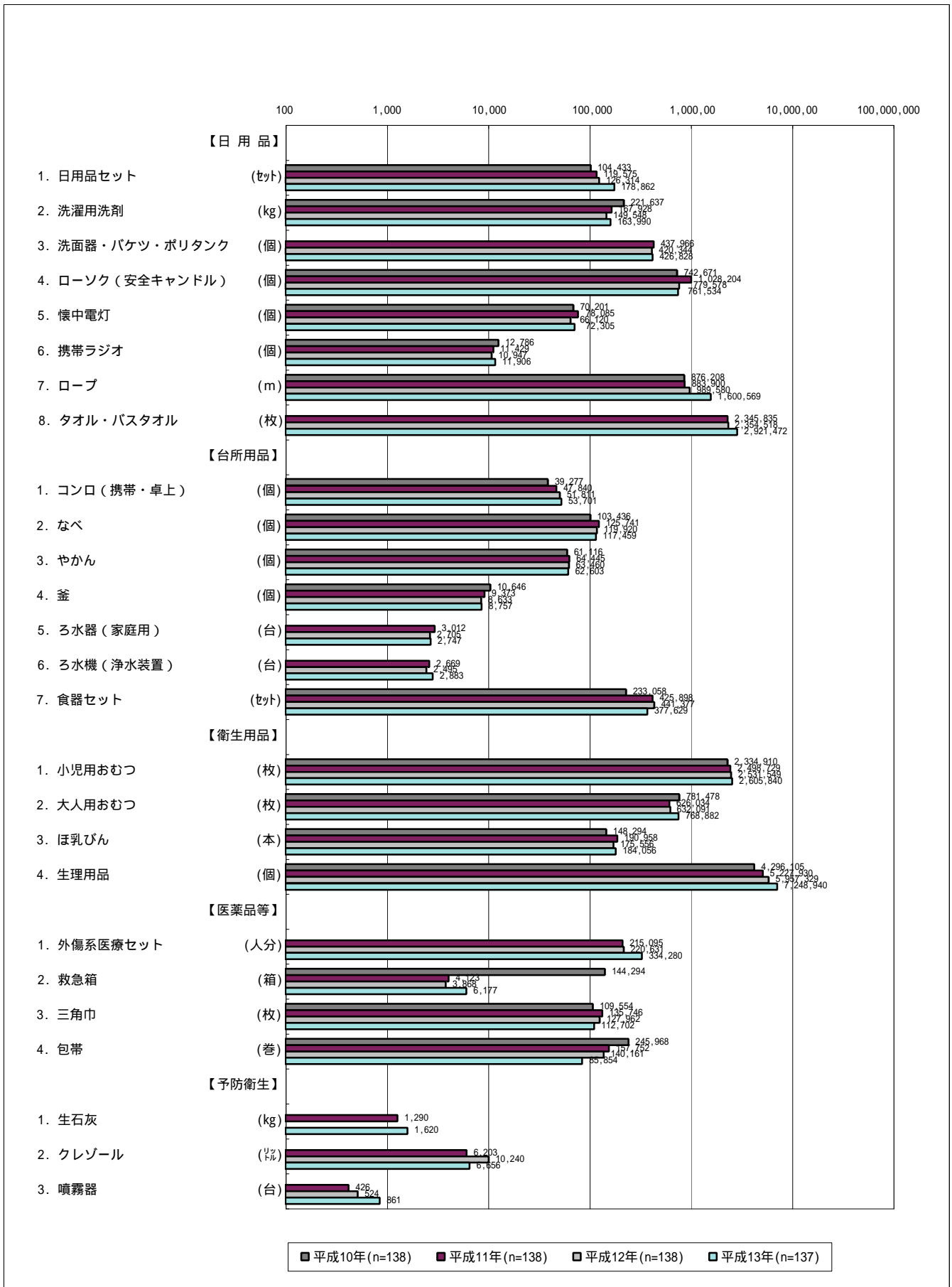


図 2.1.5 総備蓄数（日用品 / 台所用品 / 衛生用品 / 医薬品等 / 予防衛生）



2.2 医療機関

2.2.1 災害拠点病院

各都道府県の災害拠点病院の指定が徐々に増えたため、平成 10 年度の調査実施時点では災害拠点病院は 495 病院であったが、平成 13 年度には 526 病院に増加している。これに伴い、アンケートに回答した災害拠点病院数は 420 から 472 病院に増加している。調査票に回答した災害拠点病院の内訳は、平成 13 年度時点で基幹 48 病院、地域 424 病院となっている。このうち、赤十字病院で災害拠点病院は 56 病院あり、赤十字病院については、全病院からアンケート調査票が回収されている。

表 2.2.1.1 災害拠点病院の調査票発送・回収状況

	平成 10 年度 発送・回答数	平成 11 年度 発送・回答数	平成 12 年度 発送・回答数	平成 13 年度 発送・回答数
災害拠点病院発送数 (うち赤十字病院数)	495 (56)	518 (56)	523 (56)	526 (56)
災害拠点病院回収数	420 (56)	453 (56)	469 (56)	472 (56)
災害拠点病院回収率	84.8%	87.5%	89.7%	89.7%

(注) 災害拠点病院については、災害拠点病院一覧 2001 年 5 月 1 日現在 厚生労働省医政局指導課 発表 (http://www.wds.emis.or.jp/saigai_kyoten/saigai.htm) を基に確認。平成 13 年調査では、公立置賜総合病院(山形) 宝塚市立病院(兵庫) 川口病院(熊本)の 3 病院が追加された。

(1) 全般的傾向

全般的に、災害拠点病院では、防災に関連する項目の整備率等が増加する傾向にある。これは、阪神・淡路大震災以降、集団災害(事故)の発生等も背景として、国や都道府県の指示の下で、災害拠点病院の物的整備が徐々に浸透し、全体的に個々の災害拠点病院における「防災計画化」や「物的整備」が高まっているためとみられるが、中にはすでに対策が飽和状態になっているとみられるものもあった。

現時点における課題としては、拠点病院及び医療関係行政機関等の広域連携を射程に入れた対応の整備にあると言えるが、大規模災害を想定した実戦的な訓練の実施等には至っていないとみられ、なお、今後の対策促進が望まれる。

(2) 防災体制

院内災害対応計画等のソフト面の対策

院内災害対応計画及び災害対応マニュアルの作成率については、平成 10 年度から 12 年度までの伸びはめざましかったが、平成 12 年度に作成率が 6 割を超えた後は、平成 13 年度には数%の微増に止まっている。その一方で、平成 12 年度から調査項目に含めた「医師等動員計画」については、56%から 63%に伸び、6 割を超している。このように、計画面(ソフト面)での整備が全病院に浸透しているとは言えないものの、「医師等動員計画」等の院内体制の実質的整備に向けた詳細計画が、進みつつあると言える。

また、各都道府県行政の下、災害拠点病院の広域の協議が進んでいるとみられ、平成 11 年度に 42%だった災害拠点病院連絡会議への出席率は 57%と 6 割ラインに近づいてきており、個々の病院対策から広域連携対策の流れが出来つつあると言える。

図 2.2.1.1 院内災害対応計画の有無

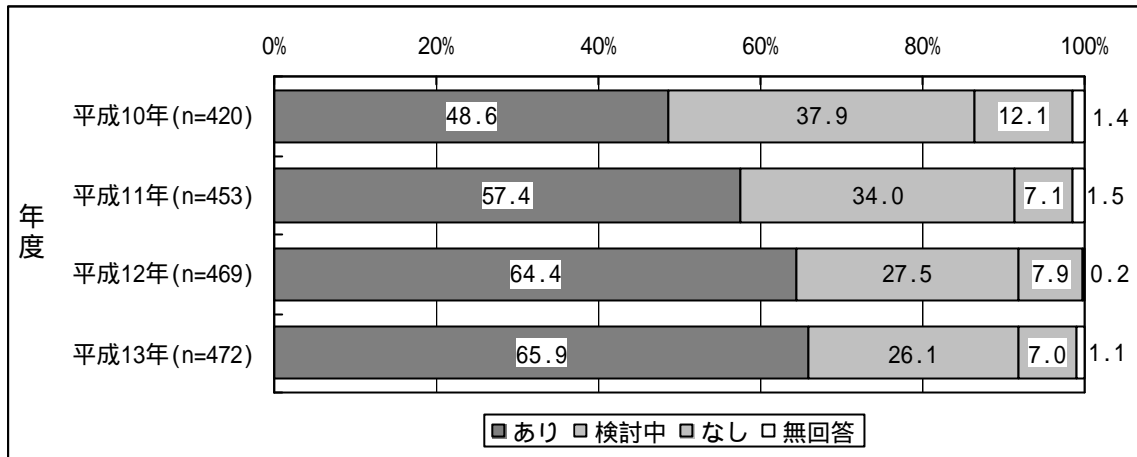


図 2.2.1.2 院内災害対応マニュアルの有無

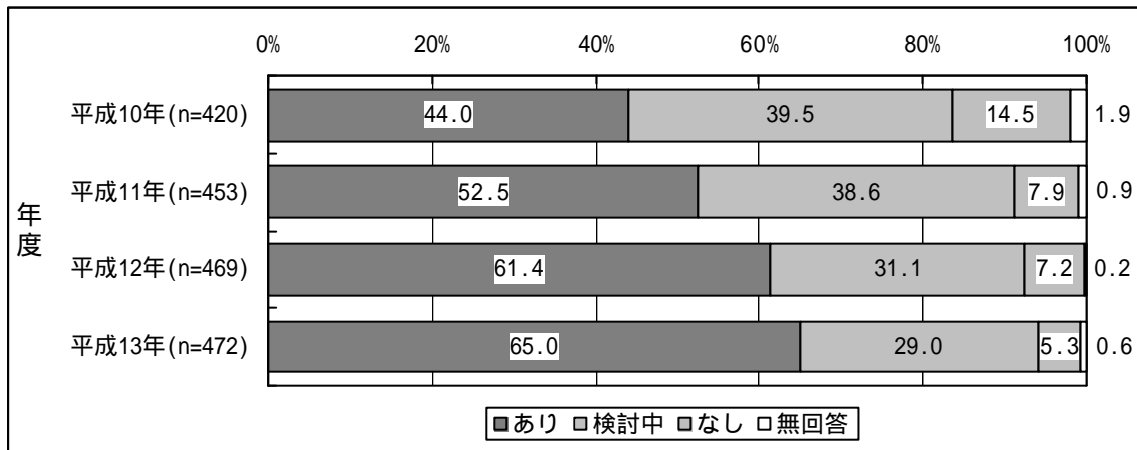


図 2.2.1.3 災害時動員計画の有無

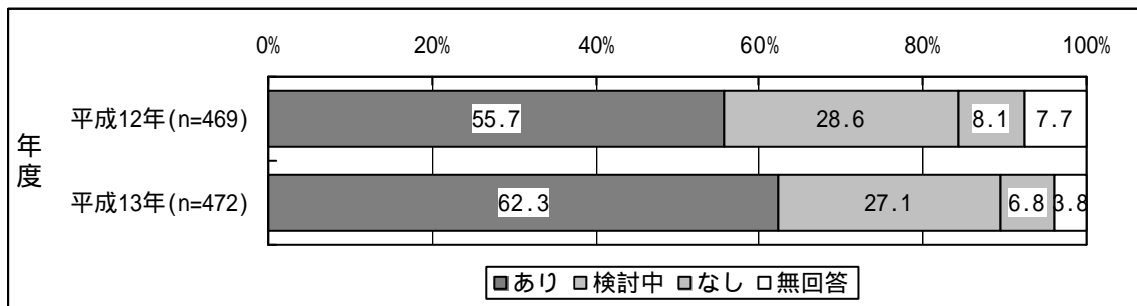
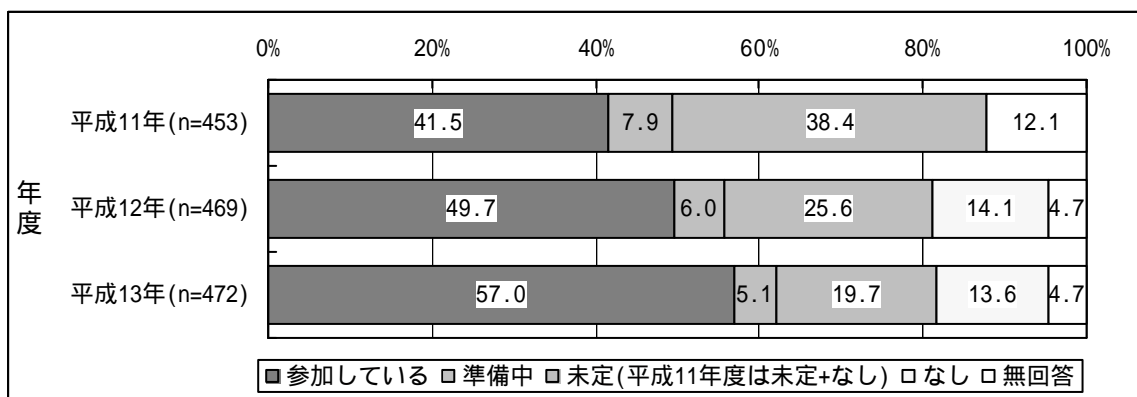


図 2.2.1.4 災害拠点病院連絡会議



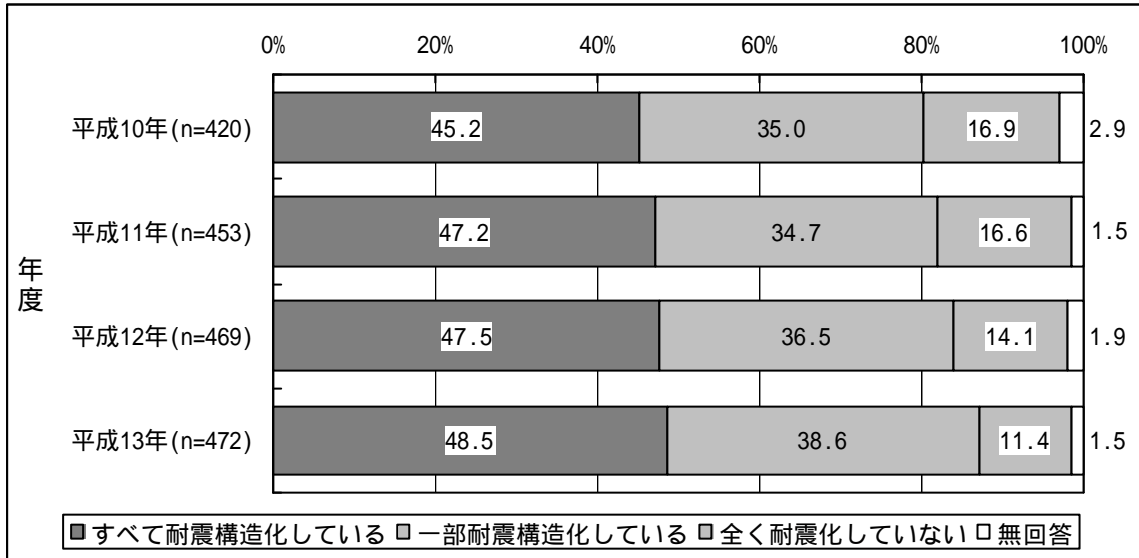
ハード面の対策

災害拠点病院の施設・設備の整備状況の推移は、次のようだった。

1)建物・施設整備

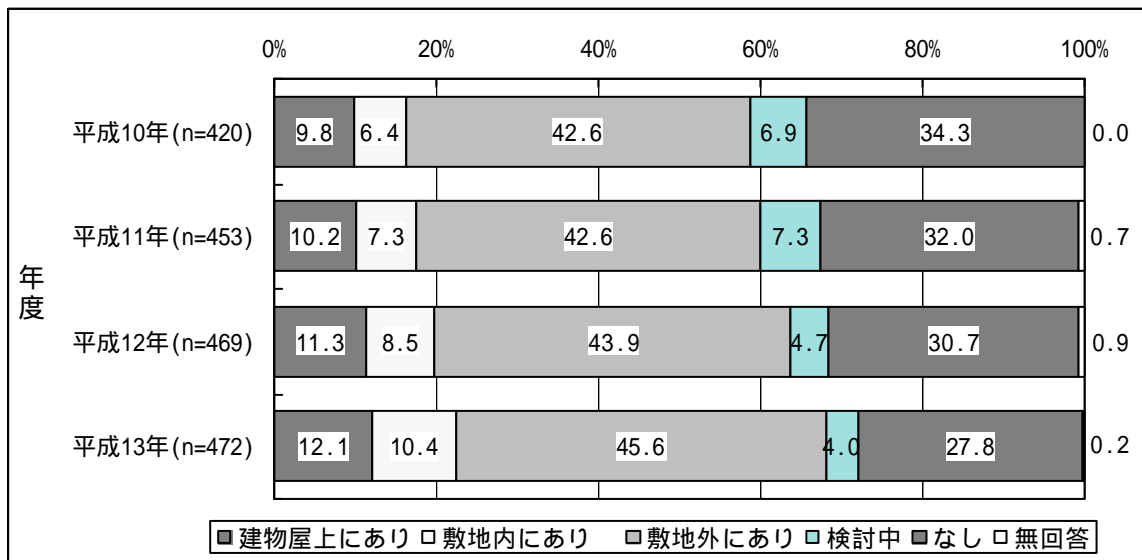
- ・災害拠点病院施設の耐震構造化：地方自治体より耐震化がなされているとは言え、「すべてを耐震構造化」している病院は平成 10 年度の 45%から 13 年度は 49%への微増であり、「全く耐震化していない」病院も約 1 割みられた。

図 2.2.1.5 耐震構造化の有無



- ・ヘリポート整備率：病院近辺へのヘリポート整備が平成 10 年度の 59%から 13 年度の 68%と 7 割近くまで増加している。しかし、もっとも多い「敷地外」に整備されているヘリポートまでの平均距離は約 1.5km となっており、ヘリポートまでの救急車搬送を必要とする距離となっている。

図 2.2.1.6 ヘリポートの有無



2) ライフライン関連設備の整備

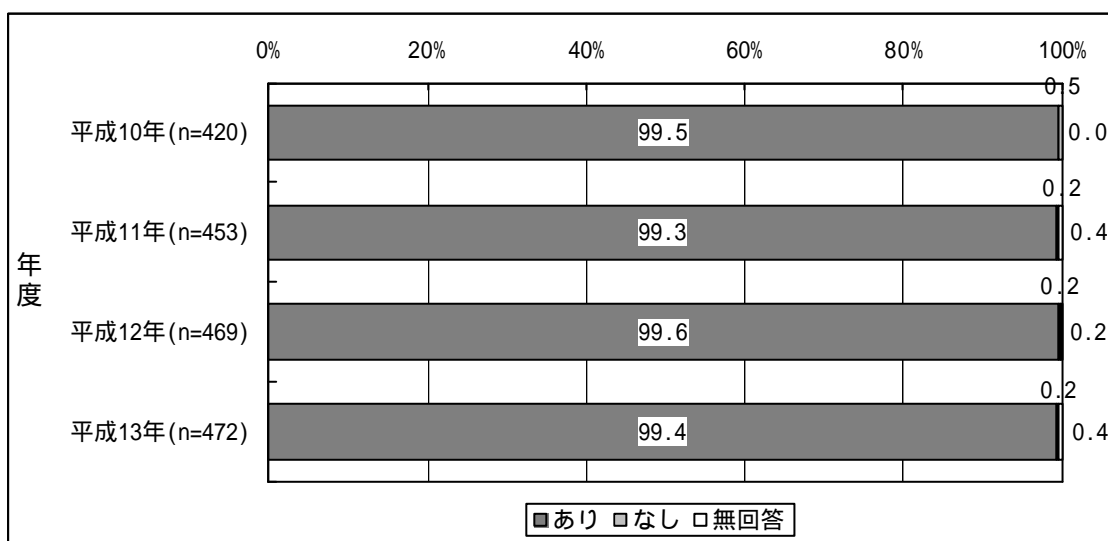
病院の医療機能を維持するには、電気・水・ガスといったライフライン関連の供給を確保しなければならず、代替設備等の確保が肝要となるが、災害拠点病院では以下のような対策の実施状況だった。

- ・自家発電整備率：平成10年度からほぼ100%の病院で整備しているとの回答が得られており、未整備と回答している病院は、毎年2～3病院のみに限られている。

自家発電による供給可能な電力については、平成13年度の平常時契約電力量が平均2,343kwであるのに対し、811kw×52時間となっており、約1/3の電力量を2日半供給する能力を持っているという結果だった。なお、供給方式については質問していない。

- ・医療用ガス支援体制：平成10年度の39%から13年度の63%とかなり伸びている。
- ・医療用又は飲用水：年毎に、全体の回答水量が減少してきている。平成13年度でみると、1日あたりの水使用量が1,173? /日に対し、受水槽等の貯水量は856? となっており、多くの災害拠点病院で1日に必要な水量の3/4をカバーする水量がある。また、自家井戸水が利用可能な286病院では、1日必要量の1/4にあたる平均283? /日の水が供給可能ということになる。

図 2.2.1.7 自家発電装置の有無



3) 情報伝達手段

院内の情報伝達については、内線電話（99%）、館内非常放送（97%）が主流であり、ポケットベルも82～83%とほぼ横這いの整備率であるが、携帯電話・PHSが平成10年度の29%から13年度は2倍を超す61%に急増し、トランシーバーについても平成11年度の25%から33%に微増している。

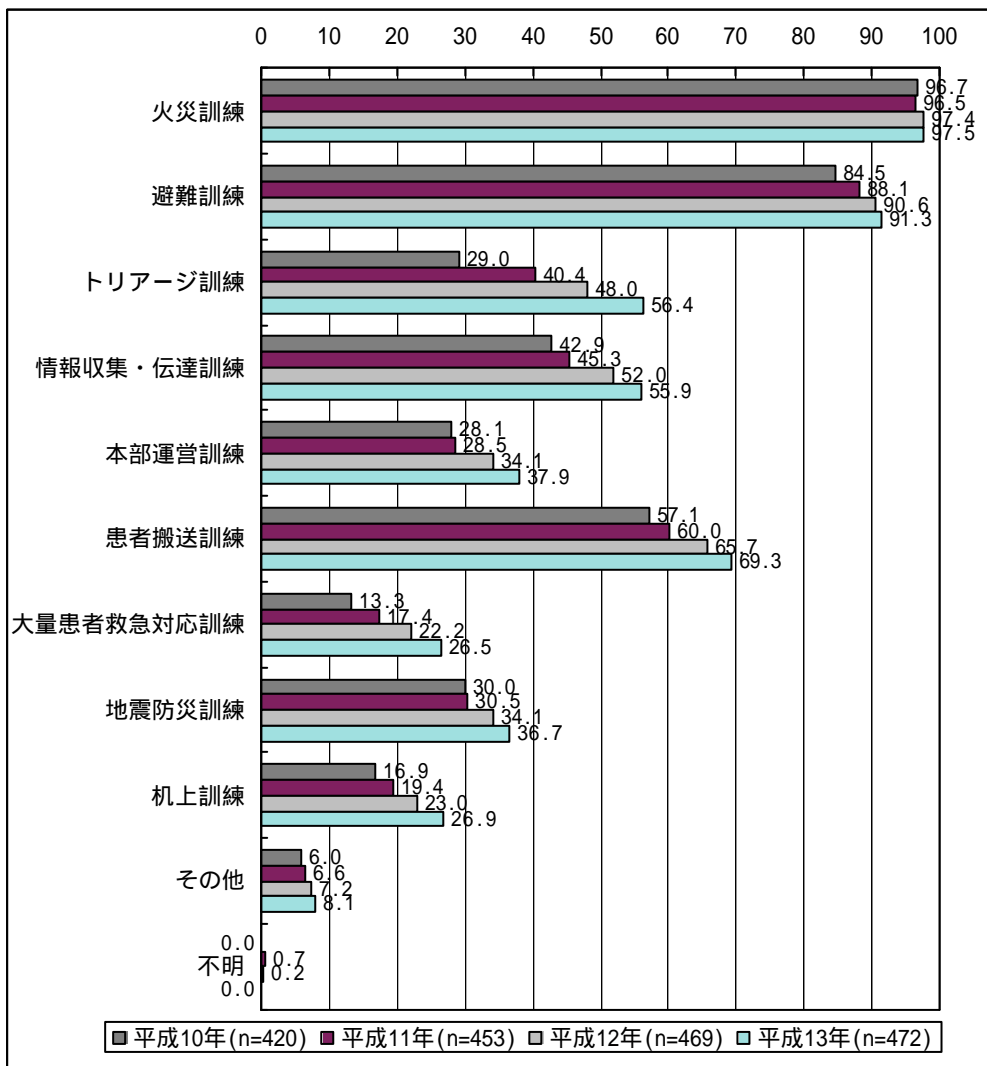
また、外部との情報伝達手段としては、災害時優先電話がもっとも多い（平成11年度の80%から13年度は86%）が、災害時優先電話の趣旨からみるとすべての災害拠点病院で導入されている可能性があり、病院内でどの電話が災害時優先電話に指定されているかわからなくなっているのではないかとみられる。また、広域災害

救急医療情報端末が 33%から 2 倍近くの 58%に急増している一方で、救急医療情報端末は 53%から 56%への微増となっており、広域災害救急医療情報の新規導入・切り替えが進んでいるものとみられる。この他、防災行政無線、行政との専用電話、各種無線、衛星携帯電話等は、各々数%ずつの微増となっている。

防災訓練の実施率

平成 13 年度時点で、火災訓練（98%）、避難訓練（91%）等、消防法に基づき病院の実施が義務化されている訓練についても、徐々に実施機関が増加しているとは言え、すべての病院が実施しているわけではなかった。日常救急医療を見立てた患者搬送訓練は 69%の災害拠点病院が実施しているが、大量患者搬送訓練となると、その半数以下の 27%の病院が実施しているにすぎない。トリアージ訓練は平成 10 年度の 29%から 56%の約 2 倍へ増加、机上訓練も 27%の災害拠点病院が採り入れているなど、大規模災害を想定した防災訓練実施率が高まっているとはいえ、未だ実戦的レベルまで到達しているとは言えない状況であると言えよう。

図 2.2.1.8 過去 3 年間に実施した訓練



(3) 応急医療体制

応急医療のための施設・設備の整備状況

1)災害時に提供可能なスペース

災害時に重症者などの治療を行えるスペースについては、「ある」という病院が平成 13 年度で 93%とほぼ変わりなく、総面積は平成 13 年度で 862 m²となっている。

2)災害時入院可能数

災害時に入院可能な患者数は、平成 11 年度の 1 病院平均 182 床をピークに、平成 13 年度には平均 169 床にやや減少している。一般病床の稼働率は、平成 10 年度の 96%から平成 13 年度の 97%とほぼ 100%に近い稼働であることに変わりはないが、やや病床稼働率が高まっているために、災害時入院可能数が減少しているものとみられる。

3)緊急手術

平成 13 年度でみると、470 病院とほぼ全病院に手術室があり（平均 6.3 室）予定されている以外に緊急に手術が可能な病院は平日日勤帯で 441 病院 93%（平均 3.4 室、計 1,497 人）夜間は 438 病院 93%（平均 2.4 室、計 1,071 人）に限られる。この数字についても、ライフラインの供給機能低下等でさらに減少する可能性がある。なお、緊急手術対象科目は、外科（97%）、整形外科（94%）、産婦人科（82%）、脳神経外科（82%）等となっている。

4)人工呼吸器

人工呼吸器は、保有している病院（平成 11 年度の 96%から 98%に）平均保有数（平成 11 年度の 19.6 器から 21 器に）とも増加しているものの、緊急時に使用可能な数は 6 器に減少している。日常時の救急患者 1 日平均取り扱い数は、1 病院当たり 31 人から 34 人弱の間で推移しているため、症状や診断により人工呼吸器の稼働率が高まっているためと見られる。

医療スタッフの動員可能性

災害拠点病院では、平日日勤帯には 1 病院あたり平均で医師が約 90 名、看護師が約 250 名、薬剤師 16 名、放射線技師 16 名、検査技師 26 名、その他職員が 129 名という陣容である。夜間帯になると、医師は 10 分の 1 以下の約 7 名、看護師は 5 分の 1 の 56 名、技術スタッフは各 1 名、その他職員 3 名に減少する。

このような夜間帯に大災害が発生し、病院が被災していないときの「災害時動員可能数」は、医師 58 名（64%）、看護師 193 名（77%）、薬剤師 11 名（68%）、放射線技師 11 名（68%）、検査技師 17 名（65%）、その他職員 80 名（62%）となっており、（ ）内に示した対平日勤務帯の動員比率は、62～77%となっていた。なお、多少の増減はあるものの、平成 10 年度から 13 年度の職員数には変化がみられなかった。

救護班

救護班準備率は、平成 10 年度の 84%から徐々に増え、95%の病院で準備している。準備している班数は、災害拠点病院 1 病院平均 2.8 班とほぼ変わらないので、災害拠点病院全数が増加していることにより、救護班総数が増えていることになる。回答総数でみると、回答が得られた災害拠点病院のみで、全国で平成 10 年度は約 1,100 班だったが、平成 13 年度には約 1,250 班となっている。なお、大災害発生時に当該病院が被災していない場合の第 1 班編成までの所要時間は、平日日勤時間帯で約 1 時間半、夜間時間帯で約 3 時間弱となっている。

また、救護班が携行する医療品セットの準備については、平成 10 年度に 48%の病院で整備されていた医療セットは平成 13 年度には 51%の微増であり、携帯型医療セットの方が平成 10 年度の 41%から 13 年度の 60%と整備の重点が移行している。なお、1 病院あたりの準備セット数は平成 10 年度より減少（医療セットは平成 10 年度の平均 6.2 セットから 3.0 セットに半減、携帯型医療セットは平成 10 年度の 3.1 セットから 13 年度の平均 2.4 セットに減少）している。

保有車両及び緊急車両

患者搬送車（病院救急車）を保有している災害拠点病院は、平成 10 年度の 63%から 71%に増加し、病院救急車を緊急車両に指定している病院は、同じく 55%から 56%に 1%だけだが増えている。病院救急車の緊急車両指定台数は 1.3 台である。また、その他の車両について緊急車両指定している病院は、平成 13 年度時点で 15%と少なく、緊急車両指定台数は 3 台だった。

(4) 物資保有量

医薬品保有状況

全国的に医薬分業が進むなか、災害拠点病院では、入院患者用医薬品を保有している病院は平成 11 年度の 95%から 13 年度は 92%に、外来患者用医薬品を保有している病院は、平成 11 年度の 87%から 13 年度の 85%に、それぞれわずかずつではあるが減少している。医薬品保有量は、平成 13 年度で入院患者用が 7.4 日、外来患者用が 7.2 日とさほど変化は見られなかった。

患者用提供可能食糧保有量

非常時に患者に提供可能な食糧の保有については、平成 11 年度がピークで、病院独自に 99%の病院が平均 1.9 日分、外部委託で 97%の病院が平均 0.2 日分を保有していた。しかし、平成 12 年度に保有病院は減少し、平成 13 年度には若干増えたものの、病院独自に 88%の病院で平均 3.2 日分、外部委託で 88%の病院が平均 0.6 日分を保有しているという結果であり、患者用の食糧を保有している病院は 10%ほどずつ減少していた。

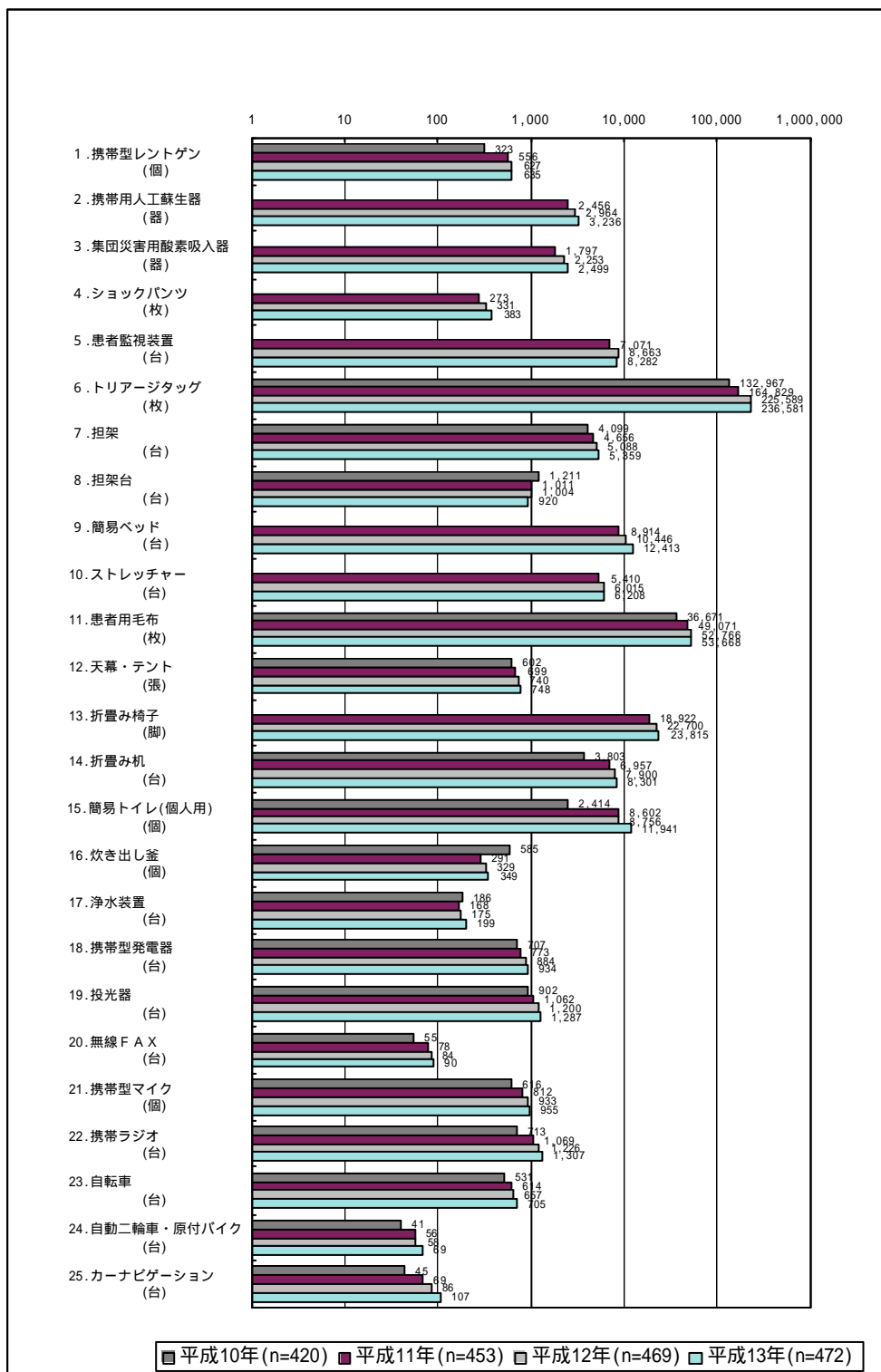
設備・備品の保有状況

表 2.2.1.2 に、災害拠点病院が保有している設備・備品の保有状況の増減を示した。

表 2.2.1.2 災害拠点病院の設備等の増減状態

増加物資等	携帯型レントゲン、携帯型人工蘇生器、集団災害用酸素吸入器、患者監視装置、トリアージタグ、担架、簡易ベッド、患者用毛布、折り畳み椅子、折り畳み机、簡易トイレ
横這い	ショックパンツ、ストレッチャー、天幕・テント、浄水装置、携帯型発電器、投光器、無線 FAX、携帯型マイク、携帯ラジオ、自転車、自動二輪車・原付バイク、カーナビゲーション
減少物資等	担架台、炊き出し釜

図 2.2.1.9 災害拠点病院の設備・備品の保有数



2.2.2 赤十字病院

赤十字病院の数は、平成 10 年度の調査実施時点から 93 病院であり、災害拠点病院に指定されているのはうち 56 病院（基幹 9 病院、地域 47 病院）と変化していない。アンケート調査票は、全赤十字病院から回収している。

(1) 全般的傾向

全般的に、赤十字病院では、応急対応に関連する項目の整備率等が項目によっては災害拠点病院より高い傾向にある。特に、災害救援機関である日本赤十字社の病院施設であるということもあり、災害拠点病院が「防災計画化」を優先しているのと比較すると、災害時や事故時の緊急対応に備えた訓練や救護班の事前編成、緊急時医療のための物的整備等に重点が置かれている点が特徴となっている。

現時点における課題としては、赤十字ブロック内及びブロック間の広域連携を射程に入れた対応の整備にあり、なお、今後の対策促進が望まれるところである。

(2) 防災体制

院内災害対応計画等のソフト面の対策

院内災害対応計画及び災害対応マニュアルの作成率については、平成 10 年度から 12 年度にかけて約 1 割伸びているものの、平成 13 年度時点でも作成率は 6 割を超えておらず、災害拠点病院の作成率を下回っている。「医師等動員計画」についても 58% の作成率である。また、災害拠点病院連絡会議への出席率は平成 13 年度で 38 病院と指定病院の 68% を占めており、災害拠点病院全体の参加率より高かった。

図 2.2.2.1 院内災害対応計画の有無

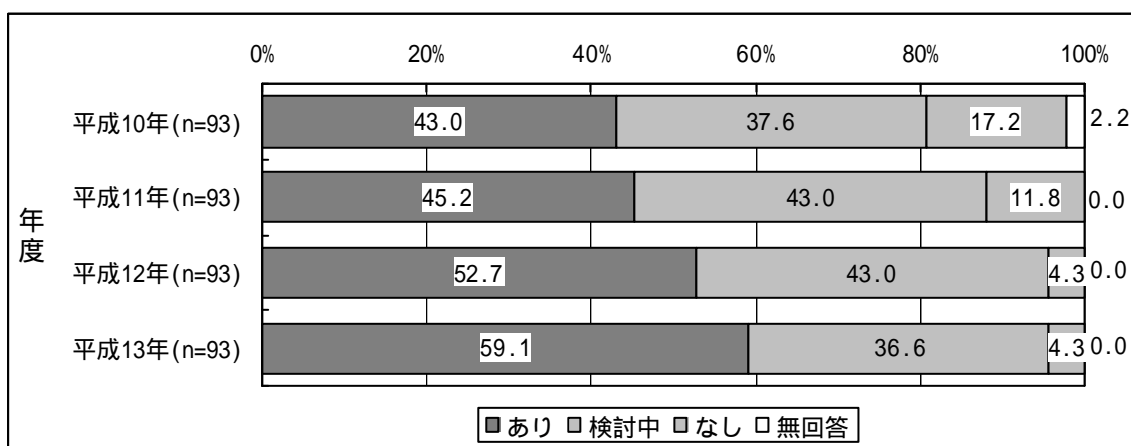


図 2.2.2.2 院内災害対応マニュアルの有無

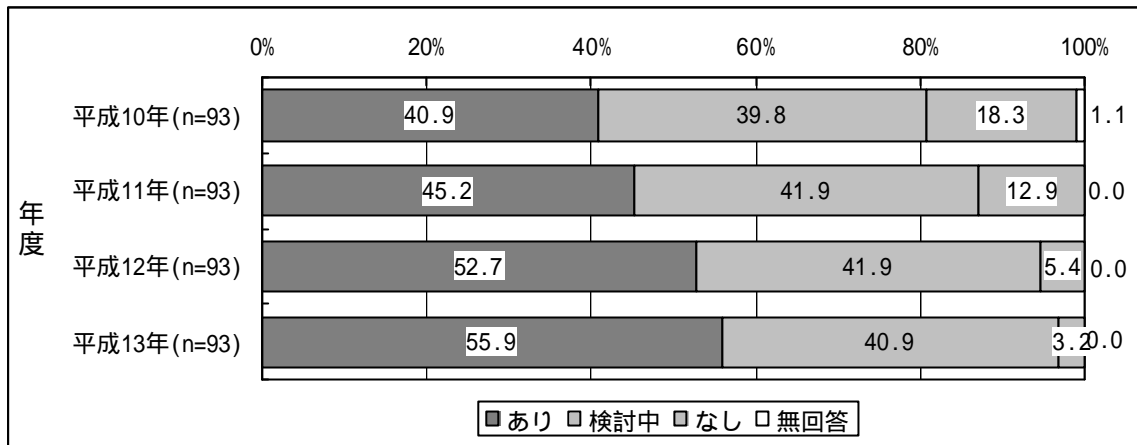


図 2.2.2.3 災害時動員計画の有無

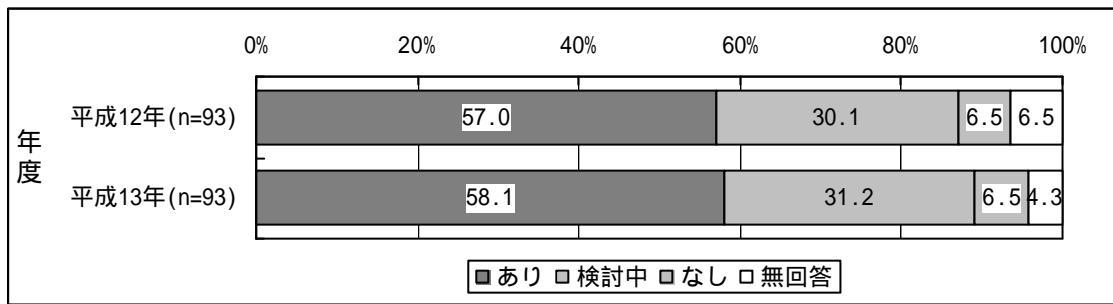
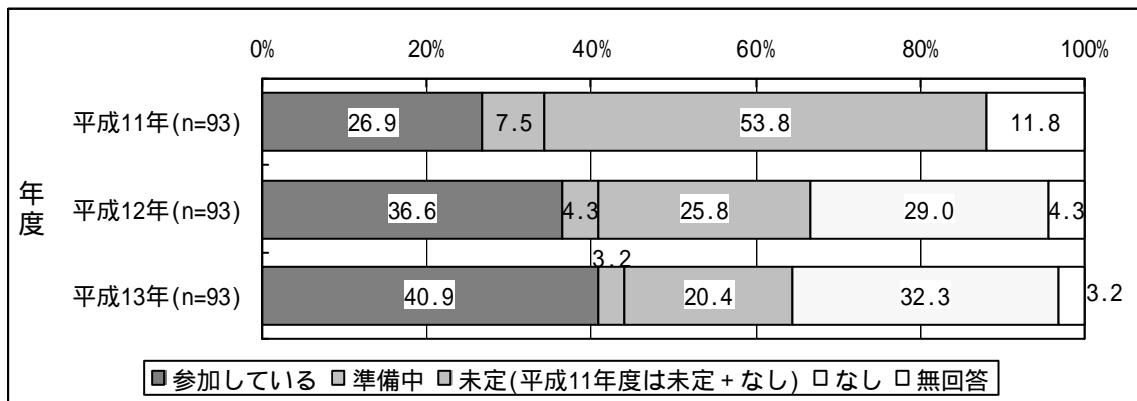


図 2.2.2.4 災害拠点病院連絡会議

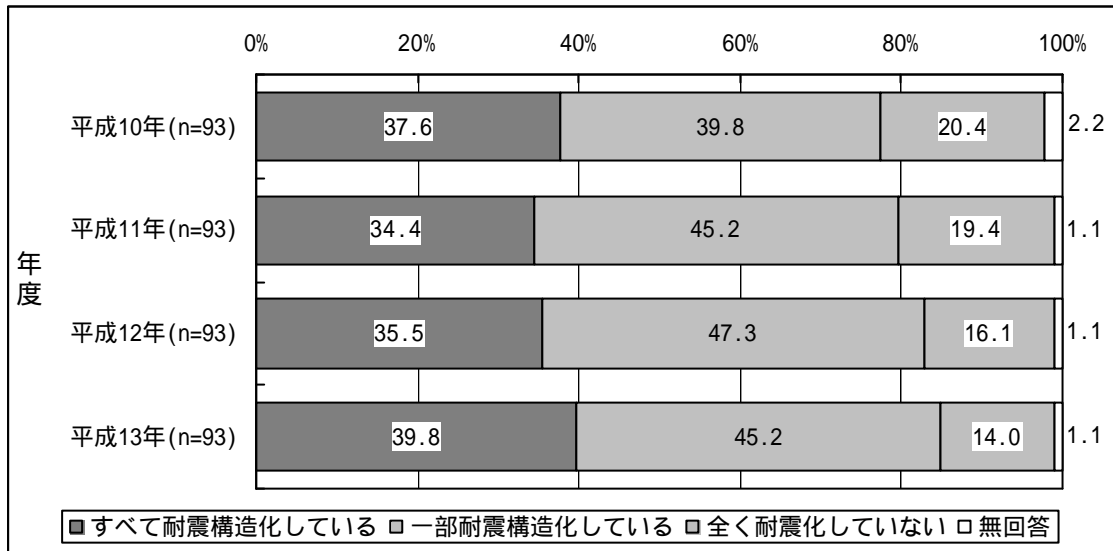


ハード面の対策

1)建物・施設整備

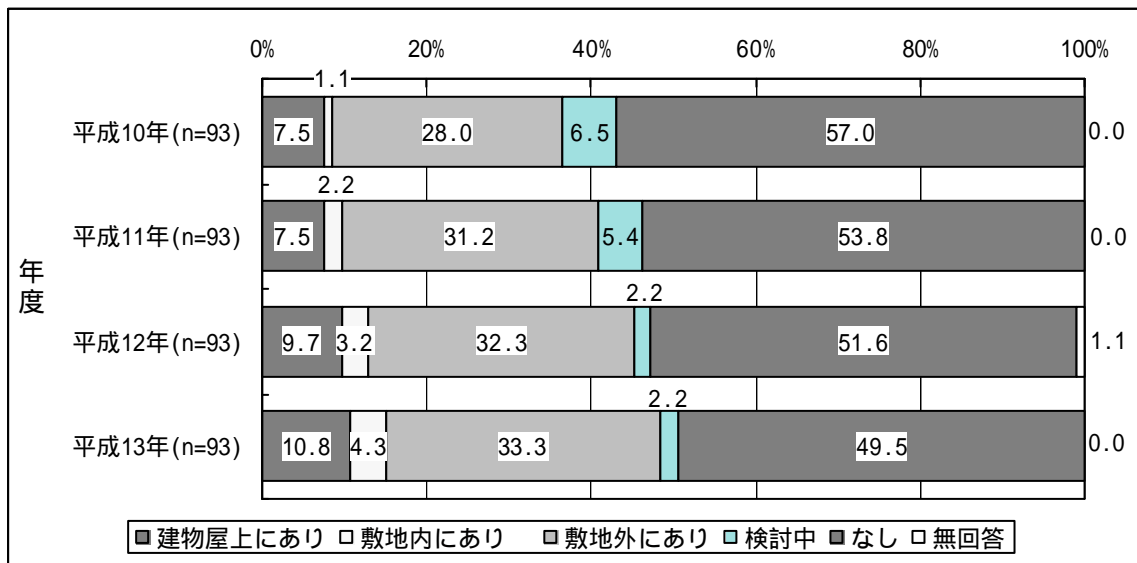
・赤十字病院施設の耐震構造化：地方自治体より耐震化がなされているが、「すべてを耐震構造化」している病院は平成10年度の38%から13年度で40%への微増であり、「全く耐震化していない」病院も14%みられた。

図 2.2.2.5 耐震構造の有無



・ヘリポート整備率：病院近辺へのヘリポート整備は48%と約半数である。しかし、1/3の赤十字病院で「敷地外」に整備されているヘリポートまでの平均距離は約2.3kmと遠く、ヘリポートまでの救急車搬送を必要とする距離となっている。

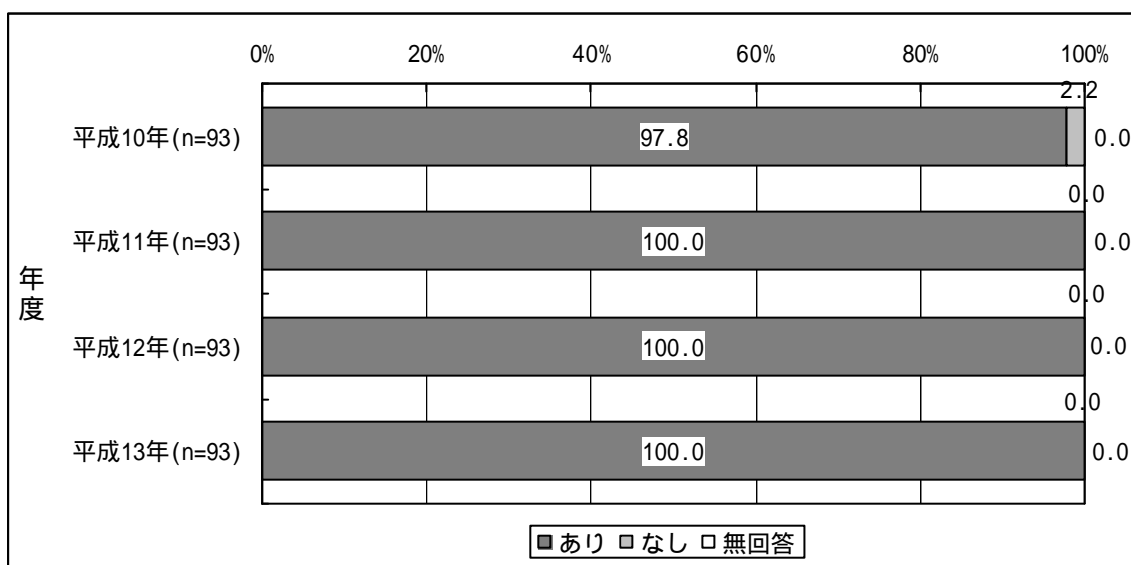
図 2.2.2.6 ヘリポートの有無



2) ライフライン関連設備の整備

- ・ 自家発電整備率：平成 11 年度の調査時点から 100% の病院で整備されている。また、平常時契約電力量平均 1,010kw に対し、自家発電能力は 504kw × 37 時間となっており、約半分の電力量を 1 日半供給する能力を持っているという結果だった。
- ・ 医療用ガス支援体制：平成 10 年度の 42% から 13 年の 54% に伸びている。
- ・ 医療用又は飲用水：平成 13 年度の 1 日あたりの水使用量約 300 ? / 日に対し、受水槽等の貯水量は 870 ? であり、約 3 日分の水量が貯水されている。さらに、自家井戸水が利用可能な 64 病院では、平均 225 ? / 日の水が供給可能とのことである。

図 2.2.2.7 自家発電装置の有無



3) 情報伝達手段

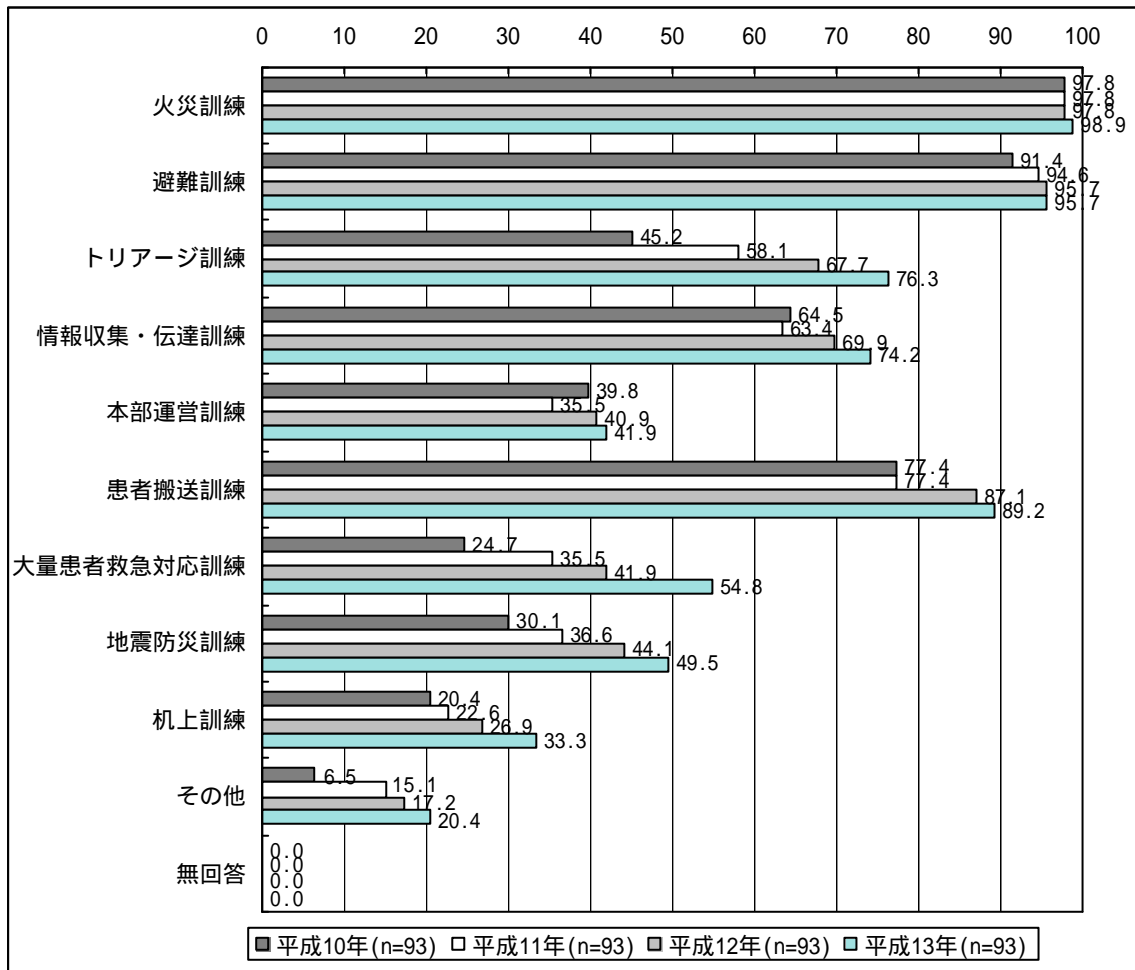
院内の情報伝達については、内線電話（100%）、館内非常放送（98%）が主流であり、ポケットベルも 74～77% とほぼ横這いの整備率であるが、携帯電話・PHS が平成 10 年度の 30% から 13 年度は 2 倍を超す 68% に急増し、トランシーバーは平成 11 年度の 23% から 37% に増加している。

また、外部との情報伝達手段としては、災害時優先電話がもっとも多い（平成 11 年度の 85% から 13 年度は 87%）、次に多いのは赤十字社無線であるが、71 病院 76% の回答に止まっている。また、広域災害救急医療情報端末が 36% から 55% に急増しているが、救急医療情報端末をもっている赤十字病院も平成 13 年度時点で 60% みられる。この他、衛星携帯電話、防災行政無線は微増している。行政との専用電話は減少している。

防災訓練の実施率

平成13年度時点で、火災訓練(99%)、避難訓練(96%)等、消防法に基づき病院の実施が義務化されている訓練についても、徐々に増加しているとは言え、すべての病院が実施しているわけではない。しかし、患者搬送訓練89%、トリアージ訓練76%、大量患者搬送訓練55%や、机上訓練も33%の赤十字病院が採り入れているなど、いずれも災害拠点病院の実施率を大幅に上回っている。

図 2.2.2.8 防災訓練の実施状況



(3) 応急医療体制

応急医療のための施設・設備の整備状況

1) 災害時に提供可能なスペース

災害時に重症者などの治療を行えるスペースについては、「ある」という病院が平成 13 年度で 88 病院 95% とほぼ変わりなく、総面積についても約 665 m² と変わっていない。

2) 災害時入院可能数

また、災害時入院可能数は平成 12 年度の 90 病院平均 153 床をピークに、平成 13 年度には 90 病院で平均 135 床に減少している。一般病床の稼働率は、平成 10 年度の 96% から平成 13 年度の 97% とほぼ 100% に近い稼働であることに変化はないが、災害時入院可能数のみが減少していた。

3) 緊急手術

平成 13 年度でみると、91 病院とほぼ全病院に手術室があり（平均 5.1 室）予定されている以外に緊急に手術が可能な病院は平日日勤帯で 87 病院 94%（平均 3 室、計 258 人）夜間は 86 病院 92%（平均 2.7 室、計 229 人）に限られる。緊急手術対象科目は、外科（94%）、整形外科（91%）、産婦人科（79%）等となっている。

4) 人工呼吸器

人工呼吸器は、90 病院が平均 15.7 器を保有しているが、緊急時に使用可能なものは、平成 11 年度の 80 病院平均 5.7 器から平成 13 年度は 86 病院 4.9 器に減少している。日常時の救急患者 1 日平均取り扱い数が、若干増加していることも、緊急時に使用可能な人工呼吸器の数が減少している原因となっている可能性がある。

医療スタッフの動員可能性

赤十字病院では、平成 13 年度時点で平日日勤帯には医師約 60 名、看護師約 230 名、薬剤師 13 名、放射線技師 12 名、検査技師 21 名、その他職員が 128 名いる。夜間帯になると、医師は約 3 名、看護師は 46 名、技術スタッフは各 1 名弱、その他職員 3 名に減少する。夜間帯における「災害時動員可能数」は、医師 40 名（69%）、看護師 170 名（72%）、薬剤師 9 名（69%）、放射線技師 9 名（71%）、検査技師 14 名（69%）、その他職員 82 名（64%）となっていた。

*（ ）内は平日勤務帯との比率。

救護班

救護班は、すべての赤十字病院で準備しており、編成可能な救護班数は平成 10 年度以降 1 病院平均 4.6 班とほぼ変わらない。災害拠点病院の平均 2.8 班を上回り、赤十字病院全体の総数は約 420 班となる。なお、大災害発生時に当該病院が被災していない場合の第 1 班編成までの所要時間は、平日日勤時間帯で約 0.9 時間、夜間時間帯で約 2 時間となっており、災害拠点病院より早く編成される可能性が高いという結果だった。また、救護班が携行する医療品セットについては、90～93 病院とほぼ全赤十字病院で準備されており、セット数についても医療セットが平均 2.4 セット、携帯型医療セットが平均 1.5 セットと変わっていない。

保有車両及び緊急車両

患者搬送車（病院救急車）を保有している赤十字病院は、平成 10 年度から 85 病院 91%と変化なく、病院救急車を緊急車両に指定している病院は、82 病院 88%と多少増えている。病院救急車の緊急車両指定台数は 1.4 台である。また、その他の車両について緊急車両指定している病院は、平成 13 年度時点で 22%と少なく、緊急車両指定台数は 1.7 台だった。

(4) 物資保有量

医薬品保有状況

赤十字病院では、入院患者用医薬品を保有している病院は平成 11 年度の 87 病院から 13 年度は 90 病院に、外来患者用医薬品を保有している病院は、平成 11 年度の 81 病院から 13 年度の 87 病院に、それぞれわずかずつ増加している。医薬品保有量は、平成 13 年度で入院患者用が 7.3 日、外来患者用が 7.0 日と変化は見られなかった。

患者用提供可能食糧保有量

非常時に患者に提供可能な食糧の保有については、災害拠点病院同様、平成 11 年度がピークだった。平成 13 年度時点で、病院独自に 84 病院で平均 2.1 日分、外部委託で 86 病院が平均 0.2 日分を保有しているという結果だった。

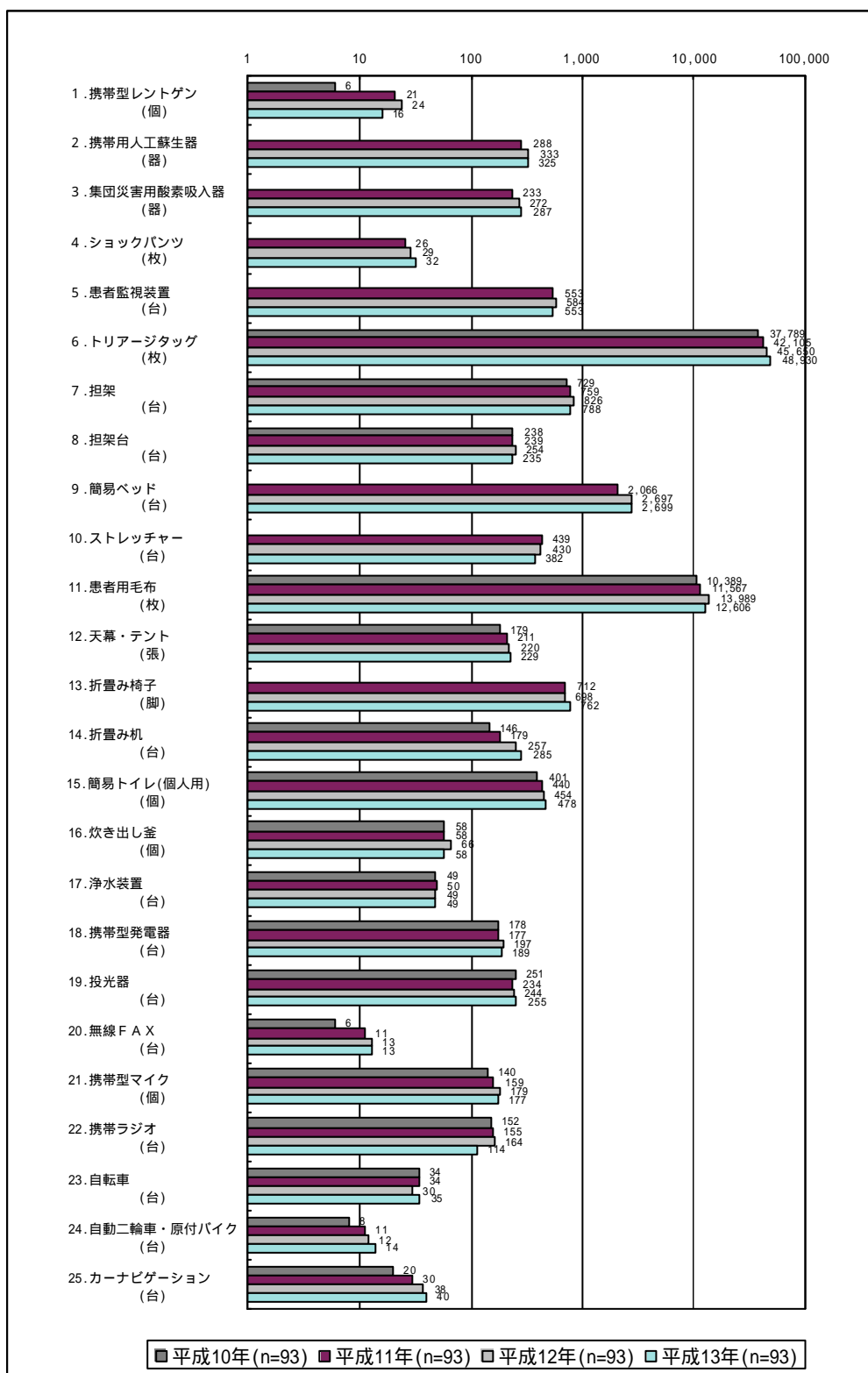
設備・備品の保有状況

表 2.2.2.1 に、赤十字病院が保有している設備・備品の保有状況の増減を示した。災害拠点病院の整備状況とは、若干異なる傾向がみられた。

表 2.2.2.1 赤十字病院の設備等の増減状態

増加物資等	携帯型レントゲン、携帯型人工蘇生器、集団災害用酸素吸入器、トリアージタッグ、簡易ベッド、天幕・テント、折り畳み椅子、折り畳み机、簡易トイレ、カーナビゲーション
横這い	ショックパンツ、患者監視装置、担架、患者用毛布、炊き出し釜、浄水装置、携帯型発電器、投光器、無線 FAX、携帯型マイク、自転車、自動二輪車・原付バイク
減少物資等	担架台、ストレッチャー、携帯ラジオ

図 2.2.2.9 赤十字病院の設備・備品の保有数



2.3 日本赤十字社本社・支部

(1) 全般的傾向

他の調査対象と比べ、日本赤十字社支部では物資等の年別増減が激しい。これは、実際の救援に使用しているため、その時点での備蓄・整備数となるためとみられる。

(2) 防災体制

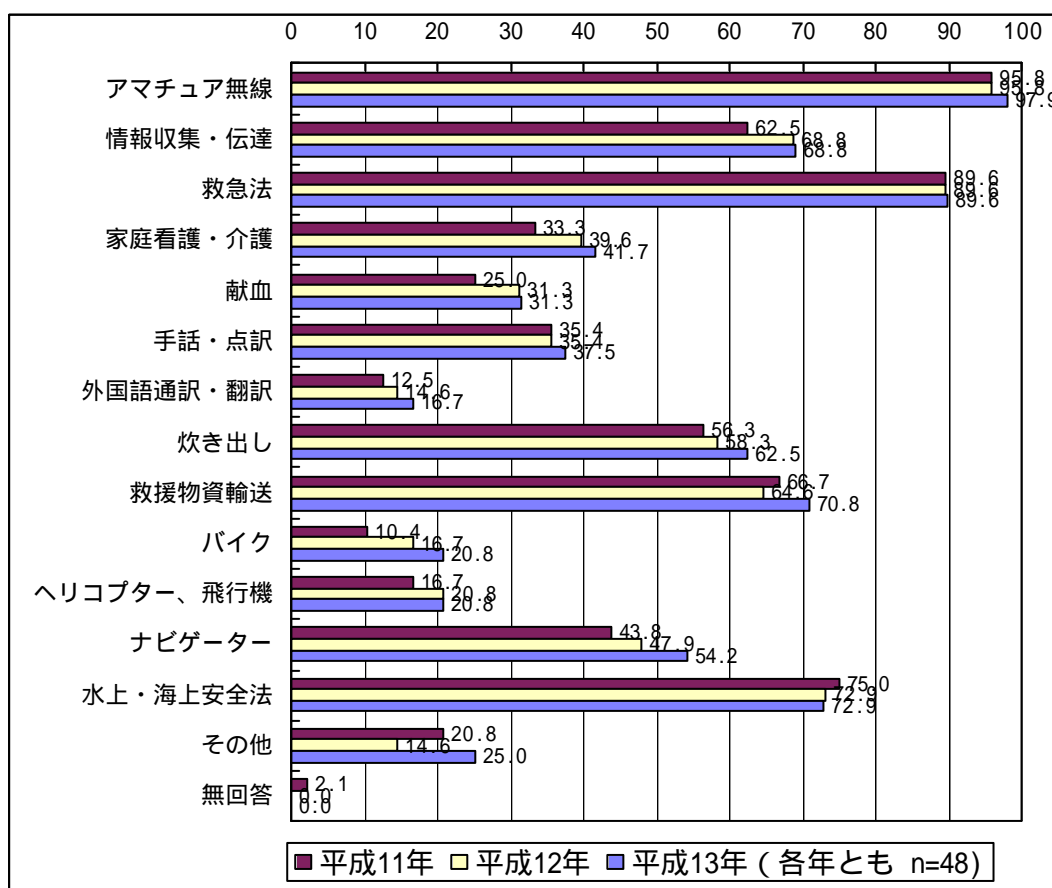
要員数

支部の職員数は、最少7名～56名で平均約15名である。

救護班編成数は、常備救護班が平均9.8班と平成10年度以降変わりなく、災害初動期には、42支部で平均2.8班を準備している。その他、災害時に活動する関連施設として、93赤十字病院、福祉施設は全国で34施設、79血液センター、管内に看護専門学校があるのは29支部、看護短期大学校があるのは3支部、看護大学があるのは4支部である。

また、災害救助に係わる日赤奉仕団登録数は、平成13年度で地域奉仕団が3,019団体、369万名、青年奉仕団が169団体、約6,900名、特殊奉仕団が591団体、34,000名となっており、特殊奉仕団が増加する傾向にある。特殊奉仕団の活動内容で多いのは、アマチュア無線(98%)、救急法等安全研修(90%)、水上・海上安全法(73%)、救援物資輸送(71%)、情報収集・伝達(69%)等となっている。また、防災ボランティアも、徐々に増加する傾向にあるが、まだ登録されていない支部も見られ、特に地区リーダーのいない支部が13支部あった。

図 2.3.1 特殊奉仕団の活動分野



情報伝達手段

災害時優先電話が入っていない支部が1支部見られた。また、携帯電話（平均3.7台）、業務用無線の150MHz帯の基地局（平均1.4局）、移動局（平均20.4局）、400MHz帯は基地局（平均1局）、移動局（平均16局）とも、本社、全支部が保有している。

都道府県防災行政用無線は77%、市町村防災行政用無線が導入されている支部は徐々に増加しているものの23%に止まっており、都道府県との情報連絡が重点になっている。また、衛星携帯電話保有率は増加しており、平成13年度時点で42%の支部に、地域衛星通信ネットワークは23%の支部に導入されていた。

車両等

救護用車両では、救援車の増加が著しく、平成10年度の486台から平成13年度時点で1,365台に増加している。その他車両も増加している。船外機は、平成13年度時点で全国に14機、船舶は7支部に10艇、救命ボートは7支部に4人乗りの小型を主に57艇保有している。

協定締結状況

日本赤十字社が締結している協定相手にほとんど変化はなかった。都道府県とは協定を締結しているが、市区町村は6%、民間業者とは13%と、協定締結率は低かった。他の日本赤十字社支部と協定している支部は52%と増加していた。

(3) 物資等の整備状況

日本赤十字社支部における物資等の増減状況を、表2.3.1に示す。

平成11年度は広島豪雨後、平成12年度は、9月中旬の東海豪雨災害（愛知県を中心に延べ61万人に避難指示・勧告が出された）後の10月1日を基準日として調査が実施されており、その時点でのランニングストック数を把握しているため、減少した項目が多かったものとみられる。特に平成12年度の減少が目立つ結果となった。

表 2.3.1 日本赤十字社支部における物資等の増減状況

やや増加	テント、ブルーシート、担架、即席麺類、乾パン・クラッカー、簡易トイレ、なべ、やかん、ポリタンク
減少後増加	アルファ米、主食類、副食類、お見舞い品セット（自己購入0に）、保存飲料水、雨具、懐中電灯、ロープ、救急箱、
横這い	靴・サンダル類、毛布、タオルケット、暖房器具、湯沸かし器、食器セット、三角巾、包帯
増加後減少	ござ・マット、布団、寝袋、洗濯用洗剤、筆記用具・学用品、釜
減少	簡易風呂（ほぼ0）、作業服・ジャージ・Tシャツ、肌着、日用品セット（自己購入減少、契約0に）、洗面器・バケツ、ローソク、携帯ラジオ、コンロ

図 2.3.2 総備蓄数（住居・寝具類 / 衣類 / 食料・水）

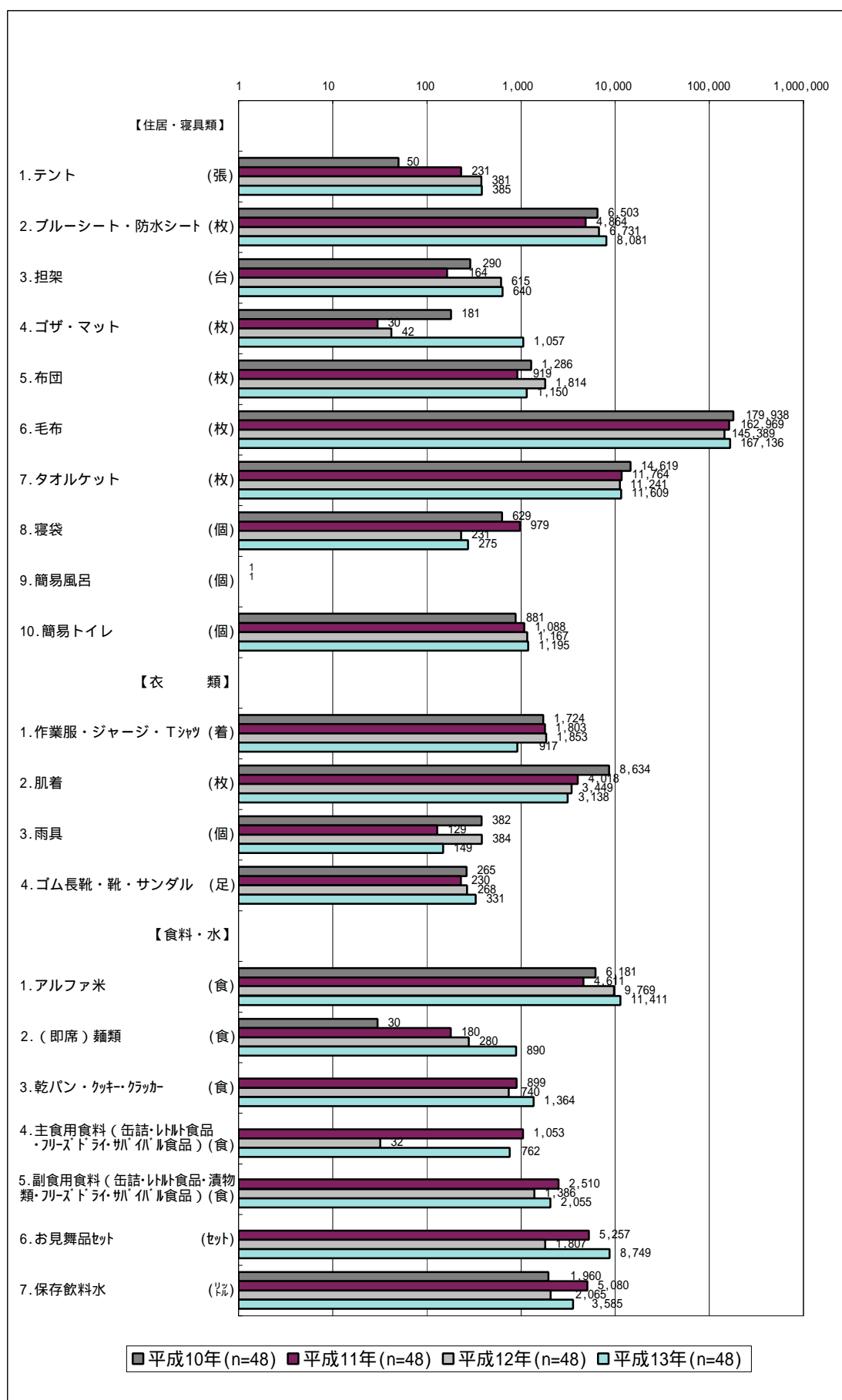
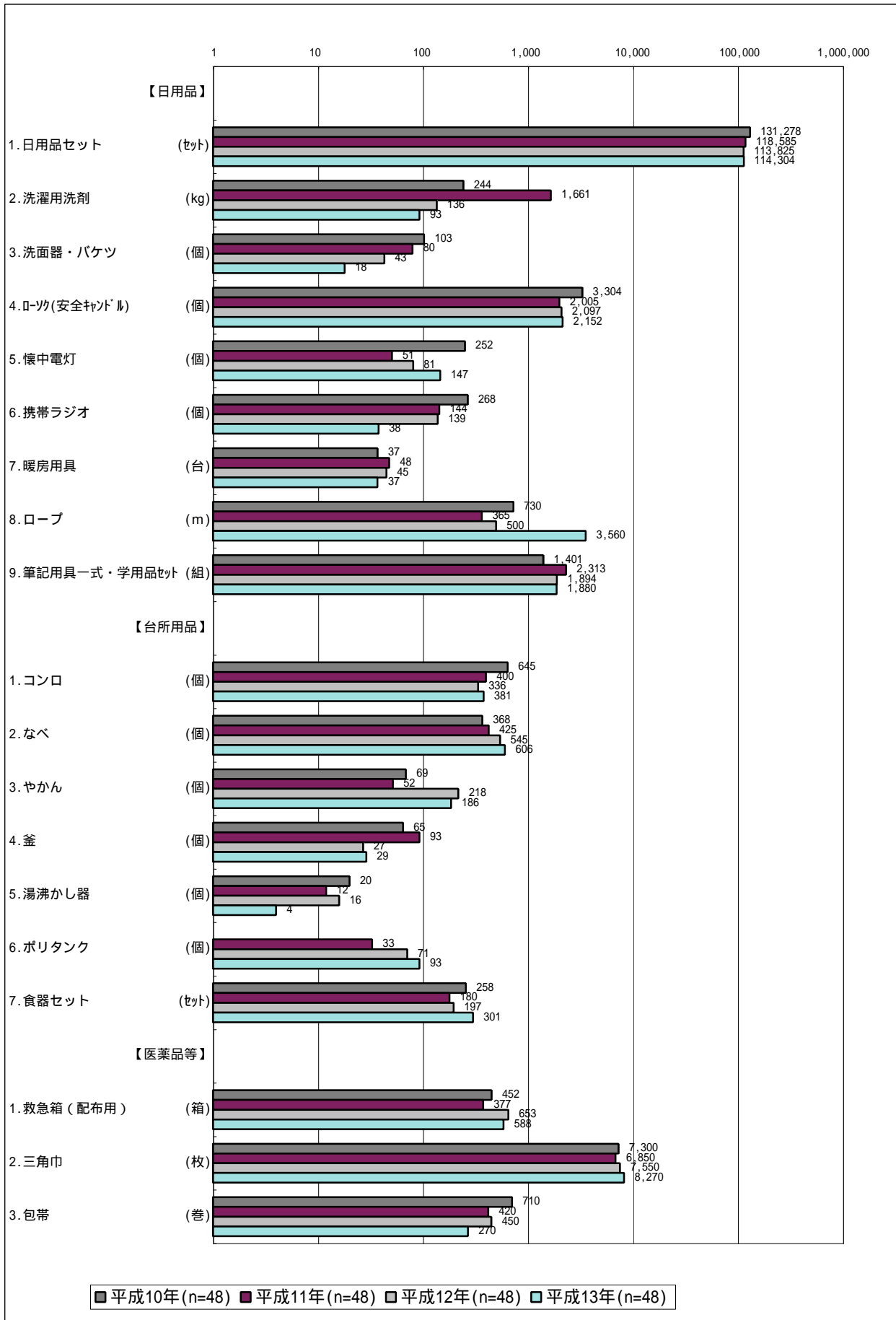


図 2.3.2 総備蓄数（日用品／台所用品／医薬品等）



3. 関連資料

- 3.1 地方自治体に対する調査票及び回答の単純集計表
- 3.2.1 災害拠点病院に対する調査票及び回答の単純集計表
- 3.2.2 赤十字病院に対する調査票及び回答の単純集計表
- 3.3 日本赤十字社本社・支部に対する調査票及び回答の単純集計表
- 3.4 災害基本データブックの活用状況等（自由回答まとめ）

「平成10～13年度災害基本データブック」調査票集計結果

(地方自治体用 n=138,平成13年度よりn=137)

【調査票ご記入に際して】

- (1) この調査票は、災害救助法を所管している部署の方がご記入ください。
- (2) 回答欄に選択肢があるものについては、該当する番号を○で囲んでください。該当する事項、数値については具体的にご記入ください。その他の場合は()に具体的な内容をご記入ください。なお、ご参考のため、昨年度の貴自治体のご回答内容を添付致しました。
- (3) 質問によっては、お手数ですが資料を添付し、同封の返信用封筒にて平成○年○月○日までにご投函くださいますようお願いいたします。
- (4) 質問の内容によっては、後日改めて電話/FAX等でお問い合わせする場合がございます。ご回答いただいた方のお名前、電話番号等を忘れずにご記入ください。

<本調査のお問い合わせ先> 日本赤十字社 災害基本データブック調査事務局

問1. 基本事項

①自治体名	
②所在地	
③代表電話番号	— —
④夜間・休日対応電話番号	— —
⑤(災害時使用)災害救助法所管部署直通電話番号	— —
⑥(災害時使用)災害救助法所管部署 FAX番号	— —
⑦貴自治体のホームページURL(アドレス)	
⑧災害救助法所管部署のメールアドレス	
⑨通常時職員数(出先機関、学校、保育園、警察、医療・保健等を含む貴自治体全数)	H13 n=127 平均 14,273.2人(最大値 177,408/最小値 1,315)

問2. 災害救助法所管部署と災害対策本部の設置予定場所(建物)は同じ建物内にありますか。

	H10 n=138	H11 n=138	H12 n=138	H13 n=137
1. 同一建物内	101(73.2)	103(74.6)	103(74.6)	107(78.1)
2. 異なる建物	33(23.9)	32(23.2)	31(22.5)	27(19.7)
3. その他	1(0.7)	1(0.7)	2(1.4)	2(1.5)
無回答	3(2.2)	2(1.4)	2(1.4)	1(0.7)

問3. 災害救助法所管部署が、災害時に事務をする主な建物についてご記入ください。

①建物建築年(西暦)		H10 n=136(平均 1973.0)年(最大値 1998/最小値 1912)	H11 n=136(平均 1974.0)年(最大値 1999/最小値 1912)	H12 n=138(平均 1975.0)年(最大値 2000/最小値 1912)	H13 n=137(平均 1975.2)年(最大値 2000/最小値 1927)
②耐震構造の有無	1. すべての建物を耐震構造化 2. 一部の建物を耐震構造化 3. 全く耐震化していない 無回答	H10 n=138 61(44.2) 21(15.2) 42(30.4) 14(10.1)	H11 n=138 69(50.0) 27(19.6) 37(26.8) 5(3.6)	H12 n=138 69(50.0) 27(19.6) 36(26.1) 6(4.3)	H13 n=137 69(50.4) 27(19.7) 37(27.0) 4(2.9)

③土地・建物(小数点以下第1位まで):土地面積		H11 n=135 (平均 52,042.4) m ²	H12 n=136 (平均 51,633.6) m ²	H13 n=137 (平均 51,045.8) m ²	
建物の建築面積 (延床ではない)		H11 n=132 (平均 11,647.1) m ²	H12 n=134 (平均 10,390.3) m ²	H13 n=133 (平均 8,225.3) m ²	
④所管部署が主に事務をする建物が災害時に壊れた場合、代替施設はありますか。	1. 庁舎の敷地内にある	H10 n=138 11(8.0)	H11 n=138 14(10.1)	H12 n=138 10(7.2)	H13 n=137 8(5.8)
	2. 庁舎外にある	47(34.1)	49(35.5)	50(36.2)	57(41.6)
	3. 検討中	33(23.9)	31(22.5)	35(25.4)	35(25.5)
	4. 検討していない	42(30.4)	43(31.2)	41(29.7)	37(27.0)
	無回答	5(3.6)	1(0.7)	2(1.4)	-
⑤ヘリポート(臨時離発着場)はありますか。	1. 庁舎の建物の屋上	H10 n=138 15(10.9)	H11 n=138 18(13.0)	H12 n=138 17(12.1)	H13 n=137 18(13.1)
	2. 庁舎の敷地内にある	3(2.2)	4(2.9)	4(2.9)	2(1.5)
	3. 庁舎の近くにある	37(26.8)	43(31.2)	50(36.2)	51(37.2)
	4. ない	80(58.0)	72(52.2)	67(48.6)	66(48.2)
	無回答	3(2.2)	1(0.7)	-	-
3. 庁舎の近く →距離(m)	n=36 (平均1,275)	n=42 (平均1,461)	n=49 (平均1,411)	n=50 (平均1,407)	
⑥庁舎の敷地内に駐車可能な車両台数(台) (貴自治体用・来客用等のすべてを含む)		H10 n=135 平均 287.0	H11 n=135 平均 321.3	H12 n=136 平均 327.5	H13 n=136 平均 329.0

問4. 貴自治体の緊急時の情報伝達手段で、災害対策本部及び災害救助関係部署にあるものに、○印をつけてください。

	H10	H11 n=138	H12 n=138	H13 n=137
1. 災害時優先電話		126(91.3)	126(91.3)	127(92.7)
2. 都道府県防災行政用無線	カテゴリが	105(76.1)	109(79.0)	112(81.8)
3. 都道府県移動系防災行政用無線	異なるため、	46(33.3)	43(31.2)	48(35.0)
4. 市区町村防災行政用無線	比較不可	71(51.4)	81(58.7)	80(58.4)
5. 市区町村地域防災無線(MCA方式により複数通信可能)		36(26.1)	37(26.8)	38(27.7)
6. 市区町村移動系防災無線(一般系・MCA系)		54(39.1)	59(42.8)	58(42.3)
7. 孤立防止用無線		13(9.4)	12(8.7)	10(7.3)
8. 地域衛星通信ネットワーク((財)自治体衛星通信提供のもの)		55(39.9)	78(56.5)	91(66.4)
9. 衛星携帯電話		33(23.9)	36(26.1)	40(29.2)
10. 携帯電話		82(59.4)	93(67.4)	98(71.5)
11. その他		25(18.1)	25(18.1)	30(21.9)
無回答		1(0.7)	1(0.7)	-

問5. 次の各項目ごとの職員数を記入してください。

①災害対策本部事務局を構成する要員数	H11 n=133 平均 912.1 人(最大値 50,973/最小値 4) H12 n=134 平均 997.3 人(最大値 49,149/最小値 3) H13 n=131 平均 790.8 人(最大値 48,462/最小値 3)			
②災害救助法所管部署の担当職員数 (関連機関等も含む)	H10 n=127 平均 55.6 人(最大値 3,754/最小値 1) H11 n=122 平均 59.9 人(最大値 3,972/最小値 1) H12 n=126 平均 64.7 人(最大値 4,160/最小値 1) H13 n=124 平均 58.8 人(最大値 4,172/最小値 1)			
③災害対策基本法第33条に基づく派遣職員数(都道府県のみ、専門技能職の人数をご記入ください)				
分 野	A(専門技能職)人数/平均			
	H10 n=47	H11 n=47	H12 n=46	H13 n=46
1.建設機械操作職	10.6	6.3	5.9	4.9
2.作業船操作職	6.4	6.7	7.0	8.0
3.作業船機関職	4.3	4.5	4.7	4.7
4.自動車運転手	78.6	87.7	98.2	89.3
5.医学職	760.0	868.7	967.9	1000.9
6.建築職	88.7	89.7	95.2	91.5
7.土木職	677.9	667.4	771.7	768.8
8.その他必要な職種	173.3	155.4	166.5	153.0
合 計	1,798.8	1,885.3	2,117.2	2,121.1

問6. 災害救助用資機材・給与品の保有・保管状況を記入してください。貴自治体の災害救助部門・防災部門等のものを合わせ保有・保管している全数を、おおよその数でかまいませんので、各欄に数値でご記入ください(日赤支部保有のものは除く)。単位は、表中に示している単位に換算してください。備蓄していない場合は、「0(ゼロ)」を記入してください。なお、「契約」で数値の規定がない場合や、備蓄数量が不明の場合は、各欄に、「有」と記入してください。また、下記品目以外で特に整備されているもの(応急救助用資機材は除く)は、その他の空欄に品目の名称と数量・単位をご記入ください。

(注)(1)「購入」とは、自己財源や基金で備蓄しているものです。

自 己 : 自己の財源をもって購入している物資(寄付で購入したものも含む)

基 金 : 災害救助法第41条第3号に定める災害救助基金で購入している物資

(2)「契約」とは業界団体や業者等との契約に基づくものです。

備 蓄 : 特定数量を、契約先業界団体や業者等が常に備蓄しているもの

流通備蓄: 特定数量を、契約先業界団体や業者等が流通備蓄しているもの

(3)「総備蓄数」には、把握されている総量を記入してください。

※(回答注) 保有・保管数については、(1)(2)には回答せず、(3)のみに回答した機関もあり、必ずしも(1)と(2)の合計数が(3)に一致するわけではない。

品目(単位)		備蓄形態・財源										
		(1)購入				(2)契約				(3)総備蓄数 ((1)+(2))		
		自己		基金		備蓄		流通備蓄				
		合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	
6-1 住居・寝具類	1. テント (張)	H10	14,899	109.6	1,000	7.4	25	0.2	328	2.4	16,252	119.5
		H11	18,589	138.7	1,000	7.5	25	0.2	328	2.5	19,875	149.4
		H12	18,299	134.6	1,000	7.4	30	0.2	328	2.4	19,657	145.6
		H13	19,181	141.0	1,000	7.4	30	0.2	328	2.5	20,539	153.3
	2. 防水シート (枚)	H10	376,246	2,766.5	28,205	207.4	0	0.0	21,801	160.3	426,252	3,134.2
		H11	465,540	3,500.3	11,120	83.6	0	0.0	18,375	138.2	499,033	3,724.1
		H12	429,049	3,178.1	11,990	88.2	0	0.0	17,675	130.9	458,714	3,423.2
		H13	457,840	3,391.4	12,302	90.5	0	0.0	18,565	138.5	488,707	3,647.1
	3. カーペット・ゴザ・マット (枚)	H10	599,850	4,410.7	1,008,963	7,418.9	0	0.0	7,500	55.1	1,616,313	11,884.7
		H11	648,608	4,913.7	987,737	7,482.9	0	0.0	15,000	113.6	1,695,830	12,655.4
		H12	728,872	5,359.4	987,737	7,262.8	0	0.0	5,000	37.0	1,721,609	12,752.7
H13		803,428	5,907.6	985,937	7,249.5	0	0.0	5,000	36.8	1,794,365	13,193.9	
4. 担架 (個)	H10											
	H11	12,304	91.8	0	0.0	5	0.0	2,500	18.8	15,035	112.2	
	H12	10,451	76.8	0	0.0	0	0.0	2,500	18.5	12,951	95.2	
	H13	16,071	117.3	0	0.0	0	0.0	2,500	18.2	18,571	135.6	
5. 布団 (枚)	H10	29,379	216.0	33,825	248.7	0	0.0	217,923	1,602.4	281,127	2,067.1	
	H11	18,268	137.4	9,500	71.4	0	0.0	218,453	1,693.4	246,234	1,894.1	
	H12	7,328	53.9	0	0.0	0	0.0	217,953	1,651.2	225,281	1,706.7	
	H13	7,201	52.9	0	0.0	0	0.0	211,963	1,605.8	219,164	1,660.3	
6. 毛布 (枚)	H10	2,368,816	17,417.8	1,303,775	9,586.6	7,000	51.5	648,069	4,765.2	4,322,559	31,783.5	
	H11	2,849,169	21,584.6	1,390,719	10,456.5	15,000	113.6	632,808	4,943.8	5,133,171	38,887.7	
	H12	2,789,893	20,513.9	1,426,731	10,490.7	5,000	36.8	617,902	4,716.8	4,838,526	36,379.9	
	H13	3,208,888	23,594.8	1,468,704	10,799.3	5,000	36.8	1,637,955	12,503.5	6,320,537	47,522.8	
7. タオルケット (枚)	H10	42,139	309.9	20,969	154.2	2,500	18.4	121,171	891.0	186,779	1,373.4	
	H11	2,367	17.7	56,522	421.8	0	0.0	121,171	911.1	180,060	1,353.8	
	H12	8,573	63.0	20,167	148.3	0	0.0	111,171	835.9	139,911	1,052.0	
	H13	6,730	49.5	20,967	154.2	0	0.0	111,171	829.6	138,868	1,036.3	
8. 寝袋 (個)	H10	60,137	442.2	740	5.4	0	0.0	0	0.0	60,877	447.6	
	H11	62,015	462.8	1,180	8.8	0	0.0	0	0.0	63,195	471.6	
	H12	33,353	245.2	1,620	11.9	0	0.0	0	0.0	34,973	259.1	
	H13	35,479	259.0	2,060	15.0	0	0.0	0	0.0	37,539	274.0	
9. (折り畳み式)リヤカー (台)	H10	3,495	25.7	100	0.7	0	0.0	0	0.0	3,595	26.4	
	H11	4,181	31.7	100	0.8	0	0.0	0	0.0	4,374	32.9	
	H12	3,866	28.4	100	0.7	0	0.0	0	0.0	3,966	29.4	
	H13	4,316	31.5	100	0.7	0	0.0	0	0.0	4,416	32.2	
10. 仮設トイレ (個)	H10											
	H11	11,623	87.4	74	0.6	0	0.0	500	3.8	13,109	97.8	
	H12	13,696	101.5	74	0.5	5	0.0	1,472	10.9	15,247	112.9	
	H13	15,569	114.5	1,580	11.5	5	0.0	1,212	8.8	18,366	135.0	
11. 簡易トイレ(個人用) (個)	H10	257,570	1,893.9	10,933	80.4	5	0.0	160	1.2	268,928	1,977.4	
	H11	201,520	1,526.7	11,040	83.6	5	0.0	0	0.0	217,047	1,619.8	
	H12	262,144	1,941.8	11,560	85.0	0	0.0	0	0.0	273,704	2,042.6	
	H13	844,787	6,211.7	10,200	74.5	0	0.0	0	0.0	854,987	6,286.7	

品目(単位)		備蓄形態・財源										
		(1)購入				(2)契約				(3)総備蓄数 ((1)+(2))		
		自己		基金		備蓄		流通備蓄				
		合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	
6-2 衣類	1. 作業服・ジャージ・Tシャツ(着)	H10	38,299	283.6	16,543	121.6	0	0.0	1,524,600	11,210.3	1,579,442	11,613.5
		H11	16,907	127.1	16,443	123.6	0	0.0	1,479,191	11,378.4	1,513,841	11,556.0
		H12	15,407	113.3	13,443	98.8	0	0.0	1,430,980	10,840.8	1,459,830	11,059.3
		H13	14,953	109.9	13,443	98.8	0	0.0	1,442,608	10,928.8	1,471,004	11,144.0
	2. 肌着(着)	H10	202,354	1,487.9	362,157	2,662.9	0	0.0	7,230,521	53,165.6	7,795,032	57,316.4
		H11	405,629	3,072.9	391,287	2,942.0	0	0.0	6,666,138	52,489.3	7,471,942	58,374.5
		H12	414,089	3,044.8	388,587	2,857.3	0	0.0	6,638,756	51,067.4	7,441,432	56,804.8
		H13	412,219	3,031.0	365,187	2,685.2	0	0.0	6,997,232	54,242.1	7,774,638	59,804.9
	3. 靴下(足)	H10	14,080	103.5	1,900	14.0	0	0.0	937,480	6,893.2	953,460	7,010.7
		H11	15,440	115.2	1,900	14.2	0	0.0	820,434	6,360.0	837,774	6,494.4
		H12	16,400	120.6	1,900	14.0	0	0.0	943,819	7,204.7	962,119	7,344.4
		H13	18,370	135.1	1,900	14.0	0	0.0	1,034,213	7,955.5	1,054,483	8,111.4
	4. 雨具(個)	H10	30,408	223.6	2,150	15.8	0	0.0	123,407	907.4	155,965	1,146.8
		H11	33,243	251.8	2,150	16.3	0	0.0	127,353	987.2	164,394	1,254.9
		H12	29,609	217.7	2,150	15.8	0	0.0	119,480	905.2	151,239	1,154.5
		H13	35,498	261.0	2,150	15.8	0	0.0	121,018	916.8	158,666	1,202.0
	5. 長靴・靴・サンダル(足)	H10	11,095	82.0	2,783	20.0	0	0.0	402,322	2,958.0	416,200	3,060.0
		H11	18,093	137.1	2,943	22.3	0	0.0	322,705	2,521.1	344,499	2,650.0
		H12	15,670	115.2	2,943	21.6	0	0.0	195,267	1,490.6	213,880	1,632.7
		H13	14,285	105.0	3,063	22.5	0	0.0	562,917	4,297.1	580,265	4,429.5
6-3 食料・水	1. アルファ米(食)	H10	6,707,372	49,318.9	1,642,372	12,076.3	0	0.0	26,000	191.2	7,912,244	58,178.3
		H11	6,463,400	49,338.9	1,939,578	14,805.9	0	0.0	26,000	201.6	9,673,276	72,731.4
		H12	6,742,023	49,940.9	2,038,840	15,102.5	0	0.0	26,000	200.0	9,848,845	74,612.5
		H13	6,959,350	51,171.7	2,001,516	14,717.0	60,000	441.2	15,601,882	117,307.4	24,608,348	183,644.4
	2. (即席)麺類(食)	H10	1,145,918	8,425.9	3,000	22.1	0	0.0	7,578,187	55,722.0	8,727,105	64,169.9
		H11	11,476	86.3	3,000	22.6	863,300	4,987.2	10,130,887	77,929.9	11,850,645	90,462.9
		H12	0	0.0	1,500	11.1	863,300	3,394.8	10,750,737	83,990.1	12,657,519	98,120.3
		H13	600	4.4	2,520	18.5	863,300	3,347.8	13,017,307	99,368.8	13,883,727	105,982.6
	3. 乾パン・クッキー・クラッカー(食)	H10										
		H11	12,107,897	91,036.8	1,179,318	8,867.1	0	0.0	2,331,273	18,071.9	16,729,758	126,740.6
		H12	11,466,830	84,939.5	1,259,128	9,326.9	0	0.0	2,502,473	19,249.8	15,308,734	115,975.3
		H13	11,395,969	83,793.9	1,275,958	9,382.0	37,000	272.1	2,869,855	21,577.9	15,578,782	117,133.7
	4. 主食用缶詰・レトルト食品・フリーズドライ・サバイバル食品(食)	H10										
		H11	3,032,208	22,971.3	279,773	2,119.5	0	0.0	1,005,600	7,856.3	13,762,285	105,863.7
		H12	2,388,489	17,692.5	303,609	2,249.0	0	0.0	712,850	5,569.1	12,436,714	96,408.6
		H13	2,552,881	18,771.2	362,814	2,667.8	0	0.0	9,877,226	75,978.7	12,792,921	97,655.9
	5. 副食用缶詰・レトルト食品・漬物類・フリーズドライ・サバイバル食品(食)	H10										
		H11	883,089	6,639.8	65,740	490.6	0	0.0	10,919,111	83,993.2	11,867,940	91,999.5
		H12	781,226	5,744.3	70,050	515.1	0	0.0	10,108,156	78,357.8	10,959,432	84,956.8
		H13	1,314,604	9,666.2	67,820	498.7	0	0.0	13,468,005	103,600.0	15,784,829	121,421.8
	6. 粉ミルク(kg)	H10	34,250	251.8	0	0.0	568	4.2	266,115	1,956.7	300,933	2,212.7
		H11	38,358	297.3	100	0.8	568	4.3	263,278	2,040.9	306,904	2,435.7
		H12	35,050	261.6	127	0.9	568	4.2	105,782	826.4	141,527	1,114.4
		H13	38,356	290.6	123	0.9	568	4.2	117,331	902.5	156,378	1,241.1

7. 保存飲料水 (注)	H10	3,317,392	24,392.6	75,502	555.2	0	0.0	128,550	945.2	3,521,444	25,893.0
	H11	119,199,250	896,235.0	73,920	551.6	112,100	836.6	37,290	289.1	119,422,560	918,635.1
	H12	182,427,991	1,341,382.3	81,654	600.4	112,100	824.3	13,635	104.9	182,635,380	1,394,163.2
	H13	189,250,702	1,391,549.0	81,090	596.3	112,100	824.3	279,705	2,103.0	189,723,597	1,426,493.2

品目(単位)		備蓄形態・財源										
		(1)購入				(2)契約				(3)総備蓄数 ((1)+(2))		
		自己		基金		備蓄		流通備蓄				
		合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	
6-4 日用品	1. 日用品セット (注) (セット)	H10	76,573	563.0	21,860	160.7	6,000	44.1	0	0.0	104,433	767.9
		H11	84,520	635.5	27,160	205.8	0	0.0	0	0.0	119,575	899.1
		H12	96,753	711.4	27,160	199.7	0	0.0	2,401	17.8	126,314	935.7
		H13	146,528	1,077.4	30,360	223.2	0	0.0	1,974	14.5	178,862	1,315.2
	2. 洗濯用洗剤 (kg)	H10	766	5.6	0	0.0	0	0.0	220,871	1,624.1	221,637	1,629.7
		H11	766	5.7	0	0.0	0	0.0	167,162	1,285.9	167,928	1,291.8
		H12	766	5.6	0	0.0	0	0.0	148,782	1,144.5	149,548	1,159.3
		H13	0	0.0	0	0.0	0	0.0	163,990	1,261.5	163,990	1,261.5
	3. 洗面器・バケツ・ポリタンク (個)	H10										
		H11	366,670	2,756.9	4,774	35.9	0	0.0	61,951	480.2	437,966	3,369.0
		H12	357,179	2,626.3	3,275	24.1	0	0.0	59,890	457.2	420,344	3,208.7
		H13	361,687	2,659.5	7,475	55.0	0	0.0	57,566	439.4	426,828	3,258.2
	4. ローソク(安全 キャンドル) (個)	H10	260,604	1,916.2	141,533	1,040.7	0	0.0	345,643	2,541.5	742,671	5,501.3
		H11	340,060	2,576.2	110,556	837.5	7,992	60.5	354,344	2,725.7	1,028,204	7,848.9
		H12	322,479	2,371.2	110,556	812.9	0	0.0	346,543	2,625.3	779,578	5,905.9
		H13	291,458	2,143.1	123,036	904.7	0	0.0	347,040	2,649.2	761,534	5,813.2
	5. 懐中電灯 (個)	H10	36,563	268.9	633	4.7	0	0.0	33,033	242.9	70,201	516.2
		H11	46,955	353.0	0	0.0	0	0.0	30,720	236.3	78,085	596.1
		H12	39,885	293.3	0	0.0	0	0.0	26,235	201.8	66,120	504.7
		H13	41,619	306.0	0	0.0	0	0.0	30,686	237.9	72,305	551.9
	6. 携帯ラジオ (個)	H10	9,304	68.4	457	3.4	0	0.0	3,025	22.2	12,786	94.0
		H11	10,485	78.8	0	0.0	0	0.0	820	6.2	11,429	85.3
		H12	10,847	79.8	0	0.0	0	0.0	100	0.7	10,947	81.1
		H13	11,086	81.5	0	0.0	0	0.0	820	6.0	11,906	87.5
	7. ロープ (m)	H10	872,608	6,416.2	3,600	26.5	0	0.0	0	0.0	876,208	6,442.7
		H11	883,900	6,747.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	883,900	6,799.2
		H12	989,580	7,384.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	989,580	7,554.0
		H13	1,600,454	12,033.5	0	0.0	0	0.0	115	0.9	1,600,569	12,312.1
	8. タオル・バスタ オル (枚)	H10										
		H11	788,192	5,926.3	46,554	350.0	0	0.0	1,474,683	11,343.7	2,345,835	17,907.1
		H12	798,997	5,875.0	80,206	589.8	0	0.0	1,475,315	11,261.9	2,354,518	17,837.3
		H13	875,978	6,441.0	84,506	621.4	0	0.0	1,960,988	15,084.5	2,921,472	22,132.4

品目(単位)		備蓄形態・財源										
		(1)購入				(2)契約				(3)総備蓄数 ((1)+(2))		
		自己		基金		備蓄		流通備蓄				
		合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	
6-5 台所用品	1. コンロ(携帯・卓上) (個)	H10	6,452	47.4	19,434	142.9	0	0.0	13,391	98.5	39,277	288.8
		H11	16,633	125.1	20,650	155.3	0	0.0	10,491	82.0	47,840	370.9
		H12	18,821	139.4	20,650	151.8	0	0.0	12,340	94.9	51,811	401.6
		H13	19,807	146.7	20,650	151.8	0	0.0	13,244	101.9	53,701	416.3
	2. なべ (個)	H10	13,285	97.7	25,476	187.3	0	0.0	64,675	475.6	103,436	760.6
		H11	9,904	75.0	30,288	227.7	0	0.0	80,968	637.5	125,741	974.7
		H12	13,156	96.7	25,446	187.1	0	0.0	81,318	625.5	119,920	915.4
		H13	13,296	97.8	25,446	187.1	0	0.0	78,717	605.5	117,459	896.6
	3. やかん (個)	H10	6,277	46.2	8,098	59.5	0	0.0	46,741	343.7	61,116	449.4
		H11	8,990	67.6	8,000	60.2	0	0.0	46,639	358.8	64,445	491.9
		H12	6,311	46.4	8,000	58.8	0	0.0	49,149	375.2	63,460	484.4
		H13	6,430	47.3	8,110	59.6	0	0.0	48,063	366.9	62,603	477.9
	4. 釜 (個)	H10	8,949	65.8	397	2.9	0	0.0	1,300	9.6	10,646	78.3
		H11	8,771	65.9	0	0.0	347	2.6	0	0.0	9,373	70.5
		H12	8,286	60.9	347	2.6	0	0.0	0	0.0	8,633	64.4
		H13	8,410	61.8	347	2.6	0	0.0	0	0.0	8,757	65.4
	5. ろ水器(家庭用) (台)	H10										
		H11	3,012	22.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3,012	22.5
		H12	2,705	19.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2,705	20.0
		H13	2,747	20.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2,747	20.1
	6. ろ水機(浄水装置) (台)	H10										
		H11	2,691	20.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2,669	19.9
		H12	2,494	18.5	1	0.0	0	0.0	0	0.0	2,495	18.5
		H13	2,883	21.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2,883	21.2
	7. 食器セット(枚)	H10	73,980	544.0	4,947	36.4	0	0.0	154,131	1,133.3	233,058	1,713.7
		H11	263,421	1,965.8	38,300	285.8	447	3.3	123,730	944.5	425,898	3,251.1
		H12	275,147	2,023.1	38,300	281.6	0	0.0	127,930	976.6	441,377	3,369.3
		H13	290,979	2,139.6	41,500	305.1	0	0.0	45,150	344.7	377,629	2,882.7
6-6 衛生用品	1. 小児用おむつ (枚)	H10	1,614,209	11,869.2	151,157	1,111.5	480	3.5	569,064	4,184.3	2,334,910	17,168.5
		H11	2,026,826	15,125.6	100,079	746.9	0	0.0	371,824	2,927.7	2,498,729	19,675.0
		H12	2,137,549	15,717.3	84,452	621.0	0	0.0	346,772	2,730.5	2,531,549	19,777.7
		H13	2,300,120	17,037.9	81,491	599.2	0	0.0	224,229	1,751.8	2,605,840	20,044.9
	2. 大人用おむつ (枚)	H10	405,148	2,979.0	20,604	151.5	300	2.2	355,426	2,613.4	781,478	5,746.2
		H11	592,867	4,457.6	49,995	375.9	0	0.0	83,007	658.8	626,034	4,929.4
		H12	595,500	4,378.7	77,880	572.6	0	0.0	74,748	588.6	632,091	4,977.1
		H13	610,928	4,525.4	78,160	574.7	0	0.0	79,794	623.4	768,882	5,960.3
	3. ほ乳びん(本)	H10	129,680	953.5	8,480	62.4	0	0.0	10,134	74.5	148,294	1,090.4
		H11	146,425	1,092.7	1,450	10.8	0	0.0	43,083	334.0	190,958	1,480.3
		H12	131,677	975.4	1,550	11.4	0	0.0	42,329	325.6	175,556	1,360.9
		H13	138,137	1,023.2	1,550	11.4	0	0.0	44,369	341.3	184,056	1,426.8
	4. 生理用品(個)	H10	1,771,064	13,022.5	417,956	3,073.2	0	0.0	2,107,085	15,493.3	4,296,105	31,589.0
		H11	3,006,712	22,778.1	131,216	994.1	0	0.0	2,019,694	15,903.1	5,227,930	40,526.6
		H12	3,441,623	25,306.1	496,920	3,653.8	0	0.0	2,018,786	15,529.1	5,957,329	45,825.6
		H13	4,693,021	34,507.5	510,620	3,754.6	0	0.0	2,045,299	15,733.1	7,248,940	55,761.1

品目(単位)		備蓄形態・財源										
		(1)購入				(2)契約				(3)総備蓄数 ((1)+(2))		
		自己		基金		備蓄		流通備蓄				
		合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	
6-7 医薬品等	1. 外傷系医療セット (人分)	H10										
		H11	72,623	550.2	139,500	1,041.0	3,000	22.7	0	0.0	215,095	1,693.7
		H12	78,011	586.5	139,500	1,025.7	3,000	22.4	148	1.1	220,631	1,737.3
		H13	103,491	790.0	139,500	1,025.7	3,000	22.2	88,317	674.2	334,280	2,632.1
	2. 救急箱 (箱)	H10	4,794	35.3	139,500	1,025.7	0	0.0	0	0.0	144,294	1,061.0
		H11	4,023	30.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4,123	31.5
		H12	3,868	28.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3,868	29.3
		H13	6,177	46.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6,177	46.8
	3. 三角巾 (枚)	H10	106,814	785.4	0	0.0	100	0.7	2,640	19.4	109,554	805.5
		H11	129,116	970.8	0	0.0	0	0.0	930	7.2	135,746	1,052.3
		H12	126,052	926.9	0	0.0	80	0.6	1,830	14.0	127,962	984.3
		H13	111,622	833.0	0	0.0	0	0.0	1,080	8.1	112,702	866.9
	4. 包帯 (巻)	H10	113,476	834.4	0	0.0	302	2.2	132,190	972.0	245,968	1,808.6
		H11	132,750	1,013.4	0	0.0	0	0.0	1,850	14.5	157,752	1,242.1
		H12	134,847	998.9	0	0.0	0	0.0	5,850	45.0	140,161	1,103.6
		H13	81,254	610.9	0	0.0	0	0.0	4,600	34.8	85,854	665.5
6-8 予防衛生	1. 生石灰 (kg)	H10										
		H11	1,290	9.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1,290	9.8
		H12	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		H13	1,620	11.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1,620	11.9
	2. クレゾール(%)	H10										
		H11	6,203	47.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6,203	47.7
		H12	10,240	75.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	10,240	77.6
		H13	6,656	49.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6,656	49.7
	3. 噴霧器 (台)	H10										
		H11	426	3.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	426	3.2
		H12	524	3.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	524	3.9
		H13	861	6.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	861	6.4

(注) 日用品セット:被災世帯単位で配布する石鹸、歯ブラシ、歯みがき、洗面器、洗剤などをセットにしたもの。

問7. 貴自治体の災害救助用資機材・給与品などのおもな備蓄場所に、○印をつけてください(いくつでも)。

	H10	H11 n=138	H12 n=138	H13 n=137
1. 防災倉庫・備蓄倉庫・水防倉庫		91(65.9)	94(68.1)	100(73.0)
2. 防災センター	(カテゴリ	17(12.3)	21(15.2)	23(16.8)
3. 庁舎内	分類なし)	51(37.0)	47(34.1)	49(35.8)
4. 小・中・高等学校		55(39.9)	64(46.4)	69(50.4)
5. 消防局・消防署		13(9.4)	16(11.6)	21(15.3)
6. 市民センター		8(5.8)	8(5.8)	12(8.8)
7. 日赤支部		4(2.9)	6(4.3)	5(3.6)
8. 民間業者借り上げ倉庫		12(8.7)	12(8.7)	14(10.2)
9. その他		29(21.0)	34(24.6)	32(23.4)
無回答		4(2.9)	5(3.6)	1(0.7)

(問8.) 大規模地震災害特別措置法施行令第12条及び災害対策基本法施行令第32条に基づく緊急車両のうち、警察、消防等を除く災害救助用の緊急指定車両の台数をご記入ください。

【H10よりH12までの質問形式による回答】

	H10	H11	H12
①自己所有	n=112 平均 412.9 台	n=113 平均 433.3 台	n=119 平均 424.8 台
②民間協定	n= 49 平均 161.9 台	n= 61 平均 151.2 台	n= 64 平均 319.1 台

【H13のみ】問7. 災害救助のための人員・物資資機材等を運ぶため、次のような移動手段がありますか。

問7-1. 車両

①トラック	保有 73 (53.3%) 合計 7,819 台 平均 107.1 台	②その他車両	保有 97 (70.8%) 合計 41,342 台 平均 426.2 台
うち緊急車両	保有 42 (30.7%) 合計 3,547 台 平均 84.5 台	うち緊急車両	保有 75 (54.7%) 合計 3,546 台 平均 285.0 台

緊急車両：大規模地震災害特別措置法施行令第12条及び災害対策基本法施行令第32条に基づく緊急車両のうち、警察、消防等を除く災害救助用の緊急指定車両

問7-2. 船舶

	保有状況・保有数		
船舶	保有 29 (21.2%)	合計 1,037 艇	平均 35.8 艇
救命ボート (ゴム・組立)	保有 44 (32.1%)	合計 745 艘	平均 17.0 艘
船外機	保有 29 (21.2%)	合計 239 機	平均 8.2 機

問7-3. ヘリコプター

警 察 用	保有状況・保有数	防 災 消 防 用 ・	保有状況・保有数	そ の 他	保有状況・保有数
	保有 37 (27.0%) 合計 73 機 平均 2.0 機		保有 50 (36.5%) 合計 67 機 平均 1.3 機		保有 1 (0.7%) 合計 1 機 平均 1.0 機

問9. 避難場所などについておたずねします。各都道府県市の域内の全数をご記入ください。ない場合は、

「0(ゼロ)」を記入してください。

(カ所)

	H10	H11	H12	H13
①広域避難場所数	n=121 平均 260.2	n=126 平均 280.8	n=126 平均 263.4	n=126 平均 275.5
②(屋内)避難所数	n=133 平均 738.6	n=133 平均 817.6	n=133 平均 842.5	n=134 平均 879.2
③災害弱者用二次避難所数(福祉避難所)	n= 47 平均 30.0	n= 71 平均 24.5	n= 82 平均 21.8	n= 84 平均 22.1
うち②屋内避難所にあるもの	n= 31 平均 12.0	n= 60 平均 13.9	n= 70 平均 13.5	n= 79 平均 13.2
④応急医療用救護所数	n= 57 平均 90.8	n= 79 平均 70.8	n= 84 平均 65.0	n= 84 平均 71.6
⑤救援物資集積場所				
1.陸路経由用	n= 79 平均 10.7	n= 90 平均 10.9	n= 97 平均 11.2	n= 101 平均 9.3
2.海路経由用	n= 54 平均 2.3	n= 67 平均 2.3	n= 97 平均 1.6	n= 101 平均 1.2
3.空路経由用	n= 54 平均 6.7	n= 69 平均 5.2	n= 97 平均 3.9	n= 101 平均 4.8
4.総 計	n= 82 平均 16.3	n= 94 平均 15.4	n=102 平均 15.8	n= 105 平均 14.6

問 10. 貴自治体には災害発生時を想定した応援協定はありますか。すでに締結している協定で、該当する協定先について協定件数と相手数を記入してください。協定がない場合は、「0(ゼロ)」を記入してください。

協定先	協定の有無 (1)協定件数(件) (2)相手数(件)				(3)災害時の応援の種類 (注)下記より選択し、あてはまるものに○印							
		H10	H11	H12	H13		H11	H12	H13			
1. 都道府県・市区町村	協定あり なし 無回答	協 定 先 別 で な い た め 比 較 不 可	132(95.7)	134(97.1)	134(97.8)	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 無回答	n=132	n=134	n=134			
			2(1.4)	2(1.4)	1(0.7)		70(53.0)	78(58.2)	95(70.9)			
	4(2.9)		2(1.4)	2(1.4)	121(91.7)		119(88.8)	123(91.8)				
	(1)		n=132 平均5.5	n=134 平均5.6	n=134 平均5.8		106(80.3)	110(82.1)	121(90.3)			
	(2)		n=124 60.3件	n=120 67.0件	n=120 76.0件		59(44.7)	104(77.6)	111(82.8)			
							88(66.7)	121(90.3)	122(91.0)			
	2. 地方自治体以外の行政機関		協定あり なし 無回答	別 で な い た め 比 較 不 可	69(50.0)		91(65.9)	100(73.0)	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 無回答	n=69	n=91	n=100
					34(24.6)		22(15.9)	17(12.4)		50(72.5)	61(67.0)	64(64.0)
			35(25.4)		25(18.1)		20(14.6)	18(26.1)		28(30.8)	36(36.0)	
			(1)		n=69 1.7件		n=91 1.8件	n=100 1.8件		9(13.0)	18(19.8)	20(20.0)
			(2)		n=64 7.0件		n=86 12.2件	n=100 11.4件		15(21.7)	21(23.1)	25(25.0)
3(4.3)		10(11.0)				18(18.0)						
3. 自衛隊		協定あり なし 無回答	別 で な い た め 比 較 不 可		9(6.5)	13(9.4)	13(9.4)	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 無回答		n=9	n=13	n=13
					70(50.7)	69(50.0)	69(50.4)			7(77.8)	7(53.8)	9(69.2)
		59(42.8)			56(40.6)	55(40.1)	2(22.2)			2(15.4)	3(23.1)	
		(1)			n=9 1.1件	n=13 1.2件	n=13 1.2件			5(55.6)	7(53.8)	8(61.5)
	(2)	n=8 1.3件		n=11 1.5件	n=11 1.4件	3(33.3)	7(53.8)		10(76.9)			
						4(44.4)	7(53.8)		7(53.8)			
	3. 自衛隊	協定あり なし 無回答		別 で な い た め 比 較 不 可	1(11.1)	1(7.7)	1(7.7)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 無回答	4(44.4)	7(53.8)	7(53.8)
					1(11.1)	2(15.4)	1(7.7)			1(11.1)	2(15.4)	1(7.7)
					0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)			0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
0(0.0)			0(0.0)		0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)				
3. 自衛隊	協定あり なし 無回答	別 で な い た め 比 較 不 可	3(33.3)	5(38.5)	5(38.5)	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 無回答	3(33.3)	5(38.5)	5(38.5)			
			1(11.1)	1(7.7)	1(7.7)		1(11.1)	1(7.7)	1(7.7)			
			1(11.1)	1(7.7)	1(7.7)		1(11.1)	1(7.7)	1(7.7)			

(注) (3)災害時の応援の種類

1. 情報の収集・伝達
2. 食糧、生活物資の提供
3. 被災者の救出・医療
4. 車両、ヘリ等の派遣
5. 職員の派遣
6. 一時収容施設の提供
7. ごみ、し尿処理等
8. 児童生徒の受け入れ
9. 住宅のあっせん
10. ボランティアのあっせん
11. その他応援

協定先	協定の有無 (1)／協定件数(件) (2)相手数				(3)災害時の応援の種類 (注)下記より選択し、あてはまるものに○印					
		H10	H11	H12	H13		H11	H12	H13	
4. 民間業者	協定あり なし 無回答		109(79.0)	117(84.8)	121(88.3)	1.	n=109 55(50.5)	n=117 65(55.6)	n=121 69(57.0)	
			12(8.7)	6(4.3)	5(3.6)	2.	84(77.1)	88(75.2)	92(76.0)	
			17(12.3)	15(10.9)	11(8.0)	3.	36(33.0)	44(37.6)	51(42.1)	
	(1)		n=109 12件	n=117 13.8件	n=121 14.0件	4.	39(35.8)	58(49.6)	64(52.9)	
						5.	16(14.7)	21(17.9)	30(24.8)	
						6.	10(9.2)	21(17.9)	21(17.4)	
	(2)	協 定 先		n=102 43.2件	n=110 34.6件	n=110 35.2件	7.	6(5.5)	9(7.7)	10(8.3)
							8.	1(0.9)	2(1.7)	3(2.5)
							9.	5(4.6)	11(9.4)	10(8.3)
							10.	3(2.8)	2(1.7)	3(2.5)
							11. 無回答	42(38.5) 6(5.5)	57(48.7) 3(2.6)	71(58.7) 4(3.3)
5. ボランティア団体	協定あり なし 無回答	別 で	14(10.1)	17(12.3)	21(15.3)	1.	n=14 10(71.4)	n=17 11(64.7)	n=21 10(47.6)	
			64(46.4)	63(45.7)	58(42.3)	2.	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	
			60(43.5)	58(42.0)	58(42.3)	3.	1(7.1)	1(5.9)	3(14.3)	
	(1)	な い		n=14 1.1件	n=17 1.1件	n=21 1.0件	4.	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
							5.	1(7.1)	2(11.8)	1(4.8)
							6.	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	(2)	た め 比 較		n=14 2.1件	n=15 1.3件	n=21 1.8件	7.	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
							8.	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
							9.	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
							10.	2(14.3)	2(11.8)	3(14.3)
							11. 無回答	3(21.4) 0(0.0)	4(23.5) 0(0.0)	6(28.6) 0(0.0)
6. その他	協定あり なし 無回答	可 不 可	44(31.9)	49(35.5)	59(43.1)	1.	n=44 19(43.2)	n=49 23(46.9)	n=59 22(37.3)	
			94(68.1)	89(64.5)	78(56.9)	2.	13(29.5)	19(38.8)	17(28.8)	
			-	-	-	3.	23(52.3)	24(49.0)	30(50.8)	
	(1)		n=44 5.6件	n=49 6.4件	n=59 5.1件	4.	10(22.7)	11(22.4)	12(20.3)	
						5.	5(11.4)	4(8.2)	9(15.3)	
						6.	4(9.1)	7(14.3)	11(18.6)	
	(2)		n=43 14.1件	n=45 14.4件	n=59 11.9件	7.	2(4.5)	2(4.1)	2(3.4)	
						8.	0(0.0)	1(2.0)	2(3.4)	
						9.	1(2.3)	0(0.0)	1(1.7)	
						10.	0(0.0)	2(4.1)	8(13.6)	
						11. 無回答	14(31.8) 0(0.0)	24(49.0) 0(0.0)	27(45.8) 6(10.2)	

(注) (3)災害時の応援の種類

1. 情報の収集・伝達
2. 食糧、生活物資の提供
3. 被災者の救出・医療
4. 車両、ヘリ等の派遣
5. 職員の派遣

6. 一時収容施設の提供
7. ごみ、し尿処理等
8. 児童生徒の受け入れ
9. 住宅のあっせん
10. ボランティアのあっせん
11. その他応援

問 11. 貴自治体に登録している応急建物危険度判定士(注)の人数及び運営担当部署を記入してください。

(注)地震の発生後、余震等による二次災害を防止するため、早期に建物の被害状況を調査し、建物の使用の可否を判定する建築技術者

登録人数			合計	平均	最大値	最小値
1. 行政職員	H12 n=108	12,063	111.7	1,062	0	
	H13 n=116	18,240	157.2	2,000	0	
2. 民間判定士(ボランティア)	H12 n= 89	65,753	738.8	8,916	0	
	H13 n=104	79,878	768.1	8,882	0	
合計	H12 n=117	99,740	852.5	11,200	0	
	H13 n=122	116,541	955.3	10,655	0	

問 12. 貴自治体独自の災害見舞金制度はありますか(注:災害弔慰金法(昭和48 年法律82号)、被災者生活再建支援法(平成10年法律 66 号)によるものを除く)。

	H10 n=138	H11 n=138	H12 n=138	H13 n=137
1. ある	109(79.0)	110(79.7)	112(81.2)	113(82.5)
2. 検討中	1(0.7)	1(0.7)	2(1.4)	-
3. なし	28(20.3)	25(18.1)	24(17.4)	23(16.8)
無回答	-	2(1.4)	-	1(0.7)

問 13. 地域防災計画で義援金配分委員会の設置について規定がありますか。

	H10 n=138	H11 n=138	H12 n=138	H13 n=137
1. ある	52(37.7)	56(40.6)	57(41.3)	59(43.1)
2. 検討中	16(11.6)	13(9.4)	13(9.4)	10(7.3)
3. なし	69(50.0)	69(50.0)	67(48.6)	67(48.9)
無回答	1(0.7)	-	1(0.7)	1(0.7)

「平成 10～13 年度版災害基本データブック」調査票集計結果

(災害拠点病院用 H10 n=420 H11 n=453

H12 n=469 H13 n=472)

【調査票ご記入に際して】

(1) この調査票には、平成〇年〇月〇日現在の状況を記入してください。
(2) この調査票は、災害時医療を担当している部署の方がご記入ください。
(3) 回答欄に選択肢があるものについては、該当する番号を○で囲んでください。該当する事項、数値については具体的に記入してください。その他の場合は()に具体的な内容を記入してください。
(4) ご記入いただいた調査票を、同封の返信用封筒にて平成〇年〇月〇日までにご投函くださいますようお願いいたします。 ご参考までに、昨年ご回答いただいた病院については、昨年の回答内容を添付しました。
(5) 赤十字病院にあって、支部所有の資機材・車両のうち、実際に病院に配備されているものについては本調査票にご記入ください。
(6) 質問の内容によっては、後日改めて電話/FAX等でお問い合わせする場合がございます。 ご回答いただいた方のお名前、電話番号等を忘れずに記入してください。 ＜本調査のお問い合わせ先＞ 日本赤十字社 災害基本データブック調査事務局

問1. 貴院の基本事項

①病院名					
②所在地					
③代表電話番号	- -				
④夜間・休日対応電話番号	- -				
⑤FAX 番号	- -				
⑥ホームページURL(アドレス)					
⑦災害医療担当部署メールアドレス					
⑧災害拠点病院の種類 ※基幹・地域両方である病院については、基幹病院としてカウントした。	1.基幹 2.地域 3.指定外	H10 n=420 60(14.3) 360(85.7)	H11 n=453 47(10.4) 406(89.6)	H12 n=469 49(10.4) 420(89.6)	H13 n=472 48(10.2) 424(89.8)
⑨災害担当窓口:災害時に各役割を担当する部門とその電話番号を記入してください。					
1.医療担当(例:救急部)	部署名	電話番号		-	-
2.管理担当(例:総務部)	部署名	電話番号		-	-

問2. 貴院の診療科目・緊急時対応等についてお答えください。

(1) 病床数	許可 病床 平均	区分	一般	結核	精神	感染症	合計(床)
		H10 n=420	459.2	8.1	24.7	9.0	499.6
		H11 n=452	454.3	7.3	23.3	2.4	487.4
		H12 n=467	460.8	6.9	24.5	2.2	494.6
	実働 病床 平均	H13 n=471	468.6	6.7	24.0	2.2	501.6
		H10 n=401	440.6	6.6	23.2	8.1	474.2
		H11 n=422	437.5	6.0	21.8	2.0	469.3
		H12 n=446	450.6	5.6	23.0	2.0	481.3
		H13 n=452	456.6	5.1	22.7	2.1	486.6

<p>(2) 診療科目 (標榜している診療科目すべてに○印をつけてください)</p>	<p>1. 内科 2. 精神科・神経科 3. 神経内科・心療内科 4. 呼吸器科 5. 消化器科 6. 循環器科 7. 小児科 8. 外科 9. 整形外科 10. 形成外科 11. 脳神経外科 12. 呼吸器外科 13. 心臓血管外科 14. 皮膚科 15. 泌尿器科 16. 産婦人科 17. 眼科 18. 耳鼻咽喉科 19. 放射線科 20. 麻酔科 21. 歯科・口腔外科 22. リハビリ科 23. リウマチ科 24. アレルギー科 25. その他</p>	<p>H10 n=420 416(99.0) 257(61.2) 214(51.0) 236(56.2) 259(61.7) 293(69.8) 395(94.0) 420(100.0) 412(98.1) 184(43.8) 364(86.7) 164(39.0) 202(48.1) 358(85.2) 376(89.5) 379(90.2) 381(90.7) 378(90.0) 387(92.1) 354(84.3) 287(68.3) (カテゴリーなし) (カテゴリーなし) (カテゴリーなし) (カテゴリーなし)</p>	<p>H11 n=453 449(99.1) 276(60.9) 233(51.4) 222(49.0) 234(51.7) 303(66.9) 431(95.1) 450(99.3) 444(98.0) 176(38.9) 401(88.5) 117(25.8) 208(45.9) 386(85.2) 407(89.8) 411(90.7) 415(91.6) 413(91.2) 422(93.2) 386(85.2) 239(52.8) 304(67.1) 54(11.9) 30(6.6) 108(23.8)</p>	<p>H12 n=469 467(99.6) 293(62.5) 249(53.1) 248(52.9) 250(53.3) 323(68.9) 449(95.7) 468(99.8) 461(98.3) 189(40.3) 419(89.3) 134(28.6) 225(48.0) 404(86.1) 427(91.0) 431(91.9) 435(92.8) 434(92.5) 438(93.4) 403(85.9) 252(53.7) 327(69.7) 63(13.4) 31(6.6) 133(28.4)</p>	<p>H13 n=472 470(99.6) 295(62.5) 259(54.9) 251(53.2) 263(55.7) 330(69.9) 451(95.6) 471(99.8) 465(98.5) 199(42.2) 422(89.4) 140(29.7) 239(50.6) 410(86.9) 431(91.3) 434(91.9) 436(92.4) 436(92.4) 445(94.3) 419(88.8) 258(54.7) 333(70.6) 67(14.2) 32(6.8) 145(30.7)</p>
<p>(3) 標榜診療科目のうち、 緊急手術の対象科目 (あてはまるものすべてに○印をつけてください)</p>	<p>1. 内科 2. 呼吸器科 3. 消化器科 4. 循環器科 5. 小児科 6. 外科 7. 整形外科 8. 形成外科 9. 脳神経外科 10. 呼吸器外科 11. 心臓血管外科 12. 皮膚科 13. 泌尿器科 14. 産婦人科 15. 眼科 16. 耳鼻咽喉科 17. その他 無回答</p>	<p>H10 n=420 167(39.8) 98(23.3) 144(34.3) 141(33.6) 149(35.5) 395(94.0) 386(91.9) 138(32.9) 330(78.6) 139(33.1) 180(42.9) 208(49.5) 314(74.8) 334(79.5) 300(71.4) 287(68.3) 87(20.7) 11(2.6)</p>	<p>H11 n=453 170(37.5) 99(21.9) 135(29.8) 147(32.5) 152(33.6) 431(95.1) 423(93.4) 139(30.7) 364(80.4) 135(29.8) 190(41.9) 226(49.9) 336(74.2) 366(80.8) 319(70.4) 306(67.5) 53(11.7) 10(2.2)</p>	<p>H12 n=469 175(37.3) 97(20.7) 126(26.9) 153(32.6) 148(31.6) 447(95.3) 435(92.8) 145(30.9) 372(79.3) 123(26.2) 197(42.0) 233(49.7) 353(75.3) 379(80.8) 329(70.1) 321(68.4) 68(14.5) 12(2.6)</p>	<p>H13 n=472 177(37.5) 95(20.1) 129(27.3) 163(34.5) 146(30.9) 459(97.2) 445(94.3) 153(32.4) 386(81.8) 134(28.4) 206(43.6) 246(52.1) 363(76.9) 389(82.4) 331(70.1) 324(68.6) 72(15.3) 2(0.4)</p>
<p>(4) 緊急手術</p>	<p>①手術室の数 H10 (質問なし) H11 n=446 (平均 6.1 合計 2,734) 室 H12 n=468 (平均 6.3 合計 2,935) 室 H13 n=470 (平均 6.3 合計 2,975) 室</p>	<p>②平日日勤時間帯 H10(質問なし) H11 可能 418 件 (平均 3.8 合計 1,587) H12 可能 435 件 (平均 3.5 合計 1,527) H13 可能 441 件 (平均 3.4 合計 1,497)</p>	<p>夜間時間帯 H10(質問なし) H11 可能 418 件 (平均 2.5 合計 1,052) H12 可能 435 件 (平均 2.5 合計 1,072) H13 可能 438 件 (平均 2.4 合計 1,071)</p>	<p>緊急手術可能数 (注)予定されている手術以外に緊急に手術することが可能な取扱人数</p>	
<p>(5) 人工呼吸器 ②(注)日常使用以外で緊急使用が可能なものの数</p>	<p>①人工呼吸器の全体数 H10(質問なし) H11 n=434 (平均 19.6 合計 8,534) 器 H12 n=456 (平均 20.2 合計 9,251) 器 H13 n=464 (平均 21.0 合計 9,749) 器</p>	<p>②緊急時に使用できる人工呼吸器数 H10(質問なし) H11 n=399 (平均 6.7 合計 2,711) 器 H12 n=422 (平均 6.2 合計 2,615) 器 H13 n=434 (平均 6.0 合計 2,590) 器</p>			

(6) 特殊診療体制(あてはまるものすべてに○印をつけ、病床数を記入してください)		H10 n=420		H11 n=453		H12 n=469		H13 n=472		
	1. ICU/CCU	288 (68.6)	9.1床	264 (58.3)	9.4床	274 (58.4)	9.4床	266 (56.4)	9.7床	
	2. HCU	89 (21.2)	16.0床	119 (26.3)	17.0床	154 (32.8)	15.5床	176 (37.3)	16.7床	
	3. NICU	156 (37.1)	8.8床	145 (32.0)	8.1床	146 (31.1)	8.1床	147 (31.1)	8.1床	
	4. 人工透析	326 (77.6)	18.4床	346 (76.4)	19.7床	361 (77.0)	20.2床	363 (76.9)	21.0床	
	5. 熱傷治療	74 (17.6)	1.9床	96 (21.2)	2.0床	111 (23.7)	1.6床	118 (25.0)	1.5床	
	6. 救命救急センター	126 (30.0)	27.6床	120 (26.5)	32.4床	128 (27.3)	31.9床	132 (28.0)	32.9床	
	7. メンタルケア	24 (5.7)		25 (5.5)		37 (7.9)		44 (9.3)		
無回答	32 (7.6)		44 (9.7)		41 (8.7)		36 (7.6)			
(7) 日常救急患者取扱数 (注)救急車で搬入された患者、診療時間外に扱った患者、診療時間内であっても、医師の判断により救急患者として扱った患者	①各年度の1日あたり平均				②各年9月取扱数(計)					
	H10 n=400	(平均 33.6) 人				H10 n=387	(平均 861.8) 人			
	H11 n=448	(平均 30.9) 人				H11 n=434	(平均 1,008.2) 人			
	H12 n=459	(平均 31.8) 人				H12 n=446	(平均 995.7) 人			
	H13 n=457	(平均 33.7) 人				H13 n=441	(平均 1,067.8) 人			
(8) 災害時に重症者などの治療を行えるスペースの有無 (注)災害時に治療・入院を必要とする患者を収容できる病床外のスペース(講堂、会議室、食堂等)		H10 n=420		H11 n=453		H12 n=469		H13 n=472		
	1. あり	392(93.3)		427(94.3)		441(94.0)		441(93.4)		
	→総面積(m ²)	n=355 758.0		n=402 862.6		n=419 853.9		n=427 862.3		
	2. なし	18(4.3)		16(3.5)		16(3.4)		16(3.4)		
無回答	10(2.4)		10(2.2)		12(2.6)		15(3.2)			
(9) 災害時入院可能数 (注)病室以外への収容(会議室等に簡易ベッド・布団などを設置)を含むものとし、災害時に新たに収容可能な病床数を記載のこと。実働病床数を超えても構わない。	H10 n=323	(平均 161.5	合計 52,153) 床							
	H11 n=408	(平均 182.2	合計 74,318) 床							
	H12 n=425	(平均 174.2	合計 74,051) 床							
	H13 n=421	(平均 168.7	合計 71,028) 床							
(10) 非常時に患者に提供できる食糧の保有量	①病院独自:保有量									
	H10 n=264	(平均 1,776.7 食)				n=279	(平均 2.7 日分)			
	H11 n=449	(平均 1,196.2 食)				n=449	(平均 1.9 日分)			
	H12 n=370	(平均 1,528.5 食)				n=413	(平均 2.3 日分)			
	H13 n=385	(平均 1,667.1 食)				n=422	(平均 3.2 日分)			
	②外部委託:保有量									
	H10 n= 41	(平均 666.2 食)				n= 37	(平均 2.0 日分)			
	H11 n=441	(平均 72.5 食)				n=441	(平均 0.2 日分)			
	H12 n=406	(平均 99.0 食)				n=419	(平均 0.2 日分)			
	H13 n=416	(平均 127.6 食)				n=425	(平均 0.6 日分)			

問3. 貴院が災害時に医療を行う時の主な建物およびスペースについてお答えください。

①土地・病院建物面積 (小数点以下第1位まで)	土地	H10 n=410 平均 38,113.1 m ²	H11 n=445 平均 36,131.6 m ²	H12 n=464 平均 34,141.8 m ²	H13 n=468 平均 36,584.8 m ²
	建物建築面積 (延床面積ではない)	n=413 平均 40,837.6 m ²	n=439 平均 22,196 m ²	n=460 平均 16,244.0 m ²	n=464 平均 14,643.4 m ²
②主要建物建築年(西暦)		H10 n=418 (1981)年 H11 n=443 (1982)年 H12 n=466 (1983)年 H13 n=470 (1984)年			
③耐震構造の有無	1. すべて耐震構造化している	H10 n=420 190(45.2)	H11 n=453 214(47.2)	H12 n=469 223(47.5)	H13 n=472 229(48.5)
	2. 一部の建物を耐震構造化	147(35.0)	157(34.7)	171(36.5)	182(38.6)
	3. 全く耐震化していない	71(16.9)	75(16.6)	66(14.1)	54(11.4)
	無回答	12(2.9)	7(1.5)	9(1.9)	7(1.5)
④ヘリポートの有無 (あてはまるもの1つに○印)	1. 建物屋上にあり	H10 n=420 41(9.8)	H11 n=453 46(10.2)	H12 n=469 53(11.3)	H13 n=472 57(12.1)
	2. 敷地内にあり	27(6.4)	33(7.3)	40(8.5)	49(10.4)
	3. 敷地外にあり →距離	179(42.6) 平均 1364.1m	193(42.6) 平均 1512.7m	206(43.9) 平均 1552.8m	215(45.6) 平均 1572.1m
	4. 検討中	29(6.9)	33(7.3)	22(4.7)	19(4.0)
	5. なし 無回答	144(34.3) -	145(32.0) 3(0.7)	144(30.7) 4(0.9)	131(27.8) 1(0.2)

問4. ライフラインの設備についてお答えください。

(1)電気	①平常時契約電力量		H10 n=405 (平均 5,180.5) Kw H11 n=444 (平均 4,781.6) Kw H12 n=463 (平均 1,790.5) Kw H13 n=462 (平均 2,343.6) Kw			
	②自家発電装置 (主なものひとつ)	1. あり →供給可能電力 2. なし 無回答	H10 n=420 418(99.5) 783.2Kw×48.6h 2(0.5) -	H11 n=453 450(99.3) 776.8Kw×47.8h 1(0.2) 2(0.4)	H12 n=469 467(99.6) 797.0Kw×50.3h 1(0.2) 1(0.2)	H13 n=472 469(99.4) 811.0Kw×52.2h 1(0.2) 2(0.4)
(2)医療ガス支援のための体制 (注)医療ガス関連業者との契約等により非常災害時に24時間体制で優先的な補充を受けることができる体制		1. あり 2. なし 無回答	H10 n=420 163(38.8) 226(53.8) 31(7.4)	H11 n=453 219(48.3) 212(46.8) 22(4.9)	H12 n=469 264(56.3) 193(41.2) 12(2.6)	H13 n=472 295(62.5) 164(34.7) 13(2.8)
(3)医療用ないしは飲用水			H10	H11	H12	H13
		1日あたりの平均使用量	n=393 415.9m ³ /日	n=436 1,197.4m ³ /日	n=456 1,185.7m ³ /日	n=458 1,173.4m ³ /日
		院内の受水槽等の貯水量	n=409 629.0m ³	n=446 816.5m ³	n=468 850.4m ³	n=468 856.5m ³
		1日あたりの自家井戸水利用可能量		n=250 303.3m ³ /日	n=266 328.9m ³ /日	n=286 283.1m ³ /日

問5. 院内の災害対応についてお答えください。

①院内災害対応計画の有無	1. あり	H10 n=420 204(48.6)	H11 n=453 260(57.4)	H12 n=469 302(64.4)	H13 n=472 311(65.9)
	2. 検討中	159(37.9)	154(34.0)	129(27.5)	123(26.1)
	3. なし	51(12.1)	32(7.1)	37(7.9)	33(7.0)
	無回答	6(1.4)	7(1.5)	1(0.2)	5(1.1)
②院内災害対応マニュアルの有無	1. あり	H10 n=420 185(44.0)	H11 n=453 238(52.5)	H12 n=469 288(61.4)	H13 n=472 307(65.0)
	2. 検討中	166(39.5)	175(38.6)	146(31.1)	137(29.0)
	3. なし	61(14.5)	36(7.9)	34(7.2)	25(5.3)
	無回答	8(1.9)	4(0.9)	1(0.2)	3(0.6)
③災害時の医師・看護婦等動員計画	1. あり	H10	H11	H12 n=469 261(55.7)	H13 n=472 294(62.3)
	2. 検討中			134(28.6)	128(27.1)
	3. なし			38(8.1)	32(6.8)
	無回答			36(7.7)	18(3.8)
④災害拠点病院連絡会議	1. 参加している	H10	H11 n=453 188(41.5)	H12 n=469 233(49.7)	H13 n=472 269(57.0)
	2. 準備中		36(7.9)	28(6.0)	24(5.1)
	3. 未定		(未定+なし)	120(25.6)	93(19.7)
	4. なし		174(38.4)	66(14.1)	64(13.6)
⑤過去3年以内に、貴院で独自ないしは他機関と共同で実施した訓練(あてはまるものすべてに○印)	1. 火災訓練	H10 n=420 406(96.7)	H11 n=453 437(96.5)	H12 n=469 457(97.4)	H13 n=472 460(97.5)
	2. 避難訓練	355(84.5)	399(88.1)	425(90.6)	431(91.3)
	3. トリアージ訓練	122(29.0)	183(40.4)	225(48.0)	266(56.4)
	4. 情報収集・伝達訓練	180(42.9)	205(45.3)	244(52.0)	264(55.9)
	5. 本部運営訓練	118(28.1)	129(28.5)	160(34.1)	179(37.9)
	6. 患者搬送訓練	240(57.1)	272(60.0)	308(65.7)	327(69.3)
	7. 大量患者救急対応訓練	56(13.3)	79(17.4)	104(22.2)	125(26.5)
	8. 地震防災訓練	126(30.0)	138(30.5)	160(34.1)	173(36.7)
	9. 机上訓練	71(16.9)	88(19.4)	108(23.0)	127(26.9)
	10. その他 無回答	25(6.0) -	30(6.6) 3(0.7)	34(7.2) 1(0.2)	38(8.1) -

問6-1. 院内の体制についてお答えください。

内訳(注1)	平日日勤帯 平均(人)				夜間帯(注2) 平均(人)				災害時動員可能数(注3) 平均(人)			
	H10	H11	H12	H13	H10	H11	H12	H13	H10	H11	H12	H13
① 医師数	90.4	84.2	86.4	89.8	7.0	6.7	7.3	7.4	51.9	55.8	55.6	57.7
② 看護婦数	284.9	247.5	246.5	251.6	31.6	46.7	50.0	55.9	190.9	195.3	190.2	193.3
③ 薬剤師数	16.4	16.0	15.7	15.9	0.9	0.9	0.9	0.9	11.7	12.3	10.6	10.8
④放射線技師数	15.5	15.2	15.4	16.0	1.0	1.0	1.1	1.1	10.1	12.0	10.5	10.7
⑤検査技師数	25.6	25.7	25.4	26.1	1.3	1.2	1.1	1.2	16.2	18.4	16.7	16.9
⑥その他職員数	126.8	126.9	124.2	128.5	3.7	3.7	3.4	3.4	77.8	85.9	79.9	80.2

(注1)「内訳」にある職種別の職員数は、常勤職員数をご記入ください(1週間の勤務時間が、正職員と同じ嘱託・臨時職員を含む)。

(注2)「夜間帯」については、準夜勤・深夜勤等の夜間勤務者のほか当直者数も算入してください。

(注3)「災害時動員可能数」は、夜間帯に大災害が発生したが、貴院は被災していない時、病院へ招集することが可能な職員の人数を記入してください。

問6-2. この3年間のうちに、トリアージを経験した人、または研修を受けた人の数(医師・看護婦等の職種は問いません)

H10	経験者有 n=218(平均 25.0)	合計 5,451人
H11	経験者有 n=291(平均 25.2)	合計 7,333人
H12	経験者有 n=328(平均 31.3)	合計 10,271人
H13	経験者有 n=358(平均 41.0)	合計 14,668人

問6-3. 看護学校または隣接する関連大学、短大等は併設されていますか。

	H10 n=420	H11 n=453	H12 n=469	H13 n=472
1. 併設している →学生または生徒数	176(41.9) n=169 263.6人	186(41.1) n=179 261.0人	195(41.6) n=188 290.4人	196(41.5) n=192 280.5人
2. 併設していない	234(55.7)	263(58.1)	268(57.1)	266(56.4)
無回答	10(2.4)	4(0.9)	6(1.3)	10(2.1)

問7. 災害時の情報伝達手段(院内外)についておたずねします。

		H10 n=420	H11 n=453	H12 n=469	H13 n=472
① 院内の情報伝達手段 (口頭は除き、あるものすべてに○印)	1. 内線電話	404(96.2)	441(97.4)	464(98.9)	469(99.4)
	2. 携帯電話・PHS	120(28.6)	206(45.5)	255(54.4)	289(61.2)
	3. ポケットベル	(3~5の カテゴリなし)	373(82.3)	397(84.6)	392(83.1)
	4. トランシーバー		114(25.2)	136(29.0)	154(32.6)
	5. 館内非常放送		411(90.7)	451(96.2)	458(97.0)
	6. その他 無回答	185(44.0) 5(1.2)	18(4.0) 1(0.2)	22(4.7) -	23(4.9) -
② 外部との情報伝達手段 (あるものすべてに○印をつけ、()内には具体的に数字等を記入してください)	1. 災害時優先電話	H10 カテゴリなし	H11 n=453 364(80.4)	H12 n=469 392(83.6)	H13 n=472 407(86.2)
	2. 県防災行政無線		138(30.5)	149(31.8)	168(35.6)
	3. (市町村)防災行政無線		107(23.6)	117(24.9)	126(26.7)
	4. 都道府県・市町村との専用電話		25(5.5)	34(7.2)	39(8.3)
	5. 業務用無線・MCA無線		34(7.5)	40(8.5)	44(9.3)
	6. 赤十字社無線		40(8.8)	45(9.6)	43(9.1)
	7. 衛星携帯電話		25(5.5)	29(6.2)	49(10.4)
	8. 救急医療情報端末(注1)		242(53.4)	260(55.4)	263(55.7)
	9. 広域災害・救急医療情報端末(注2)		149(32.9)	239(51.0)	272(57.6)
	10. その他 無回答		26(5.7) 8(1.8)	29(6.2) 3(0.6)	31(6.6) 2(0.4)

(注1) 救急診療担当病院から、消防署の救急指令センターに救急患者の受入れ状況などを連絡するホットライン

(注2) 医療機関、各自治体に設置され、災害発生時の被災情報や応援要請等をリアルタイムで収集交換して救援活動をサポートする専用システム(インターネットによる提供ではない)

問8. 災害時の救護班派遣体制についておたずねします。

① 救護班数／編成内訳	・救護班数	H10 n=354 (平均 3.1)班
		H11 n=409 (平均 2.9)班
		H12 n=439 (平均 2.8)班
		H13 n=447 (平均 2.8)班
	・救護班の構成人員(平均的な1個班あたりの人数)	
		H10 n=362 H11 n=414 H12 n=445 H13 n=452
	医師 2.2 2.1 1.9 1.5	
	看護婦 5.1 5.0 4.3 3.2	
	事務職 1.8 1.8 1.6 1.3	
	その他 1.7 1.4 1.2 0.9	
② 貴院付近で大災害が発生したが、貴院は被災していない時、何時間で第1班目を編成可能ですか。	1. 平日日勤時間帯	H10 n=349 (平均 1.5)時間
		H11 n=399 (平均 1.5)時間
		H12 n=426 (平均 1.5)時間
		H13 n=437 (平均 1.4)時間
	2. 夜間時間帯	H10 n=337 (平均 2.8)時間
		H11 n=394 (平均 2.6)時間
		H12 n=421 (平均 2.7)時間
		H13 n=430 (平均 2.6)時間

③救護班としての統一 的被服、 腕章など (表示・識 別・マーク など)	1. 都道府県指定	H10 カテゴリなし	H11 n=453	H12 n=469	H13 n=472			
	2. 日赤本社・支部指定					14(3.1)	16(3.4)	14(3.0)
	3. 市区町村指定					65(14.3)	66(14.1)	67(14.2)
	4. 医師会指定					10(2.2)	10(2.1)	10(2.1)
	5. 病院独自					11(2.4)	13(2.8)	12(2.5)
	6. その他					90(19.9)	110(23.5)	124(26.3)
	7. ない					16(3.5)	22(4.7)	23(4.9)
	無回答					229(50.6)	228(48.6)	214(45.3)
④救護班が 携行する 医療品		H10	H11	H12	H13			
	1. 医療セット(注1)	n=200 6.2	n=188 3.4	n=201 3.3	n=212 3.0			
	2. 携帯型医療セット(注2)	n=174 3.1	n=220 2.8	n=253 2.6	n=281 2.4			

(注1) 災害や大規模事故時の初期集中治療期のため、蘇生、創傷、輸血・輸液、熱傷、骨折等の医薬品や医療資材をセットにしたもの。日赤のマニュアルでは、2昼夜100名前後を想定している。

(注2) 持ち運びしやすいように、(注1)の医療セットをコンパクトに1ケースにまとめたもの。

問9. 貴院にある医薬品等のおおよその保有量を、入院患者用と外来患者用に分けて、下の欄にご記入ください。

入院患者用	H10	カテゴリなし			
	H11	・日数 n=398 (平均 7.5) 日分	・人数 n=338(平均 1,702.3	合計	575,364) 人分
	H12	・日数 n=425 (平均 7.4) 日分	・人数 n=360(平均 1,732.8	合計	623,815) 人分
	H13	・日数 n=433 (平均 7.4) 日分	・人数 n=372(平均 1,812.8	合計	674,356) 人分
外来患者用	H10	カテゴリなし			
	H11	・日数 n=366 (平均 7.4) 日分	・人数 n=313(平均 3,405.0	合計	1,065,754) 人分
	H12	・日数 n=396 (平均 7.1) 日分	・人数 n=339(平均 3,418.6	合計	1,158,920) 人分
	H13	・日数 n=403 (平均 7.2) 日分	・人数 n=348(平均 3,419.7	合計	1,190,070) 人分

問10. 貴院の救護用装備・資機材の整備状況についてお答えください。自治体や日赤支部等の所有物で、貴院に配備されているものも含め、記入してください。単位は、表中に示した単位に準じてご記入ください。また、下記資機材以外で特に整備されているものは、その他の空欄に品目名称と数量・単位をご記入ください。

資機材名	H10		H11		H12		H13		単位
	合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	
①携帯型レントゲン	保有102/420(24.3)		保有173/453(38.2)		保有194/469(41.4)		保有199/472(42.2)		個
	323	0.7	556	1.2	627	1.3	635	1.3	
②携帯用人工蘇生器	-		保有272/453(60.0)		保有325/469(69.3)		保有354/472(75.0)		器
	-	-	2,456	5.3	2,964	6.0	3,236	6.4	
③集団災害用酸素吸入器	-		保有112/453(24.7)		保有152/469(32.4)		保有166/472(35.2)		器
	-	-	1,797	3.9	2,253	4.6	2,499	5.0	
④ショックパンツ	-		保有81/453(17.9)		保有116/469(24.7)		保有123/472(26.1)		枚
	-	-	273	0.6	331	0.7	383	0.8	
⑤患者監視装置	-		保有262/453(57.8)		保有310/469(66.1)		保有331/472(70.1)		台
	-	-	7,071	15.3	8,663	17.5	8,282	16.5	
⑥トリアージタッグ	保有212/420(50.5)		保有267/453(58.9)		保有314/469(67.0)		保有337/472(71.4)		枚
	132,967	296.8	164,829	360.7	225,589	456.7	236,581	471.3	
⑦担架	保有298/420(71.0)		保有356/453(78.6)		保有390/469(83.2)		保有401/472(85.0)		台
	4,099	9.1	4,656	10.1	5,088	10.3	5,359	10.7	
⑧担架台	保有100/420(23.8)		保有101/453(22.3)		保有112/469(23.9)		保有105/472(22.2)		台
	1,211	2.7	1,011	2.2	1,004	2.0	920	1.8	
⑨簡易ベッド	-		保有219/453(48.3)		保有273/469(58.2)		保有296/472(62.7)		台
	-	-	8,914	19.3	10,446	21.1	12,413	24.8	

資機材名	H10		H11		H12		H13		単位
	合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	
⑩ストレッチャー	-		保有281/453(62.0)		保有318/469(67.8)		保有342/472(72.5)		台
	-	-	5,410	11.7	6,015	12.2	6,208	12.4	
⑪患者用毛布	保有214/420(51.0)		保有260/453(57.4)		保有282/469(60.1)		保有295/472(62.5)		枚
	36,671	81.7	49,071	107.1	52,766	107.2	53,668	106.9	
⑫天幕・テント	保有 32/420(7.6)		保有186/453(41.1)		保有213/469(45.4)		保有235/472(49.8)		張
	602	1.3	699	1.5	740	1.5	748	1.5	
⑬折畳み椅子	-		保有220/453(48.6)		保有262/469(55.9)		保有282/472(59.7)		脚
	-	-	18,922	41.0	22,700	46.0	23,815	47.3	
⑭折畳み机	保有167/420(39.8)		保有246/453(54.3)		保有281/469(59.9)		保有296/472(62.7)		台
	3,803	8.5	6,957	15.1	7,900	16.0	8,301	16.5	
⑮簡易トイレ(個人用)	保有127/420(30.2)		保有167/453(36.9)		保有191/469(40.7)		保有197/472(41.7)		個
	2,414	5.4	8,602	18.7	8,756	17.7	11,941	23.7	
⑯炊き出し釜	保有 84/420(20.0)		保有 88/453(19.4)		保有 97/469(20.7)		保有105/472(22.2)		個
	585	1.3	291	0.6	329	0.7	349	0.7	
⑰浄水装置	保有 72/420(17.1)		保有 85/453(18.8)		保有 93/469(19.8)		保有108/472(22.9)		台
	186	0.4	168	0.4	175	0.4	199	0.4	
⑱携帯型発電器	保有209/420(49.8)		保有218/453(48.1)		保有235/469(50.1)		保有253/472(53.6)		台
	707	1.6	773	1.7	884	1.8	934	1.9	
⑲投光器	保有193/420(46.0)		保有240/453(53.0)		保有258/469(55.0)		保有277/472(58.7)		台
	902	2.0	1,062	2.3	1,200	2.4	1,287	2.6	
⑳無線FAX	保有 40/420(9.5)		保有 56/453(12.4)		保有 60/469(12.8)		保有 66/472(14.0)		台
	55	0.1	78	0.2	84	0.2	90	0.2	
㉑携帯型マイク	保有189/420(45.0)		保有239/453(52.8)		保有264/469(56.3)		保有284/472(60.2)		個
	616	1.4	812	1.8	933	1.9	955	1.9	
㉒携帯ラジオ	保有159/420(37.9)		保有200/453(44.2)		保有233/469(49.7)		保有249/472(52.8)		台
	713	1.6	1,069	2.3	1,226	2.5	1,307	2.6	
㉓自転車	保有132/420(31.4)		保有161/453(35.5)		保有172/469(36.7)		保有183/472(38.8)		台
	531	1.2	614	1.3	657	1.3	705	1.4	
㉔自動二輪車・原付バイク	保有 19/420(4.5)		保有 34/453(7.5)		保有 34/469(7.2)		保有 38/472(8.1)		台
	41	0.1	56	0.1	58	0.1	69	0.1	
㉕カーナビゲーション	保有 30/420(7.1)		保有 47/453(10.4)		保有 63/469(13.4)		保有 80/472(16.9)		台
	45	0.1	69	0.1	86	0.2	107	0.2	

問11. 貴院が保有している車両台数およびそのうちで緊急車両に指定されている台数を記入してください。

	保有病院数/全体 (%)	保有台数		保有病院数/全体 (%)	うち 緊急車両指定台数
		合計	平均		
①患者搬送車 (病院救急車)	H10 保有 264/420(62.9)	合計 328/平均1.2台		H10 保有 229/420(54.5)	合計279/平均1.2台
	H11 保有 327/453(72.2)	合計 410/平均1.3台		H11 保有 243/453(53.6)	合計297/平均1.2台
	H12 保有 332/469(70.8)	合計 427/平均1.3台		H12 保有 253/469(53.9)	合計311/平均1.2台
	H13 保有 336/472(71.2)	合計 437/平均1.3台		H13 保有 262/472(55.5)	合計328/平均1.3台
②その他	H10 保有 349/420(83.1)	合計1274/平均3.7台		H10 保有 93/420(22.1)	合計187/平均2.0台
	H11 保有 375/453(82.8)	合計1450/平均3.9台		H11 保有 82/453(18.1)	合計193/平均2.4台
	H12 保有 396/469(84.4)	合計1648/平均4.2台		H12 保有 78/469(16.6)	合計195/平均2.5台
	H13 保有 394/472(83.5)	合計1736/平均4.4台		H13 保有 70/472(14.8)	合計210/平均3.0台

「平成 10～13 年度版災害基本データブック」調査票集計結果

(赤十字病院用 n=93)

【調査票ご記入に際して】

(1) この調査票には、平成〇年〇月〇日現在の状況を記入してください。

(2) この調査票は、災害時医療を担当している部署の方がご記入ください。

(3) 回答欄に選択肢があるものについては、該当する番号を○で囲んでください。該当する事項、数値については具体的に記入してください。その他の場合は()に具体的な内容を記入してください。

(4) ご記入いただいた調査票を、同封の返信用封筒にて平成〇年〇月〇日までにご投函くださいますようお願いいたします。
ご参考までに、昨年ご回答いただいた病院については、昨年の回答内容を添付しました。

(5) 赤十字病院にあって、支部所有の資機材・車両のうち、実際に病院に配備されているものについては本調査票にご記入ください。

(6) 質問の内容によっては、後日改めて電話/FAX等でお問い合わせする場合がございます。
ご回答いただいた方のお名前、電話番号等を忘れずに記入してください。

<本調査のお問い合わせ先> 日本赤十字社 災害基本データブック調査事務局

問1. 貴院の基本事項

①病院名					
②所在地					
③代表電話番号	-	-			
④夜間・休日対応電話番号	-	-			
⑤FAX 番号	-	-			
⑥ホームページURL(アドレス)					
⑦災害医療担当部署メールアドレス					
⑧災害拠点病院の種類 ※長岡赤十字病院、長野赤十字病院 はともに基幹・地域両方であるが、 基幹病院としてカウントした。	1.基幹 2.地域 3.指定外	H10 n=93 9(9.7) 46(49.5) 38(40.9)	H11 n=93 9(9.7) 46(49.5) 38(40.9)	H12 n=93 9(9.7) 47(50.5) 37(39.8)	H13 n=93 9(9.7) 47(50.5) 37(39.8)
⑨災害担当窓口:災害時に各役割を担当する部門とその電話番号を記入してください。					
1.医療担当(例:救急部)	部署名		電話番号	-	-
2.管理担当(例:総務部)	部署名		電話番号	-	-

問2. 貴院の診療科目・緊急時対応等についてお答えください。

(1) 病床数	区分	一般	結核	精神	感染症	合計(床)
		H10 n=93	395.4	7.7	19.3	13.1
許可 病床 平均	H11 n=93	398.4	7.2	19.4	1.6	427.7
	H12 n=93	404.7	6.9	17.3	1.5	430.7
	H13 n=93	401.6	6.4	17.3	1.6	428.3
	H10 n=93	383.6	4.7	18.0	5.2	412.1
実働 病床 平均	H11 n=93	386.5	4.7	18.5	1.2	412.1
	H12 n=93	392.4	4.2	15.7	1.0	413.6
	H13 n=93	390.4	4.3	15.6	1.1	412.8

(2) 診療科目 (標榜している診療科目すべてに○印をつけてください)		H10 n=93	H11 n=93	H12 n=93	H13 n=93
1. 内科		92(98.9)	92(98.9)	92(98.9)	92(98.9)
2. 精神科・神経科		43(46.2)	43(46.2)	45(48.4)	45(48.4)
3. 神経内科・心療内科		44(47.3)	43(46.2)	46(49.5)	46(49.5)
4. 呼吸器科		47(50.5)	52(55.9)	51(54.8)	53(57.0)
5. 消化器科		54(58.1)	49(52.7)	50(53.8)	51(54.8)
6. 循環器科		59(63.4)	61(65.6)	62(66.7)	63(67.7)
7. 小児科		86(92.5)	87(93.5)	86(92.5)	86(92.5)
8. 外科		88(94.6)	88(94.6)	88(94.6)	88(94.6)
9. 整形外科		87(93.5)	87(93.5)	88(94.6)	88(94.6)
10. 形成外科		30(32.3)	30(32.3)	29(31.2)	29(31.2)
11. 脳神経外科		64(68.8)	65(69.9)	65(69.9)	66(71.0)
12. 呼吸器外科		26(28.0)	20(21.5)	22(23.7)	21(22.6)
13. 心臓血管外科		33(35.5)	34(36.6)	34(36.6)	34(36.6)
14. 皮膚科		69(74.2)	71(76.3)	71(76.3)	72(77.4)
15. 泌尿器科		70(75.3)	74(79.6)	76(81.7)	76(81.7)
16. 産婦人科		79(84.9)	81(87.1)	80(86.0)	80(86.0)
17. 眼科		77(82.8)	78(83.9)	79(84.9)	79(84.9)
18. 耳鼻咽喉科		72(77.4)	75(80.6)	75(80.6)	75(80.6)
19. 放射線科		79(84.9)	82(88.2)	81(87.1)	81(87.1)
20. 麻酔科		64(68.8)	68(73.1)	69(74.2)	70(75.3)
21. 歯科・口腔外科		61(65.6)	42(45.2)	42(45.2)	42(45.2)
22. リハビリ科		(カテゴリーなし)	58(62.4)	62(66.7)	65(69.9)
23. リウマチ科		(カテゴリーなし)	11(11.8)	12(12.9)	11(11.8)
24. アレルギー科		(カテゴリーなし)	2(2.2)	3(3.2)	3(3.2)
25. その他		(カテゴリーなし)	22(23.7)	25(26.9)	27(29.0)
(3) 標榜診療科目のうち、 緊急手術の対象科目 (あてはまるものすべてに○印をつけてください)		H10 n=93	H11 n=93	H12 n=93	H13 n=93
1. 内科		30(32.3)	26(28.0)	24(25.8)	24(25.8)
2. 呼吸器科		15(16.1)	12(12.9)	12(12.9)	11(11.8)
3. 消化器科		25(26.9)	21(22.6)	19(20.4)	18(19.4)
4. 循環器科		25(26.9)	25(26.9)	25(26.9)	25(26.9)
5. 小児科		21(22.6)	17(18.3)	16(17.2)	16(17.2)
6. 外科		86(92.5)	87(93.5)	86(92.5)	87(93.5)
7. 整形外科		85(91.4)	86(92.5)	86(92.5)	85(91.4)
8. 形成外科		28(30.1)	25(26.9)	24(25.8)	24(25.8)
9. 脳神経外科		58(62.4)	62(66.7)	60(64.5)	63(67.7)
10. 呼吸器外科		23(24.7)	22(23.7)	22(23.7)	22(23.7)
11. 心臓血管外科		31(33.3)	32(34.4)	30(32.3)	29(31.2)
12. 皮膚科		42(45.2)	43(46.2)	45(48.4)	47(50.5)
13. 泌尿器科		61(65.6)	63(67.7)	64(68.8)	61(65.6)
14. 産婦人科		72(77.4)	72(77.4)	72(77.4)	73(78.5)
15. 眼科		65(69.9)	63(67.7)	64(68.8)	65(69.9)
16. 耳鼻咽喉科		61(65.6)	61(65.6)	60(64.5)	58(62.4)
17. その他		23(24.7)	16(17.2)	18(19.4)	20(21.5)
	無回答	5(5.4)	2(2.2)	4(4.3)	3(3.2)
(4) 緊急手術	①手術室の数	H10 (質問なし) H11 n=90 (平均 5.0 合計 448) 室 H12 n=90 (平均 5.1 合計 459) 室 H13 n=91 (平均 5.1 合計 466) 室			
	緊急手術可能数 (注)予定されている手術以外に緊急に手術することが可能な取扱人数	②平日日勤時間帯	夜間時間帯		
		H10(質問なし)	H10(質問なし)		
		H11 可能 86 件 (平均 3.0 合計 259)	H11 可能 85 件 (平均 2.5 合計 215)		
		H12 可能 86 件 (平均 3.0 合計 258)	H12 可能 85 件 (平均 2.7 合計 233)		
		H13 可能 87 件 (平均 3.0 合計 258)	H13 可能 86 件 (平均 2.7 合計 229)		
(5) 人工呼吸器	①人工呼吸器の全体数	②緊急時に使用できる人工呼吸器数			
	②(注)日常使用以外で緊急使用が可能なものの数	H10(質問なし)		H10(質問なし)	
		H11 n=90 (平均 14.4 合計 1,293) 器		H11 n=80 (平均 5.7 合計 452) 器	
		H12 n=90 (平均 15.4 合計 1,390) 器		H12 n=82 (平均 4.8 合計 391) 器	
		H13 n=90 (平均 15.7 合計 1,416) 器		H13 n=86 (平均 4.9 合計 419) 器	

(6) 特殊診療体制(あてはまるものすべてに○印をつけ、病床数を記入してください)		H10 n=93		H11 n=93		H12 n=93		H13 n=93				
	1. ICU/CCU	44 (47.3)	8.1床	38 (40.9)	8.3床	37 (39.8)	8.2床	37 (39.8)	8.9床			
	2. HCU	12 (12.9)	16.8床	16 (17.2)	17.6床	21 (22.6)	14.8床	26 (28.0)	16.7床			
	3. NICU	23 (24.7)	10.4床	22 (23.7)	8.8床	22 (23.7)	8.7床	23 (24.7)	9.3床			
	4. 人工透析	60 (64.5)	21.1床	60 (64.5)	21.6床	61 (65.6)	22.5床	61 (65.6)	22.8床			
	5. 熱傷治療	13 (14.0)	1.6床	14 (15.1)	1.4床	16 (17.2)	1.4床	17 (18.3)	1.4床			
	6. 救命救急センター	25 (26.9)	34.7床	24 (25.8)	39.3床	24 (25.8)	39.9床	24 (25.8)	40.9床			
	7. メンタルケア	8 (8.6)		10 (10.8)		10 (10.8)		11 (11.8)				
	無回答	21 (22.6)		23 (24.7)		20 (21.5)		20 (21.5)				
(7) 日常救急患者取扱数	①各年度の1日あたり平均				②各年9月取扱数(計)							
②(注)救急車で搬入された患者、診療時間外に扱った患者、診療時間内であっても、医師の判断により救急患者として扱った患者	H10 n=89	(平均 30.5)	人	H10 n=89	(平均 781.2)	人	H11 n=89	(平均 786.9)	人			
	H11 n=92	(平均 27.9)	人	H11 n=89	(平均 913.3)	人	H12 n=90	(平均 1,051.5)	人			
	H12 n=91	(平均 30.3)	人	H12 n=90			H13 n=92					
	H13 n=91	(平均 31.3)	人	H13 n=92								
(8) 災害時に重症者などの治療を行えるスペースの有無	H10 n=93	H11 n=93		H12 n=93		H13 n=93						
1. あり →総面積(m ²)	89(95.7) n=85 671.0	89(95.7) n=87 549.6		90(96.8) n=88 656.6		88(94.6) n=88 664.8						
(注)災害時に治療・入院を必要とする患者を収容できる病床外のスペース(講堂、会議室、食堂等)												
2. なし	4(4.3)	3(3.2)		1(1.1)		4(4.3)						
無回答	-	1(1.1)		2(2.2)		1(1.1)						
(9) 災害時入院可能数	H10 n=80	(平均 147.9)	合計 11,832)床	H11 n=89	(平均 150.6)	合計 13,399)床	H12 n=90	(平均 153.4)	合計 13,810)床			
(注)病室以外への収容(会議室等に簡易ベッド・布団などを設置)を含むものとし、災害時に新たに収容可能な病床数分を記載のこと。実働病床数を超えても構わない。	H13 n=90	(平均 134.7)	合計 12,126)床									
(10) 非常時に患者に提供できる食糧の保有量	①病院独自:保有量											
	H10 n=73	(平均 1,437.5 食)	n=67	(平均 2.7 日分)	H11 n=92	(平均 1,177.5 食)	n=92	(平均 1.8 日分)	H12 n=82	(平均 1,380.0 食)	n=86	(平均 2.1 日分)
	H13 n=84	(平均 1,464.8 食)	n=88	(平均 2.1 日分)								
	②外部委託:保有量											
	H10 n=17	(平均 354.8 食)	n=12	(平均 1.3 日分)	H11 n=89	(平均 87.7 食)	n=89	(平均 0.2 日分)	H12 n=85	(平均 120.0 食)	n=86	(平均 0.2 日分)
	H13 n=86	(平均 147.7 食)	n=88	(平均 0.2 日分)								

問3. 貴院が災害時に医療を行う時の主な建物およびスペースについてお答えください。

①土地・病院建物面積 (小数点以下第1位まで)	土地	H10 n=92 平均 23,369.7 m ²	H11 n=92 平均 24,052.8 m ²	H12 n=93 平均 23,666.3 m ²	H13 n=93 平均 23,631.2 m ²
	建物建築面積 (延床面積ではない)			n=92 平均 14,303.9 m ²	n=93 平均 13,310.6 m ²
②主要建物建築年(西暦)		H10 n=92 (1981)年	H11 n=90 (1983)年	H12 n=92 (1984)年	H13 n=93 (1985)年
③耐震構造 の有無	1. すべて耐震構造化している	H10 n=93 35(37.6)	H11 n=93 32(34.4)	H12 n=93 33(35.5)	H13 n=93 37(39.8)
	2. 一部の建物を耐震構造化	37(39.8)	42(45.2)	44(47.3)	42(45.2)
	3. 全く耐震化していない	19(20.4)	18(19.4)	15(16.1)	13(14.0)
	無回答	2(2.2)	1(1.1)	1(1.1)	1(1.1)
④ヘリポートの 有無 (あてはまるもの の1つに○印)	1. 建物屋上にあり	H10 n=93 7(7.5)	H11 n=93 7(7.5)	H12 n=93 9(9.7)	H13 n=93 10(10.8)
	2. 敷地内にあり	1(1.1)	2(2.2)	3(3.2)	4(4.3)
	3. 敷地外にあり →距離	26(28.0) 平均 1305.8m	29(31.2) 平均 1587.9m	30(32.3) 平均 2191.7m	31(33.3) 平均 2286.1m
	4. 検討中	6(6.5)	5(5.4)	2(2.2)	2(2.2)
	5. なし	53(57.0)	50(53.8)	48(51.6)	46(49.5)
	無回答	-	-	1(1.1)	-

問4. ライフラインの設備についてお答えください。

(1)電気	①平常時契約電力量	H10 n=92 (平均 1,111.7)Kw	H11 n=93 (平均 999.8)Kw	H12 n=93 (平均 1,010.7)Kw	H13 n=92 (平均 1,009.9)Kw
	②自家発電装置 (主なものひとつ)	H10 n=93 91(97.8) 482.2Kw×39.6h	H11 n=93 93(100.0) 486.4Kw×37.5h	H12 n=93 93(100.0) 492.9Kw×35.7h	H13 n=93 93(100.0) 503.5Kw×37.3h
(2)医療ガス支援のための体制 (注)医療ガス関連業者との契約等により非常災害時に24時間体制で優先的な補充を受けることができる体制	1. あり	H10 n=93 39(41.9)	H11 n=93 49(52.7)	H12 n=93 48(51.6)	H13 n=93 50(53.8)
	2. なし	52(55.9)	44(47.3)	43(46.2)	38(40.9)
	無回答	2(2.2)	-	2(2.2)	5(5.4)
(3)医療用ないしは飲用水		H10	H11	H12	H13
	1日あたりの平均使用量	n=91 326.9m ³ /日	n=92 334.9m ³ /日	n=92 338.0m ³ /日	n=92 295.6m ³ /日
	院内の受水槽等の貯水量	n=91 880.7m ³	n=92 872.7m ³	n=92 880.4m ³	n=92 872.0m ³
	1日あたりの自家井戸水利用可能量		n=63 192.9m ³ /日	n=62 233.2m ³ /日	n=64 225.4m ³ /日

問5. 院内の災害対応についてお答えください。

①院内災害対応計画の有無	1. あり	H10 n=93 40(43.0)	H11 n=93 42(45.2)	H12 n=93 49(52.7)	H13 n=93 55(59.1)
	2. 検討中	35(37.6)	40(43.0)	40(43.0)	34(36.6)
	3. なし	16(17.2)	11(11.8)	4(4.3)	4(4.3)
	無回答	2(2.2)	-	-	-
②院内災害対応マニュアルの有無	1. あり	H10 n=93 38(40.9)	H11 n=93 42(45.2)	H12 n=93 49(52.7)	H13 n=93 52(55.9)
	2. 検討中	37(39.8)	39(41.9)	39(41.9)	38(40.9)
	3. なし	17(18.3)	12(12.9)	5(5.4)	3(3.2)
	無回答	1(1.1)	-	-	-
③災害時の医師・看護婦等動員計画	1. あり	H10	H11	H12 n=93 53(57.0)	H13 n=93 54(58.1)
	2. 検討中			28(30.1)	29(31.2)
	3. なし			6(6.5)	6(6.5)
	無回答			6(6.5)	4(4.3)
④災害拠点病院連絡会議	1. 参加している	H10	H11 n=93 25(26.9)	H12 n=93 34(36.6)	H13 n=93 38(40.9)
	2. 準備中		7(7.5)	4(4.3)	3(3.2)
	3. 未定		(未定+なし)	24(25.8)	19(20.4)
	4. なし		50(53.8)	27(29.0)	30(32.3)
⑤過去3年以内に、貴院で独自のしは他機関と共同で実施した訓練(あてはまるものすべてに○印)	1. 火災訓練	H10 n=93 91(97.8)	H11 n=93 91(97.8)	H12 n=93 91(97.8)	H13 n=93 92(98.9)
	2. 避難訓練	85(91.4)	88(94.6)	89(95.7)	89(95.7)
	3. トリアージ訓練	42(45.2)	54(58.1)	63(67.7)	71(76.3)
	4. 情報収集・伝達訓練	60(64.5)	59(63.4)	65(69.9)	69(74.2)
	5. 本部運営訓練	37(39.8)	33(35.5)	38(40.9)	39(41.9)
	6. 患者搬送訓練	72(77.4)	72(77.4)	81(87.1)	83(89.2)
	7. 大量患者救急対応訓練	23(24.7)	33(35.5)	39(41.9)	51(54.8)
	8. 地震防災訓練	28(30.1)	34(36.6)	41(44.1)	46(49.5)
	9. 机上訓練	19(20.4)	21(22.6)	25(26.9)	31(33.3)
	10. その他	6(6.5)	14(15.1)	16(17.2)	19(20.4)
無回答	-	-	-	-	

問6-1. 院内の体制についてお答えください。

内訳(注1)	平日日勤帯 平均(人)				夜間帯(注2) 平均(人)				災害時動員可能数(注3) 平均(人)			
	H10	H11	H12	H13	H10	H11	H12	H13	H10	H11	H12	H13
① 医師数	61.3	56.3	57.4	58.7	3.7	3.1	3.0	3.3	34.4	43.0	40.0	40.7
② 看護婦数	237.9	235.2	231.7	233.3	18.3	37.4	41.0	45.7	151.3	163.6	168.7	169.7
③ 薬剤師数	14.0	13.9	13.5	13.3	0.6	0.6	0.6	0.6	8.9	15.8	9.3	9.2
④放射線技師数	11.4	11.6	11.9	12.0	0.6	0.6	0.7	0.7	7.5	14.1	8.4	8.6
⑤検査技師数	21.0	20.7	20.5	20.6	0.8	0.6	0.7	0.8	13.1	19.3	13.6	14.1
⑥その他職員数	129.5	127.9	123.6	128.0	2.4	2.4	2.5	2.6	73.5	84.6	79.7	81.8

(注1)「内訳」にある職種別の職員数は、常勤職員数をご記入ください(1週間の勤務時間が、正職員と同じ嘱託・臨時職員を含む)。

(注2)「夜間帯」については、準夜勤・深夜勤等の夜間勤務者のほか当直者数も算入してください。

(注3)「災害時動員可能数」は、夜間帯に大災害が発生したが、貴院は被災していない時、病院へ招集することが可能な職員の人数を記入してください。

問6-2. この3年間のうちに、トリアージを経験した人、または研修を受けた人の数(医師・看護婦等の職種は問いません)

H10	経験者有 n=79(平均 35.4)	合計 2,796人
H11	経験者有 n=89(平均 38.4)	合計 3,415人
H12	経験者有 n=87(平均 48.9)	合計 4,250人
H13	経験者有 n=91(平均 57.7)	合計 5,255人

問6-3. 看護学校または隣接する関連大学、短大等は併設されていますか。

	H10 n=93	H11 n=93	H12 n=93	H13 n=93
1. 併設している	38(40.9)	38(40.9)	39(41.9)	39(41.9)
→学生または生徒数	n=37 113.7人	n=38 127.2人	n=39 127.5人	n=38 127.6人
2. 併設していない	55(59.1)	55(59.1)	54(58.1)	53(57.0)
無回答	-	-	-	1(1.1)

問7. 災害時の情報伝達手段(院内外)についておたずねします。

		H10 n=93	H11 n=93	H12 n=93	H13 n=93
① 院内の情報伝達手段 (口頭は除き、あるものすべてに○印)	1. 内線電話	91(97.8)	93(100.0)	92(98.9)	93(100.0)
	2. 携帯電話・PHS	28(30.1)	44(47.3)	53(57.0)	63(67.7)
	3. ポケットベル	(3~5の	69(74.2)	73(78.5)	72(77.4)
	4. トランシーバー	カテゴリなし)	21(22.6)	28(30.1)	34(36.6)
	5. 館内非常放送		86(92.5)	90(96.8)	91(97.8)
	6. その他	47(50.5)	3(3.2)	5(5.4)	6(6.5)
	無回答	-	-	-	-
② 外部との情報伝達手段 (あるものすべてに○印をつけ、()内には具体的に数字等を記入してください)	1. 災害時優先電話	H10	H11 n=93	H12 n=93	H13 n=93
	2. 県防災行政無線	カテゴリなし	79(84.9)	79(84.9)	81(87.1)
	3. (市町村)防災行政無線		20(21.5)	19(20.4)	21(22.6)
	4. 都道府県・市町村との専用電話		12(12.9)	14(15.1)	15(16.1)
	5. 業務用無線・MCA無線		5(5.4)	4(4.3)	3(3.2)
	6. 赤十字社無線		10(10.8)	10(10.8)	11(11.8)
	7. 衛星携帯電話		66(71.0)	71(76.3)	71(76.3)
	8. 救急医療情報端末(注1)		8(8.6)	8(8.6)	13(14.0)
	9. 広域災害・救急医療情報端末(注2)		54(58.1)	58(62.4)	56(60.2)
	10. その他		33(35.5)	45(48.4)	51(54.8)
	無回答	3(3.2)	4(4.3)	5(5.4)	
		1(1.1)	1(1.1)	-	

(注1) 救急診療担当病院から、消防署の救急指令センターに救急患者の受入れ状況などを連絡するホットライン

(注2) 医療機関、各自治体に設置され、災害発生時の被災情報や応援要請等をリアルタイムで収集交換して救援活動をサポートする専用システム(インターネットによる提供ではない)

問8. 災害時の救護班派遣体制についておたずねします。

① 救護班数/編成内訳	・救護班数	H10 n=92 (平均 4.6)班
		H11 n=93 (平均 4.5)班
		H12 n=93 (平均 4.5)班
		H13 n=93 (平均 4.6)班
	・救護班の構成人員(平均的な1個班あたりの人数)	
		H10 H11 H12 H13
		n=93 n=93 n=93 n=93
	医師	1.4 1.4 1.3 1.1
	看護婦	4.1 4.3 3.9 3.2
	事務職	2.2 2.1 1.9 1.6
	その他	0.8 1.0 0.8 0.6
② 貴院付近で大災害が発生したが、貴院は被災していない時、何時間で第1班目を編成可能ですか。		
1. 平日日勤時間帯	H10 n=91 (平均 1.2)時間	
	H11 n=91 (平均 1.0)時間	
	H12 n=92 (平均 0.9)時間	
	H13 n=93 (平均 0.9)時間	
2. 夜間時間帯	H10 n=90 (平均 2.3)時間	
	H11 n=91 (平均 2.0)時間	
	H12 n=92 (平均 1.9)時間	
	H13 n=93 (平均 1.9)時間	

③救護班としての統一被服、腕章など(表示・識別・マークなど)	1. 都道府県指定	H10 カテゴリなし	H11 n=93	H12 n=93	H13 n=93			
	2. 日赤本社・支部指定					-	-	-
	3. 市区町村指定					91(97.8)	93(100.0)	91(97.8)
	4. 医師会指定					-	-	-
	5. 病院独自					-	1(1.1)	1(1.1)
	6. その他					-	1(1.1)	1(1.1)
	7. ない					-	1(1.1)	-
	無回答					1(1.1)	-	2(2.2)
④救護班が携行する医療品		H10	H11	H12	H13			
	1. 医療セット(注1)	n=92 2.8	n=93 2.4	n=90 2.4	n=91 2.4			
	2. 携帯型医療セット(注2)	n=92 1.7	n=89 1.5	n=90 1.5	n=92 1.5			

(注1) 災害や大規模事故時の初期集中治療期のため、蘇生、創傷、輸血・輸液、熱傷、骨折等の医薬品や医療資材をセットにしたもの。日赤のマニュアルでは、2昼夜100名前後を想定している。

(注2) 持ち運びしやすいように、(注1)の医療セットをコンパクトに1ケースにまとめたもの。

問9. 貴院にある医薬品等のおおよその保有量を、入院患者用と外来患者用に分けて、下の欄にご記入ください。

入院患者用	H10	カテゴリなし		
	H11	・日数 n=87(平均 7.2)日分	・人数 n=78(平均 1,398.1)	合計 109,049)人分
	H12	・日数 n=90(平均 7.3)日分	・人数 n=84(平均 1,771.6)	合計 148,815)人分
	H13	・日数 n=90(平均 7.3)日分	・人数 n=84(平均 1,694.1)	合計 142,303)人分
外来患者用	H10	カテゴリなし		
	H11	・日数 n=81(平均 7.0)日分	・人数 n=74(平均 3,375.5)	合計 249,789)人分
	H12	・日数 n=86(平均 7.1)日分	・人数 n=81(平均 4,097.3)	合計 331,885)人分
	H13	・日数 n=87(平均 7.0)日分	・人数 n=82(平均 3,979.0)	合計 326,274)人分

問10. 貴院の救護用装備・資機材の整備状況についてお答えください。自治体や日赤支部等の所有物で、貴院に配備されているものも含め、記入してください。単位は、表中に示した単位に準じてご記入ください。また、下記資機材以外で特に整備されているものは、その他の空欄に品目名称と数量・単位をご記入ください。

資機材名	H10		H11		H12		H13		単位
	合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	
①携帯型レントゲン	保有4/93(4.3)		保有10/93(10.8)		保有9/93(9.7)		保有7/93(7.5)		個
	6	1.5	21	2.1	24	2.7	16	2.3	
②携帯用人工蘇生器	-		保有60/93(64.5)		保有67/93(72)		保有75/93(80.6)		器
	-	-	288	4.8	333	5	325	4.3	
③集団災害用酸素吸入器	-		保有37/93(39.8)		保有37/93(39.8)		保有40/93(43)		器
	-	-	233	6.3	272	7.4	287	7.2	
④ショックパンツ	-		保有15/93(16.1)		保有17/93(18.3)		保有19/93(20.4)		枚
	-	-	26	1.7	29	1.7	32	1.7	
⑤患者監視装置	-		保有23/93(24.7)		保有32/93(34.4)		保有36/93(38.7)		台
	-	-	553	24	584	18.3	553	15.4	
⑥トリアージタグ	保有73/93(78.5)		保有79/93(84.9)		保有84/93(90.3)		保有84/93(90.3)		枚
	37,789	517.7	42,105	533	45,650	543.5	48,930	582.5	
⑦担架	保有69/93(74.2)		保有71/93(76.3)		保有76/93(81.7)		保有78/93(83.9)		台
	729	10.6	759	10.7	826	10.9	788	10.1	
⑧担架台	保有50/93(53.8)		保有52/93(55.9)		保有57/93(61.3)		保有55/93(59.1)		台
	238	4.8	239	4.6	254	4.5	235	4.3	
⑨簡易ベッド	-		保有61/93(65.6)		保有68/93(73.1)		保有70/93(75.3)		台
	-	-	2,066	33.9	2,697	39.7	2,699	38.6	

資機材名	H10		H11		H12		H13		単位
	合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	
⑩ストレッチャー	-		保有38/93(40.9)		保有46/93(49.5)		保有48/93(51.6)		
	-	-	439	11.6	430	9.3	382	8	台
⑪患者用毛布	保有66/93(71)		保有68/93(73.1)		保有72/93(77.4)		保有70/93(75.3)		
	10,389	157.4	11,567	170.1	13,989	194.3	12,606	180.1	枚
⑫天幕・テント	保有58/93(62.4)		保有67/93(72)		保有71/93(76.3)		保有71/93(76.3)		
	179	3.1	211	3.1	220	3.1	229	3.2	張
⑬折畳み椅子	-		保有40/93(43)		保有42/93(45.2)		保有46/93(49.5)		
	-	-	712	17.8	698	16.6	762	16.6	脚
⑭折畳み机	保有51/93(54.8)		保有54/93(58.1)		保有56/93(60.2)		保有57/93(61.3)		
	146	2.9	179	3.3	257	4.6	285	5.0	台
⑮簡易トイレ(個人用)	保有41/93(44.1)		保有47/93(50.5)		保有49/93(52.7)		保有48/93(51.6)		
	401	9.8	440	9.4	454	9.3	478	10.0	個
⑯炊き出し釜	保有23/93(24.7)		保有23/93(24.7)		保有26/93(28)		保有24/93(25.8)		
	58	2.5	58	2.5	66	2.5	58	2.4	個
⑰浄水装置	保有23/93(24.7)		保有22/93(23.7)		保有23/93(24.7)		保有24/93(25.8)		
	49	2.1	50	2.3	49	2.1	49	2.0	台
⑱携帯型発電器	保有65/93(69.9)		保有63/93(67.7)		保有69/93(74.2)		保有67/93(72)		
	178	2.7	177	2.8	197	2.9	189	2.8	台
⑲投光器	保有64/93(68.8)		保有64/93(68.8)		保有66/93(71)		保有68/93(73.1)		
	251	3.9	234	3.7	244	3.7	255	3.8	台
⑳無線FAX	保有6/93(6.5)		保有9/93(9.7)		保有11/93(11.8)		保有11/93(11.8)		
	6	1.0	11	1.2	13	1.2	13	1.2	台
㉑携帯型マイク	保有51/93(54.8)		保有60/93(64.5)		保有63/93(67.7)		保有62/93(66.7)		
	140	2.7	159	2.7	179	2.8	177	2.9	個
㉒携帯ラジオ	保有46/93(49.5)		保有49/93(52.7)		保有56/93(60.2)		保有58/93(62.4)		
	152	3.3	155	3.2	164	2.9	114	2.0	台
㉓自転車	保有20/93(21.5)		保有22/93(23.7)		保有19/93(20.4)		保有22/93(23.7)		
	34	1.7	34	1.5	30	1.6	35	1.6	台
㉔自動二輪車・原付バイク	保有6/93(6.5)		保有10/93(10.8)		保有11/93(11.8)		保有11/93(11.8)		
	8	1.3	11	1.1	12	1.1	14	1.3	台
㉕カーナビゲーション	保有16/93(17.2)		保有22/93(23.7)		保有29/93(31.2)		保有30/93(32.3)		
	20	1.3	30	1.4	38	1.3	40	1.3	台

問11. 貴院が保有している車両台数およびそのうちで緊急車両に指定されている台数を記入してください。

	保有病院数/全体 (%)		保有台数		保有病院数/全体 (%)		うち 緊急車両指定台数	
	H10	H11	H10	H11	H10	H11	H10	H11
①患者搬送車 (病院救急車)	保有85/93(91.4)	保有85/93(91.4)	合計 118/平均1.4台	合計 117/平均1.4台	保有79/93(84.9)	保有81/93(87.1)	合計 108/平均1.4台	合計 107/平均1.3台
	保有84/93(90.3)	保有85/93(91.4)	合計 121/平均1.4台	合計 123/平均1.4台	保有81/93(87.1)	保有82/93(88.2)	合計 107/平均1.3台	合計 112/平均1.4台
	保有80/93(86.0)	保有81/93(87.1)	合計 355/平均4.4台	合計 389/平均4.8台	保有20/93(21.5)	保有19/93(20.4)	合計 25/平均1.3台	合計 26/平均1.4台
	保有83/93(89.2)	保有84/93(90.3)	合計 435/平均5.2台	合計 479/平均5.7台	保有23/93(24.7)	保有20/93(21.5)	合計 38/平均1.7台	合計 34/平均1.7台

「平成10～13年度災害基本データブック」調査票集計結果

(日赤本社・支部用 n=48/本社1, 支部 47)

【調査票ご記入に際して】

- (1) この調査票は、**災害救護を担当している部署の方が**ご記入ください。
- (2) 回答欄に選択肢があるものについては、該当する番号を○で囲んでください。該当する事項、数値については具体的にご記入ください。その他の場合は()に具体的な内容をご記入ください。
- (3) 質問によっては、お手数ですが資料を添付し、同封の返信用封筒にて**平成〇年〇月〇日**までにご投函くださいますようお願いいたします。
ご参考までに、貴支部の昨年度回答を添付しました。
- (4) 支部所有の資機材、車両等であっても、実際には**管内の赤十字病院等に**配備しているものについては**本調査票に記入しないでください。**
- (5) **問6、問8、問9については、管内の血液センターも含めてご記入ください。**
- (6) 質問の内容によっては、後日改めて電話/FAX等でお問い合わせする場合がございます。
ご回答いただいた方のお名前、電話番号等を忘れずにご記入ください。
＜本調査のお問い合わせ先＞ 日本赤十字社 災害基本データブック調査事務局

問1. 貴支部の基本事項

①支部名	
②所在地	〒 — 都・道・府・県 郡・市
③代表電話番号	— —
④夜間・休日対応電話番号	— —
⑤災害救護担当部署直通電話番号	— —
⑥災害救護担当部署 FAX 番号	— —
⑦ホームページURL(アドレス)	
⑧災害救護担当部署インターネットメールアドレス	
⑨職員数	H10 n=47 平均 15.0 人 (最大値 51/最小値 7)
	H11 n=47 平均 15.3 人 (最大値 52/最小値 7)
	H12 n=47 平均 15.5 人 (最大値 51/最小値 7)
	H13 n=47 平均 15.1 人 (最大値 56/最小値 7)
⑩管内病院数	H10 n=48 平均 1.9 カ所 (最大値 10/最小値 0)
	H11 n=48 平均 1.9 カ所 (最大値 10/最小値 0)
	H12 n=48 平均 1.9 カ所 (最大値 10/最小値 0)
	H13 n=48 平均 1.9 カ所 (最大値 10/最小値 0)
⑪管内福祉施設数	H10 n=48 平均 0.7 カ所 (最大値 4/最小値 0)
	H11 n=48 平均 0.7 カ所 (最大値 4/最小値 0)
	H12 n=48 平均 0.7 カ所 (最大値 4/最小値 0)
	H13 n=48 平均 0.7 カ所 (最大値 4/最小値 0)
⑫管内血液センター数	H10 n=48 平均 1.6 カ所 (最大値 5/最小値 1)
	H11 n=48 平均 1.6 カ所 (最大値 5/最小値 1)
	H12 n=48 平均 1.6 カ所 (最大値 5/最小値 1)
	H13 n=48 平均 1.6 カ所 (最大値 6/最小値 1)
⑬管内看護専門学校数	H10 n=48 平均 0.8 校 (最大値 5/最小値 0)
	H11 n=48 平均 0.7 校 (最大値 5/最小値 0)
	H12 n=48 平均 0.7 校 (最大値 5/最小値 0)
	H13 n=48 平均 0.7 校 (最大値 5/最小値 0)
⑭管内看護短期大学校数	H10 n=48 平均 0.1 校 (最大値 1/最小値 0)
	H11 n=48 平均 0.1 校 (最大値 1/最小値 0)
	H12 n=48 平均 0.1 校 (最大値 1/最小値 0)
	H13 n=48 平均 0.1 校 (最大値 1/最小値 0)

問3. 救護班や奉仕団、防災ボランティアの体制についてお答えください。

①救護班編成数	常備	H10	n=48 (平均 9.8)班 (最大値 21/最小値 1)		
		H11	n=48 (平均 9.6)班 (最大値 21/最小値 1)		
	初動期	H12	n=48 (平均 9.8)班 (最大値 21/最小値 3)		
		H13	n=48 (平均 9.8)班 (最大値 21/最小値 3)		
②災害救助に係わる奉仕団登録数及び団員数	地域奉仕団	種類	合計		平均
			H10	団数	2,894
		H10	団員数	3,623,028	77,085.7
			H11	団数	3,008
		H11	団員数	3,748,745	79,760.5
			H12	団数	3,018
		H12	団員数	3,735,120	79,470.6
			H13	団数	3,019
		H13	団員数	3,690,012	78,510.9
			青年奉仕団	H10	団数
	H10	団員数			6,043
			H11	団数	181
	H11			団員数	6,217
			H12	団数	171
	H12			団員数	5,961
			H13	団数	169
	H13			団員数	6,857
			特殊奉仕団	H10	団数
	H10				団員数
			H11	団数	561
	H11			団員数	31,805
			H12	団数	577
	H12			団員数	32,406
			H13	団数	591
	H13			団員数	33,911
		③特殊奉仕団の活動分野で、該当するものに○印をつけてください。	1. アマチュア無線 2. 情報収集・伝達 3. 救急法 4. 家庭看護・介護 5. 献血 6. 手話・点訳 7. 外国語通訳・翻訳 8. 炊き出し 9. 救援物資輸送 10. バイク 11. ヘリコプター、飛行機 12. ナビゲーター 13. 水上・海上安全法 14. その他 無回答	H10 カテゴリ なし	H11 n=48
46(95.8)	46(95.8)				47(97.9)
30(62.5)	33(68.8)				33(68.8)
43(89.6)	43(89.6)				43(89.6)
16(33.3)	19(39.6)				20(41.7)
12(25.0)	15(31.3)				15(31.3)
17(35.4)	17(35.4)				18(37.5)
6(12.5)	7(14.6)				8(16.7)
27(56.3)	28(58.3)				30(62.5)
32(66.7)	31(64.6)				34(70.8)
5(10.4)	8(16.7)				10(20.8)
8(16.7)	10(20.8)				10(20.8)
21(43.8)	23(47.9)				26(54.2)
36(75.0)	35(72.9)				35(72.9)
10(20.8)	7(14.6)	12(25.0)			
1(2.1)		-			

④防災ボランティア登録人数			合計	平均	
	リーダー	H10		378	8.0
		H11		428	9.1
		H12		509	10.8
		H13		557	11.9
	地区リーダー	H10		1,403	29.9
		H11		1,587	33.8
		H12		1,618	34.4
		H13		1,810	38.5
	個人登録	H10		11,499	244.7
		H11		15,089	321.0
		H12		17,905	381.0
		H13		19,724	419.7

問4. 救護装備・資機材等の保有状況の数値を記入してください。ただし、赤十字病院に配備しているものは除いてください。

①班装備

資機材名	(単位)		合計	平均
1. 天幕	張	H10	1,479	30.8
		H11	1,107	23.1
		H12	1,102	23.0
		H13	1,117	23.3
2. エアーテント	張	H10	116	2.4
		H11	115	2.4
		H12	113	2.4
		H13	115	2.4
3.ブルーシート・防水シート	枚	H10	2,465	52.5
		H11	2,622	54.6
		H12	1,102	23.0
		H13	952	19.8
4. 担架	台	H10	1,454	30.3
		H11	1,469	30.6
		H12	1,365	28.4
		H13	1,514	31.5
5. 担架架台	台	H10	356	7.4
		H11	374	8.0
		H12	374	7.8
		H13	379	7.9
6. 折畳寝台	台	H10	3,216	67.0
		H11	4,276	89.1
		H12	3,229	67.3
		H13	3,346	69.7
7. 折畳椅子	脚	H10	990	20.6
		H11	1,153	24.0
		H12	1,370	28.5
		H13	1,453	30.3
8. 折畳机	台	H10		
		H11	490	10.2
		H12	548	11.4
		H13	636	13.4
9. 携帯型マイク	個	H10	183	3.8
		H11	239	5.0
		H12	217	4.5
		H13	232	4.8

資機材名	(単位)		合計	平均
10.携帯ラジオ	個	H10	416	8.7
		H11	316	6.6
		H12	315	6.6
		H13	224	4.7
11. 発電機	機	H10	368	7.7
		H11	496	10.3
		H12	413	8.6
		H13	404	8.4
12. 投光器	個	H10	441	9.2
		H11	486	10.1
		H12	510	10.6
		H13	506	10.5
13. ポリタンク	個	H10		
		H11	779	16.6
		H12	928	19.3
		H13	921	19.2
14. 浄水器	個	H10	89	1.9
		H11	76	1.6
		H12	73	1.5
		H13	80	1.7
15. 無線FAX	台	H10	17	0.4
		H11	19	0.4
		H12	24	0.5
		H13	30	0.6
16. カーナビゲーション	個	H10	68	1.4
		H11	74	1.5
		H12	95	2.0
		H13	119	2.5
17. 自転車	台	H10	65	1.4
		H11	89	1.9
		H12	58	1.2
		H13	54	1.1
18. 自動二輪車・原付バイク	台	H10	16	0.3
		H11	23	0.5
		H12	20	0.4
		H13	21	0.4

資機材名	(単位)		合計	平均
19. 医療セット	セット	H10	177	3.7
		H11	150	3.1
		H12	118	2.5
		H13	123	2.6
20. 携帯型医療セット	セット	H10	118	2.5
		H11	111	2.3
		H12	68	1.4
		H13	73	1.5
21. トリアージタグ	枚	H10	24,305	506.4
		H11	18,530	394.3
		H12	21,290	443.5
		H13	21,670	451.5
22. 患者用毛布	枚	H10	10,883	226.7
		H11	11,614	242.0
		H12	11,771	245.2
		H13	11,940	248.8
23. 炊き出し釜	個	H10	474	9.9
		H11	417	8.7
		H12	438	9.1
		H13	449	9.4
24. 簡易トイレ(個人用)	個	H10	853	17.8
		H11	740	15.4
		H12	1,101	22.9
		H13	1,060	22.1

資機材名	(単位)		合計	平均
25. 救護班要員マ ニユアル	部	H10	1,839	38.3
		H11	1,386	28.9
		H12	1,479	30.8
		H13	1,531	31.9
26. 地図(管内)	部	H10	168	3.5
		H11	175	3.6
		H12	190	4.0
		H13	190	4.0
27. 地図(全国)	部	H10	66	1.4
		H11	61	1.3
		H12	58	1.2
		H13	63	1.3
28. 工具セット	セット	H10	73	1.5
		H11	90	1.9
		H12	55	1.1
		H13	65	1.4
29. ロープ	m	H10	5,082	105.9
		H11	5,272	109.8
		H12	3,922	81.7
		H13	6,977	145.4

②個人装備

資機材名	(単位)		合計	平均
1. 作業服	着	H10	6,243	130.1
		H11	6,497	135.4
		H12	6,049	126.0
		H13	5,890	125.3
2. 作業帽	個	H10	5,477	114.1
		H11	5,478	114.1
		H12	5,208	108.5
		H13	5,514	117.3
3. ヘルメット	個	H10	3,418	71.2
		H11	4,568	95.2
		H12	3,646	76.0
		H13	3,581	76.2
4. 反射チョッキ	着	H10	2,573	53.6
		H11	2,730	56.9
		H12	2,527	52.6
		H13	2,488	52.9
5. 編み上げ靴・安全靴	足	H10	4,409	91.9
		H11	4,226	88.0
		H12	4,185	87.2
		H13	4,328	92.1

資機材名	(単位)		合計	平均
6. 雨衣	着	H10	2,646	55.1
		H11	2,456	51.2
		H12	2,581	53.8
		H13	2,958	62.9
7. 水筒	個	H10	1,858	39.5
		H11	1,658	34.5
		H12	1,581	32.9
		H13	1,429	30.4
8. 防寒着	着	H10	2,125	44.3
		H11	2,164	45.1
		H12	2,159	45.0
		H13	2,288	48.7
9. ヘッドランプ・懐中 電灯	個	H10		
		H11	980	20.4
		H12	1,118	23.3
		H13	1,174	25.0
10. 寝袋	個	H10		
		H11	1,382	28.8
		H12	1,517	31.6
		H13	1,571	33.4

問5. 被災者等向けの救援物資の保有状況について、以下の表に示す内容の該当する箇所に数値を記入してください。また、これ以外に整備されているものは「その他」の欄に具体名と数量・単位を記入してください。なお、日赤支部が地区・分区に分置している救援物資も含め、問4で既述した職員用や赤十字病院配備分は除いてください。

(注) (1)「購入」とは、自己財源や補助金等で備蓄しているものです。

自 己 : 自己の財源をもって購入している物資(本社分も含む)

補 助 : 公益補助金などにより購入している物資(本社から支部への管理替分も含む)

(2)「契約」とは業界団体や業者等との契約に基づくもので、特定数量を、契約先業界団体や業者等が常に備蓄ないしは流通備蓄しているものです。なるべく数値を記入してください。

※(回答注) 保有・保管数については、(1)(2)には回答せず、(3)のみに回答した機関もあり、必ずしも(1)と(2)の合計数が(3)に一致するわけではない。

品目			備蓄形態・財源							
			(1)購入				(2)契約		(3)総備蓄数 ((1)+(2))	
			自己		補助		合計	平均	合計	平均
			合計	平均	合計	平均				
5-1 住居・寝具類	1.テント (張)	H10	50	1.0	0	0.0	0	0.0	50	1.0
		H11	231	5.0	0	0.0	0	0.0	231	5.0
		H12	381	7.9	0	0.0	0	0.0	381	7.9
		H13	383	8.0	2	0.0	0	0.0	385	8.0
	2.ブルーシート・防水シート (枚)	H10	5,923	126.0	0	0.0	580	12.3	6,503	1.0
		H11	4,794	104.2	0	0.0	70	1.5	4,864	105.7
		H12	6,661	138.8	0	0.0	70	1.5	6,731	140.2
		H13	8,011	166.9	0	0.0	70	1.5	8,081	168.4
	3.担架 (台)	H10	150	3.1	0	0.0	40	0.8	290	6.0
		H11	124	2.7	0	0.0	40	0.9	164	3.6
		H12	575	12.0	0	0.0	40	0.8	615	12.8
		H13	600	12.5	0	0.0	40	0.8	640	13.3
	4.ゴザ・マット (枚)	H10	181	3.8	0	0.0	0	0.0	181	3.8
		H11	30	0.7	0	0.0	0	0.0	30	0.7
		H12	42	0.9	0	0.0	0	0.0	42	0.9
		H13	1,057	22.0	0	0.0	0	0.0	1,057	22.0
	5.布団 (枚)	H10	1,076	22.4	0	0.0	200	4.2	1,286	26.8
		H11	719	15.6	0	0.0	200	4.3	919	20.0
		H12	862	18.0	752	15.7	200	4.2	1,814	37.8
		H13	950	19.8	0	0.0	200	4.2	1,150	24.0
	6.毛布 (枚)	H10	32,191	670.7	125,675	2,618.2	6,082	126.7	179,938	3,748.7
		H11	46,594	1,012.9	116,375	2,529.9	0	0.0	162,969	3,542.8
		H12	25,532	531.9	119,857	2,497.0	0	0.0	145,389	3,028.9
		H13	33,742	703.0	133,394	2,779.0	0	0.0	167,136	3,482.0
	7.タオルケット (枚)	H10	10,537	219.5	0	0.0	1,082	22.5	14,619	304.6
		H11	11,764	255.7	0	0.0	0	0.0	11,764	255.7
		H12	11,241	234.2	0	0.0	0	0.0	11,241	234.2
		H13	11,609	241.9	0	0.0	0	0.0	11,609	241.9
	8.寝袋 (個)	H10	499	10.4	0	0.0	100	2.1	629	13.1
		H11	879	19.1	0	0.0	100	2.2	979	21.3
		H12	131	2.7	0	0.0	100	2.1	231	4.8
		H13	175	3.6	0	0.0	100	2.1	275	5.7
	9.簡易風呂 (個)	H10	1	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0
		H11	1	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0
		H12	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		H13	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	10.簡易トイレ (個)	H10	831	17.3	0	0.0	30	0.6	881	18.4
		H11	1,058	23.0	0	0.0	30	0.7	1,088	23.7
		H12	1,137	23.7	0	0.0	30	0.6	1,167	24.3
		H13	1,165	24.3	0	0.0	30	0.6	1,195	24.9

品目			備蓄形態・財源							
			(1)購入				(2)契約		(3)総備蓄数 ((1)+(2))	
			自己		補助		合計	平均	合計	平均
			合計	平均	合計	平均				
5-2 衣類	1.作業服・ジャージ・Tシャツ (着)	H10	1,724	35.9	0	0.0	0	0.0	1,724	35.9
		H11	1,803	39.2	0	0.0	0	0.0	1,803	39.2
		H12	1,853	38.6	0	0.0	0	0.0	1,853	38.6
		H13	917	19.1	0	0.0	0	0.0	917	19.1
	2.肌着 (枚)	H10	8,634	179.9	0	0.0	0	0.0	8,634	179.9
		H11	4,018	87.3	0	0.0	0	0.0	4,018	87.3
		H12	3,449	71.9	0	0.0	0	0.0	3,449	71.9
		H13	3,138	65.4	0	0.0	0	0.0	3,138	65.4
	3.雨具 (個)	H10	362	7.5	0	0.0	0	0.0	382	8.0
		H11	129	2.8	0	0.0	0	0.0	129	2.8
		H12	384	8.0	0	0.0	0	0.0	384	8.0
		H13	149	3.1	0	0.0	0	0.0	149	3.1
	4.ゴム長靴・靴・サンダル (足)	H10	260	5.4	0	0.0	0	0.0	265	5.5
		H11	230	5.0	0	0.0	0	0.0	230	5.0
		H12	268	5.6	0	0.0	0	0.0	268	5.6
		H13	331	6.9	0	0.0	0	0.0	331	6.9
5-3 食料・水	1.アルファ米 (食)	H10	6,181	128.8	0	0.0	0	0.0	6,181	128.8
		H11	4,611	100.2	0	0.0	0	0.0	4,611	100.2
		H12	9,769	203.5	0	0.0	0	0.0	9,769	203.5
		H13	11,411	237.7	0	0.0	0	0.0	11,411	237.7
	2.(即席)麺類 (食)	H10	30	0.6	0	0.0	0	0.0	30	0.6
		H11	180	3.9	0	0.0	0	0.0	180	3.9
		H12	280	5.8	0	0.0	0	0.0	280	5.8
		H13	890	18.5	0	0.0	0	0.0	890	18.5
	3.乾パン・クッキー・クラッカー (食)	H10								
		H11	899	19.5	0	0.0	0	0.0	899	19.5
		H12	740	15.4	0	0.0	0	0.0	740	15.4
		H13	1,364	28.4	0	0.0	0	0.0	1364	28.4
	4.主食用食料(缶詰・レトルト食品・フリーズドライ・サバイバル食品) (食)	H10								
		H11	1,053	22.9	0	0.0	0	0.0	1,053	22.9
		H12	32	0.7	0	0.0	0	0.0	32	0.7
		H13	762	15.9	0	0.0	0	0.0	762	15.9
	5.副食用食料(缶詰・レトルト食品・漬物類・フリーズドライ・サバイバル食品) (食)	H10								
		H11	2,510	54.6	0	0.0	0	0.0	2,510	54.6
		H12	1,386	28.9	0	0.0	0	0.0	1,386	28.9
		H13	2,055	42.8	0	0.0	0	0.0	2,055	42.8
	6.お見舞品セット (セット)	H10								
		H11	456	9.9	4,801	104.4	0	0.0	5,257	114.3
		H12	0	0.0	1,807	37.6	0	0.0	1,807	37.6
		H13	0	0.0	8,749	182.3	0	0.0	8,749	182.3
	7.保存飲料水 (ℓ)	H10	1,190	24.8	0	0.0	750	15.6	1,960	40.8
		H11	1,577	34.3	2,753	59.8	750	16.3	5,080	110.4
		H12	1,315	27.4	0	0.0	750	15.6	2,065	43.0
		H13	2,835	59.1	0	0.0	750	15.6	3,585	74.7

品目		備蓄形態・財源								
		(1)購入				(2)契約		(3)総備蓄数 (1)+(2))		
		自己		補助		合計	平均	合計	平均	
		合計	平均	合計	平均					
5-4 日用品	1.日用品セット (セット)	H10	11,913	248.2	108,009	2,250.2	3,406	71.0	131,278	2,735.0
		H11	25,430	552.8	94,582	2,056.1	0	0.0	118,585	2,577.9
		H12	9,699	202.1	104,126	2,169.3	0	0.0	113,825	2,371.4
		H13	15,606	325.1	98,698	2,056.2	0	0.0	114,304	2,381.3
	2.洗濯用洗剤 (kg)	H10	234	4.9	0	0.0	0	0.0	244	5.1
		H11	1,661	36.1	0	0.0	0	0.0	1,661	36.1
		H12	136	2.8	0	0.0	0	0.0	136	2.8
		H13	93	1.9	0	0.0	0	0.0	93	1.9
	3.洗面器・バケツ (個)	H10	91	1.9	0	0.0	0	0.0	103	2.1
		H11	80	1.7	0	0.0	0	0.0	80	1.7
		H12	43	0.9	0	0.0	0	0.0	43	0.9
		H13	18	0.4	0	0.0	0	0.0	18	0.4
	4.ローソク(安全キャンドル) (個)	H10	3,276	68.3	28	0.6	0	0.0	3,304	68.8
		H11	2,005	43.6	0	0.0	0	0.0	2,005	43.6
		H12	2,097	43.7	0	0.0	0	0.0	2,097	43.7
		H13	2,152	44.8	0	0.0	0	0.0	2,152	44.8
	5.懐中電灯 (個)	H10	222	4.6	0	0.0	0	0.0	252	5.3
		H11	51	1.1	0	0.0	0	0.0	51	1.1
		H12	81	1.7	0	0.0	0	0.0	81	1.7
		H13	147	3.1	0	0.0	0	0.0	147	3.1
	6.携帯ラジオ (個)	H10	255	5.3	0	0.0	10	0.2	268	5.6
		H11	134	2.9	0	0.0	10	0.2	144	3.1
		H12	129	2.7	0	0.0	10	0.2	139	2.9
		H13	28	0.6	0	0.0	10	0.2	38	0.8
	7.暖房用具 (台)	H10	14	0.3	0	0.0	20	0.4	37	0.8
		H11	28	0.6	0	0.0	20	0.4	48	1.0
		H12	25	0.5	0	0.0	20	0.4	45	0.9
		H13	17	0.4	0	0.0	20	0.4	37	0.8
	8.ロープ (m)	H10	710	14.8	0	0.0	0	0.0	730	15.2
		H11	365	7.9	0	0.0	0	0.0	365	7.9
		H12	500	10.4	0	0.0	0	0.0	500	10.4
		H13	3,560	74.2	0	0.0	0	0.0	3560	74.2
	9.筆記用具一式・学用品 セット (組)	H10	1,391	29.0	0	0.0	0	0.0	1,401	29.2
		H11	2,313	50.3	0	0.0	0	0.0	2,313	50.3
		H12	1,894	39.5	0	0.0	0	0.0	1,894	39.5
		H13	1,880	39.2	0	0.0	0	0.0	1,880	39.2

品目		備蓄形態・財源								
		(1)購入				(2)契約		(3)総備蓄数 (1)+(2))		
		自己		補助						
		合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	
5-5 台所用品	1.コンロ (個)	H10	613	12.8	0	0.0	30	0.6	645	13.4
		H11	370	8.0	0	0.0	30	0.7	400	8.7
		H12	306	6.4	0	0.0	30	0.6	336	7.0
		H13	351	7.3	0	0.0	30	0.6	381	7.9
	2.なべ (個)	H10	333	6.9	0	0.0	30	0.6	368	7.7
		H11	395	8.6	0	0.0	30	0.7	425	9.2
		H12	515	10.7	0	0.0	30	0.6	545	11.4
		H13	576	12.0	0	0.0	30	0.6	606	12.6
	3.やかん (個)	H10	34	0.7	0	0.0	30	0.6	69	1.4
		H11	22	0.5	0	0.0	30	0.7	52	1.1
		H12	188	3.9	0	0.0	30	0.6	218	4.5
		H13	156	3.3	0	0.0	30	0.6	186	3.9
	4.釜 (個)	H10	47	1.0	0	0.0	10	0.2	65	1.4
		H11	93	2.0	0	0.0	0	0.0	93	2.0
		H12	27	0.6	0	0.0	0	0.0	27	0.6
		H13	29	0.6	0	0.0	0	0.0	29	0.6
	5.湯沸かし器 (個)	H10	15	0.3	0	0.0	0	0.0	20	0.4
		H11	12	0.3	0	0.0	0	0.0	12	0.3
		H12	16	0.3	0	0.0	0	0.0	16	0.3
		H13	4	0.1	0	0.0	0	0.0	4	0.1
	6.ポリタンク (個)	H10								
		H11	33	0.7	0	0.0	0	0.0	33	0.7
		H12	71	1.5	0	0.0	0	0.0	71	1.5
		H13	93	1.9	0	0.0	0	0.0	93	1.9
	7.食器セット(セット)	H10	158	3.3	0	0.0	0	0.0	258	5.4
		H11	180	4.0	0	0.0	0	0.0	180	4.0
		H12	197	4.2	0	0.0	0	0.0	197	4.2
		H13	301	6.3	0	0.0	0	0.0	301	6.3
5-6 医薬品等	1.救急箱(配布用) (箱)	H10	442	9.2	0	0.0	0	0.0	452	9.4
		H11	377	8.2	0	0.0	0	0.0	377	8.2
		H12	653	13.6	0	0.0	0	0.0	653	13.6
		H13	588	12.3	0	0.0	0	0.0	588	12.3
	2.三角巾 (枚)	H10	2,300	48.9	0	0.0	0	0.0	7,300	155.3
		H11	6,850	152.2	0	0.0	0	0.0	6,850	152.2
		H12	7,550	160.6	0	0.0	0	0.0	7,550	160.6
		H13	8,270	172.3	0	0.0	0	0.0	8,270	172.3
	3.包帯 (巻)	H10	410	8.5	0	0.0	0	0.0	710	14.8
		H11	420	9.3	0	0.0	0	0.0	420	9.3
		H12	450	9.6	0	0.0	0	0.0	450	9.6
		H13	270	5.6	0	0.0	0	0.0	270	5.6

問6. 血液センターのものも含め、血液等の出庫可能数を記入してください。解凍血は除きます。

	人全血液(注1)			人赤血球濃厚液(注2)		
		合計	平均		合計	平均
①血液A 200ml 由来 に換算して	H10	4,649	98.9	H10	16,600	503.0
	H11	2,070	44.0	H11	23,472	521.6
	H12	818	17.4	H12	28,729	611.3
	H13	677	14.4	H13	35,975	765.4
②血液B 200ml 由来 に換算して	H10	3,624	77.1	H10	11,183	338.9
	H11	1,455	31.0	H11	14,168	314.8
	H12	994	21.1	H12	19,344	411.6
	H13	516	11.0	H13	20,789	442.3
③血液AB 200ml 由来 に換算して	H10	1,750	37.2	H10	7,383	223.7
	H11	650	13.8	H11	7,725	171.7
	H12	333	7.1	H12	9,057	192.7
	H13	256	5.4	H13	10,772	229.2
④血液O 200ml 由来 に換算して	H10	3,500	74.5	H10	9,780	296.4
	H11	1,654	35.2	H11	14,608	324.6
	H12	942	20.0	H12	19,528	415.5
	H13	616	13.1	H13	23,977	510.1
⑤新鮮凍結人血漿 80ml 由来に 換算して	H10	合計 133,083	平均 2,831.6			
	H11	合計 255,690	平均 5,440.2			
	H12	合計 496,473	平均 10,563.3			
	H13	合計 247,985	平均 5,276.3			

(注1)「人全血液」は、日赤血液センターの品名では、『人全血液CPD「日赤」』及び『人全血液ACD「日赤」』が該当します。

(注2)「人赤血球濃厚液」は、日赤血液センターの品名では、『赤血球M・A・P「日赤」』が該当します。

問7. 救護装備・資機材・救援物資などはどこに備蓄していますか。主な場所に○印をつけてください。

	H10	H11 n=48	H12 n=48	H13 n=48
1. 日赤支部庁舎内または倉庫	カテゴリなし	46(95.8)	46(95.8)	47(97.9)
2. 都道府県庁舎内または防災倉庫等		3(6.3)	4(8.3)	4(8.3)
3. 地区・分区		20(41.7)	22(45.8)	26(54.2)
4. 赤十字病院		18(37.5)	21(43.8)	25(52.1)
5. 血液センター倉庫		3(6.3)	6(12.5)	8(16.7)
6. その他		-	-	2(4.2)
無回答		1(2.1)	1(2.1)	-

問8. 救護用車両の台数及び舟艇数を各々記入してください（血液センター及び地区・分区配備の分は含め、赤十字病院配備のものは除く）。

※各年度で設問の条件が異なるため、比較不可。

H13のみ

		合計	平均
車 両 台 数 n=48	1.救急車 (台)	76	1.6
	2.救援車 (台)	1,365	28.4
	3.採血車 (台)	320	6.7
	4.血液運搬車 (台)	706	14.7
	5.トラック (台)	60	1.3
	6.その他車両 (台)	476	10.6

船外機 (機)	H12 n=17	13	0.8
	H13 n=25	14	0.6

H13のみ

		定員	数 (合計)
船 舶 H13 n=7	4人乗り		2艇
	5人乗り		5艇
	6人乗り		2艇
	7人乗り		1艇
救命ボート (ゴム・組立) H13 n=7	4人乗り		51艇
	5人乗り		3艇
	6人乗り		2艇
	8人乗り		1艇

3.4 災害基本データブックの活用状況等（自由回答まとめ）

平成 13 年度調査において、災害基本データブックの活用状況や、調査に対する意見、要望等を聞いた。全般的に、調査結果を情報公開することに対しては賛成意見が多いが、電話番号等の一般公開、記載基準日の設定を要することなどに慎重な意見も数件見られた。

(1) 地方自治体：(記載 36 件)

公開賛成 17 件、公開慎重 1 件（個別自治体名不可、個別電話番号、メールアドレス）

活用の内容：他の都道府県・他都市の整備状況を参考に、防災体制、防災対策、計画実施・修正に活用。予算編成時の参考。

県内災害拠点病院・日本赤十字社の現状把握、災害発生時の他都市からの救援シミュレーションに活用

今後充実してほしい調査：ボランティアセンター、原子力関連資機材・物資等、医療機関検索、具体的協定内容

(2) 日本赤十字社支部：(記載 16 件)

公開賛成 3 件、公開慎重 1 件（個別直通電話番号・夜間電話番号）、公開疑問 1 件

活用の内容：他支部と比較。救護体制、資材整備状況を整備時に参考。

救護員及び防災ボランティア研修時の参考資料。

防災訓練、図上シミュレーションに活用。

修正事項：血液型の順番・単位及び適正在庫への変更、具体的協定内容

今後充実してほしい調査：原子力関連救護設備・資材、各県の新たな救護装備計画、衛星携帯電話番号、被災者に必要な救援物資のアンケート

(3) 医療機関：(記載 87 件)

公開賛成 21 件、公開反対 3 件（公開の主旨不明、病院評価は困る、公開の目的を明らかに）、慎重 1 件（災害時担当窓口の連絡先）

活用の内容：他施設の情報共有。他機関、県内・近隣県の状況参考。

防災マニュアルや災害救護マニュアル作成・見直し時の参考。救護体制、資材整備状況を整備時に参考。

災害救護関係院内研修、新人職員研修、勉強会時に活用。

55 回病院長連盟総会の発表で 164 項のデータ活用。各種訓練に活用

修正事項：より明確な設問用語の定義・注釈、災害拠点病院と赤十字病院に区分せず、各都道府県別に分類。

今後充実してほしい調査：特殊災害用薬剤等、具体的な活用方法・適正な防災訓練指導、災害対応マニュアルの作成方法・訓練実施状況、災害時の医療機関の活動・連携（指針）、医療機関従事者の体験談・意見、実例を含めた対応状況、各医療機関の連絡先住所検索。

編集委員会構成

編集委員

厚生労働省社会・援護局保護課	災害救助専門官	河原勝洋
埼玉県健康福祉部社会福祉課	社会福祉担当主任	浜谷 学
静岡市消防本部	消防総務課長	小澤 一
株式会社防災&情報研究所	代 表	高梨成子
日本赤十字社神奈川県支部	事業部長	山本佑幸
秋田赤十字病院	総務課長	佐藤 正
日本赤十字社事業局救護・福祉部	救護課長	市橋和彦

事務局

日本赤十字社事業局 救護・福祉部 救護課

災害救助体制の推移に関する調査報告書

発行年月日 平成14年3月31日
発 行 日本赤十字社
編 集 日本赤十字社 事業局 救護・福祉部
〒105-8521 東京都港区芝大門 1-1-3
TEL 03-3438-1311 (代表)